

20cm、P<sub>1</sub>…44cmである。

〔炉〕 北側に1基、南側に2基確認した。炉1は風倒木により攪乱され全体形は不明であり、炉2は周堤炉であり、規模は長軸88cm、短軸約80cmと考えられ、周堤の高さは3～4cmである。炉3は規模が32cm×28cm、深さ18cmで炉2に近接する。炭化物層とそれを覆う粘土が互層となっており、確認時は貼り床で覆われていた。炉2に関係する施設の可能性もある。

〔堆積土〕 8層に分層した。南盛土に近接し、にぶい黄褐色土等の上層は南盛土から続くものと考えられる。人為堆積の可能性が高い。

〔出土遺物〕 床面直上から第Ⅲ群3・4類土器が、炉堆積土からは第Ⅲ群9類土器が出土した。堆積土から第Ⅱ群5類、第Ⅲ群1～6、8～11類土器、ミニチュア土器が出土した。石器は床面直上から石棒などが、堆積土から石鏃、石錐、スクレイパー類、U・フレイク、石核、敲磨器類、半円状扁平打製石器などが出土した。

〔時期〕 堆積土出土遺物から縄文時代中期前葉～中葉と考えられる。

(斎藤 岳)

#### 第370号住居跡(162図～163図)

〔位置と確認〕 VI H-112に位置する。第121号溝跡の精査中に炉跡を確認した。

〔重複〕 第121号溝跡と重複し、本住居跡が古い。

〔平面形・規模〕 不明である。

〔壁・床面〕 炉の周辺に貼り床のみ残存する。

〔柱穴〕 床面上に1個確認された。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…16cmである。柱痕跡は確認できない。

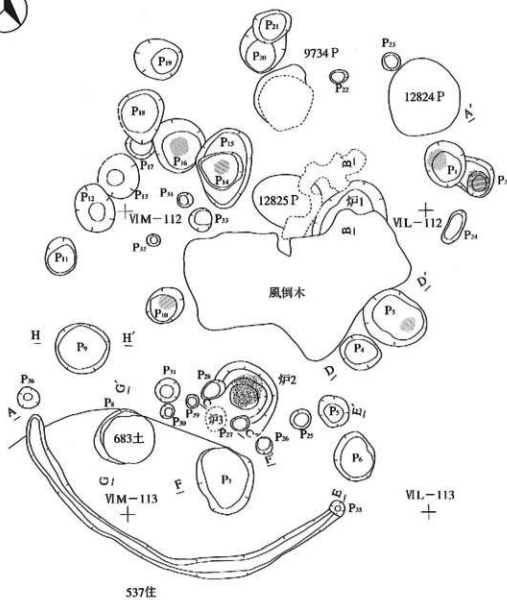
〔炉〕 炉の掘り方の残存部分の長軸は80cm、短軸は70cmである。

〔堆積土〕 炉の周辺に部分的にのみ残存していた。

〔出土遺物〕 炉の土器は第Ⅲ群10類である。堆積土から第Ⅱ群5類、第Ⅲ群1、2、4、11類土器が出土した。

〔時期〕 炉に使用された土器から縄文時代中期末葉(大木10式併行期)である。

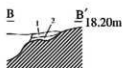
(斎藤 岳)



第369号住居跡

- |     |             |       |                  |
|-----|-------------|-------|------------------|
| 第1層 | 1:2.5V・黄褐色土 | HYR43 | L.B.多量、浮石粒混在。    |
| 第2層 | 1:2.5V・黄褐色土 | HYR54 |                  |
| 第3層 | 1:2.5V・黄褐色土 | HYR54 | L.B.多量、浮石粒混在。    |
| 第4層 | 1:2.5V・黄褐色土 | HYR54 | 炭化物、浮石粒混在。       |
| 第5層 | 灰 黄 褐色土     | HYR42 | L.B.、炭化物、浮石粒混在。  |
| 第6層 | 1:2.5V・黄褐色土 | HYR54 | 白色砂・木粒多量。        |
| 第7層 | 黄 色 土       | HYR21 | 白色砂・木粒多量。        |
| 第8層 | 黄 色 土       | HYR32 | 伊1の層様土。炭化物、焼土混在。 |

151图 第369号住居跡(1)



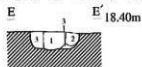
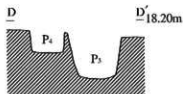
第369号住居跡 ビット1

第1層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物・粘土混量。  
第2層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物・粘土混量。



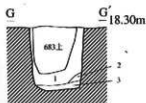
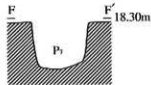
第369号住居跡 ビット3

第1層 暗褐色土 10YR4/6 粘赤。炭化物・粘土混量。直下に約2mmの炭化物層。  
第2層 暗褐色土 10YR4/4  
第3層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物・粘土混量。  
第4層 暗褐色土 7.5YR3/3 炭化物少量。粘土・骨片混量。  
第5層 暗褐色土 10YR4/6 炭化物少量。  
第6層 暗褐色土 10YR6/6 炭化物混量。直下に約2-40mmの炭化物層。  
第7層 暗褐色土 10YR4/6 炭化物少量。粘土混量。直下に約2-3mmの炭化物層。  
第8層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物少量。粘土混量。  
第9層 暗褐色土 10YR4/6 炭化物少量。粘土混量。



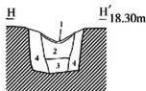
第369号住居跡 ビット6

第1層 暗褐色土 10YR4/4 粘赤層? 炭化物混量。  
第2層 暗褐色土 10YR4/4 炭化物混量。  
第3層 暗褐色土 10YR5/6 炭化物混量。



第369号住居跡 ビット8

第1層 黄褐色土 10YR5/6 炭化物混量。L.B.中量。  
第2層 黄褐色土 10YR5/6 炭化物混量。L.B.中量。  
第3層 黄褐色土 10YR5/6 炭化物混量。



第369号住居跡 ビット9

第1層 暗褐色土 7.5YR3/4 炭化物多量。粘土混量。  
第2層 暗褐色土 10YR4/4 粘赤層? 炭化物少量。粘土混量。  
第3層 黄褐色土 10YR5/6 粘赤層? 炭化物混量。  
第4層 黄褐色土 10YR5/6 炭化物多量。粘土混量。



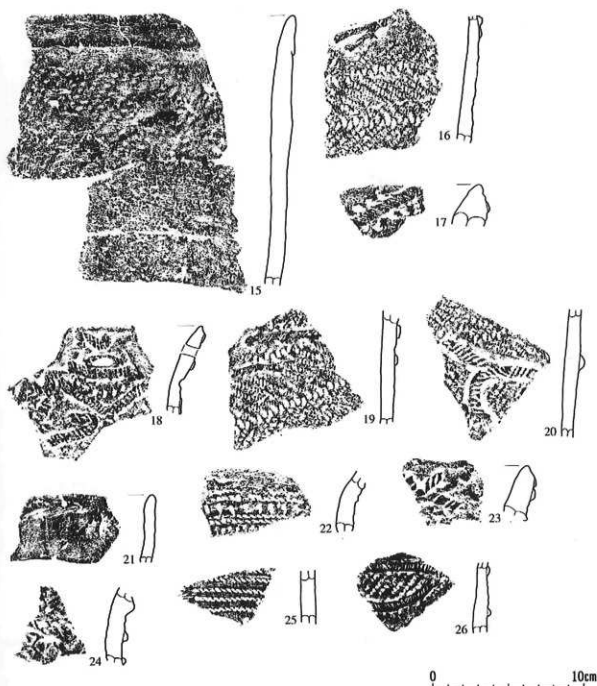
152図 第369号住居跡 (2)



0 10cm

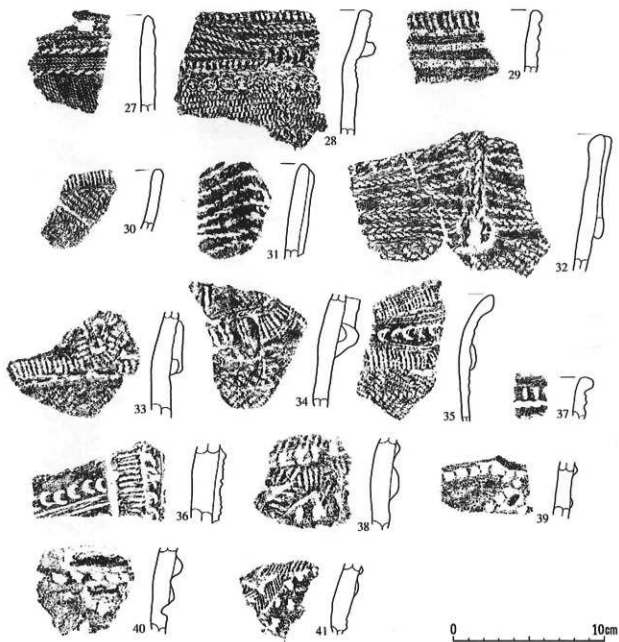
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面図樣	底面	分期	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	369住居	地横上		RL、花線		ミガキ	Ⅲ-9	P-1	
2	369住	床直	貼付 (L押)、刺突			*	Ⅲ-3	P-2	
3	*	*	*	結束第一様、貼付		*	Ⅲ-4	P-3	
4	*	*	*		結束第一様 (LR, RL)	*	Ⅲ-6		
5	369住C' 13	地横土	LR押	刺突、LR		*	Ⅱ-5-2		
6	*	*	貼付 (L押)			*	Ⅲ-4		
7	*	*	*	貼付 (L押)		*	Ⅲ-1		
8	369住C' 12	*	貼付 (R押)、R押			*	Ⅲ-3		
9	*	*	*	(刺突)、刺突		*	Ⅲ-4		
10	*	*	*	結束第一様、貼付		*	Ⅲ-4		
11	369住	埋藏土下部		結束第一様、貼付	結束第一様 (LR, RL)	*	Ⅱ-5-2		
12	*	*	貼付 (L押)、L押			*	Ⅲ-2		
13	*	*	*	(*)、刺突		*	Ⅲ-3		
14	*	*	L押	結束第一様、RL		*	Ⅱ-5-1		

153图 第369号住居跡出土遺物 (1)



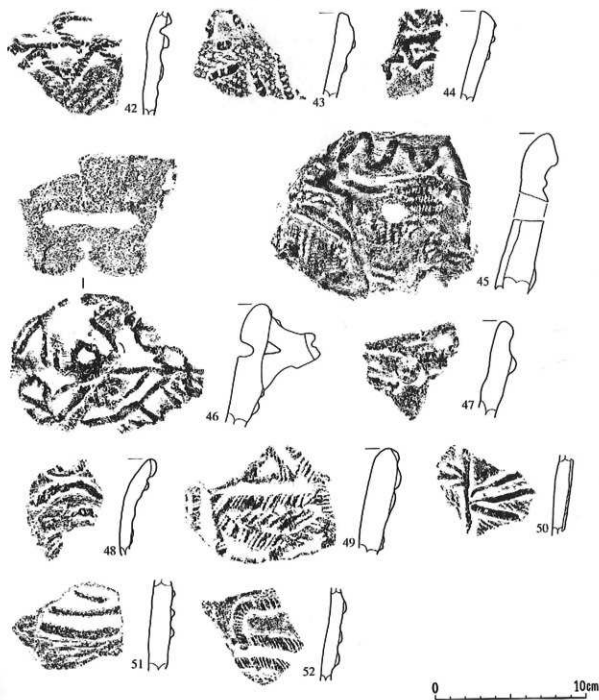
番号	出土地点	出土部位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
15	369住	増築土下層	割漕口縁	RL?	胴部下半	ミ方半	Ⅲ-11		
16	+	+		結末部一様、貼付		+	Ⅲ-4		
17	+	+	貼付(L押)、刺突			+	Ⅲ-3		
18	+	+	+			+	+	19と同一個体	
19	+	+		貼付毛彫、脱、透刺突		+	+		
20	+	+		透刺突一様、貼付(L押)		+	Ⅲ-4		
21	+	+	無文			+	Ⅲ-11		
22	+	+	LR押、刺突			+	Ⅱ-5-2		
23	+	+	貼付(割み)			+	Ⅲ-4		
24	+	+	+(繩押)、刺突			+	Ⅲ-3		
25	+	+	LR押			+	Ⅱ-5-2		
26	+	+		LR、貼付(L押)		+	Ⅲ-4		

154図 第369号住居跡出土遺物(2)



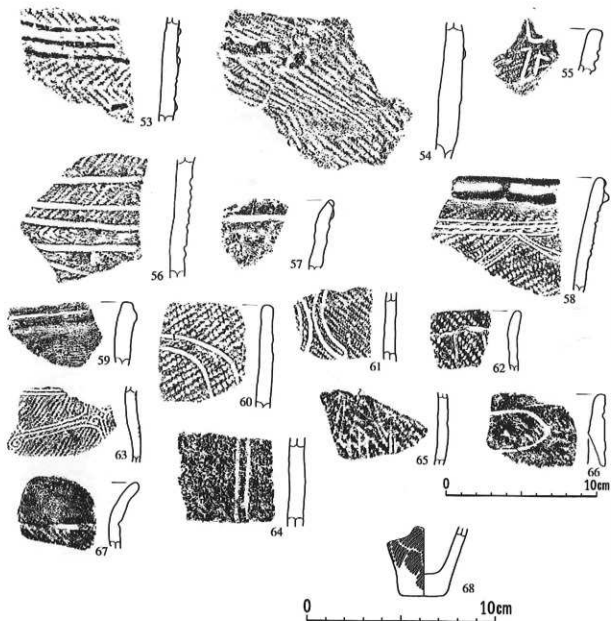
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
27	369住	堆積土	LR・RLR押	R単站1		ミ方斗		Ⅱ-5-1	
28	*	*	LR押、器付(LR押)、斜紋	R単站1	R縞站、R多輪站	*	*	*	
29	*	*	R単站1押			*	*	*	
30	*	*	L押			*	*	Ⅱ-5-2	
31	*	*	貼付、LR押			*	*	*	
32	*	*	*	RL7		*	*	*	
33	*	*	(L押)、L押			*	*	Ⅲ-1	
34	*	*	*			*	*	*	
35	*	*	L・LR押	縞帯第一條(LR、RL)		*	*	Ⅲ-2	
36	*	*	LR押			*	*	*	
37	*	*	器付(L用)、L馬蹄形押			*	*	*	
38	*	*		貼付(L押)、刺突		*	*	Ⅲ-3	
39	*	*		貼付、刺突		*	*	*	
40	*	*		*		*	*	*	
41	*	*		(L押)、刺突		*	*	*	

155図 第369号住居跡出土遺物(3)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
42	369住	堆積土		貼付(L押)、LR7刺突		ナデ		Ⅲ-3	貼付面に刺突
43	*	*	RL7 貼付(刷み)			*	*	Ⅲ-4	
44	*	*	貼付、黄酒孔			*	*		
45	*	*	貼付、黄泥一色、黄酒孔			*	*		
46	*	*	貼付			*	*		内面に音孔
47	*	*	*			*	*		
48	*	*	* (刷み)			*	*		
49	*	*	* (L押)	黄泥一色、貼付(L肋)		*	*		
50	*	*		RL、貼付		*	*		
51	*	*		貼付		*	*		
52	*	*		* (L押)、RL7		*	*		

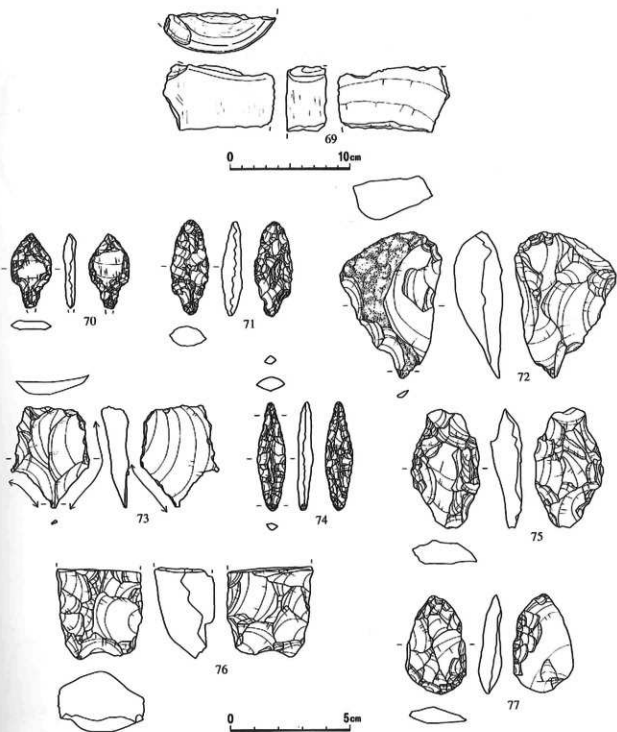
156図 第369号住居跡出土遺物(4)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様		内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部下半				
53	369住	堆積土		結晶部一様、貼付	ミ方本	*	Ⅲ-4	
54	*	*		RL、貼付	*	*		
55	*	*	LR、沈線		*	*	Ⅲ-5	
56	*	*		結晶部一様、沈線	*	*		
57	*	*	貼付、LR?		*	*	Ⅲ-4・5	
58	*	*	*、LR、沈線		*	*	Ⅲ-8	裏付口縁(沈線)
59	*	*	口唇に沿った沈線		*	*		
60	*	*	LR、沈線		*	*		
61	*	*		RL、沈線	*	*		
62	*	*	折返状口縁、RL	*	*	*	Ⅲ-9	
63	*	*		LR、沈線	*	*		
64	*	*		*	*	*		
65	*	*		RL、*	*	*		
66	*	*		縄文、*	*	*	Ⅲ-10	
67	*	*	縄文帯、区画沈線		*	*	Ⅲ-11	
68	*	*		LR		無文	ミニチュア	

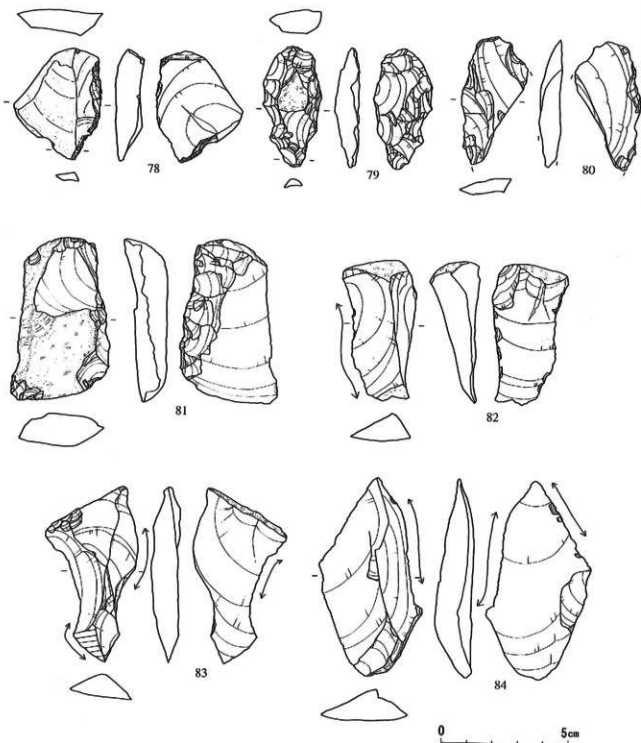
157図 第369号住居跡出土遺物(5)





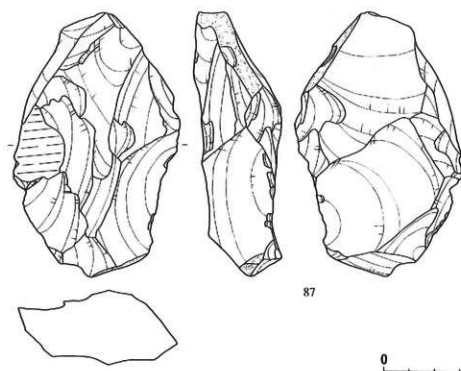
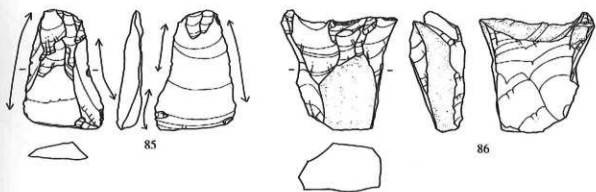
图版序号	出土地点	层位	长 (mm)	宽 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石质	分型	编 号	整理番号
69	369住	灰层	(55)	(92)	(33)	(197.1)	玢	Ma	S-7	46326
70	°	堆积土	(32)	17	5	(2.4)	硅质	Ab	VIL-112	50156
71	°	°	40	16	9	4.5	°	°	°	50143
72	°	°	61	43	20	41.4	°	Db	VIL-111	45521
73	°	°	42	33	11	6.7	°	Gb	石鏃? VIL-112	45530
74	°	°	45	12	6	3.0	°	Dd	尖细箭镞, VIL-112	44796
75	°	°	50	27	13	14.7	°	Ga	VIL-111	45518
76	°	°	(38)	(36)	(25)	(31.4)	°	°	石鏃? VIL-112	45591
77	°	°	41	25	10	8.4	°	°	石鏃未编号?	45601

158图 第369号住居跡出土遺物 (6)

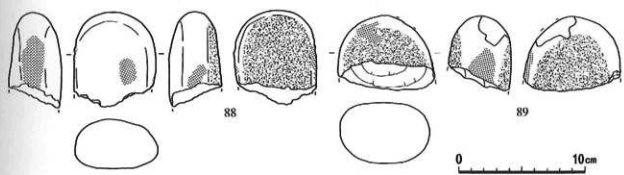


图版番号	出土地点	层位	长 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
78	369住	段上	49	34	11	15.9	珉頁	Clb	石跡? VL-112	45525
79	*	*	48	24	10	10.4	*	*	*	45566
80	*	*	(51)	(26)	(8)	(6.9)	*	*	VL-112	45612
81	*	*	65	39	17	40.9	*	*		45520
82	*	*	50	30	20	20.0	*	Gc	VL-111	45523
83	*	*	70	37	11	18.0	*	*	*	45510
84	*	*	79	41	15	29.9	*	*	VL-112	45592

159图 第369号住居跡出土遺物 (7)



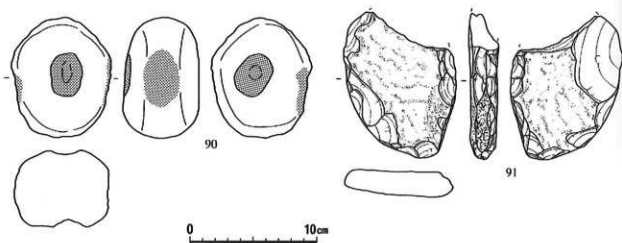
0 5cm



0 10cm

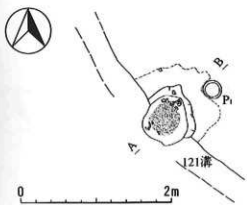
図版番号	出土地点	方位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
85	369住	康儀土	47	32	10	11.6	辻貫	Gc	VL-112	45611
86	*	*	48	46	21	40.9	*	Pa	*	45615
87	*	*	105	66	35	165.1	頁	*	VL-112	46332
88	*	*	(75)	(65)	(42)	(255.6)	安	Ib	VM-112	46328
89	*	*	(59)	(78)	(40)	(231.5)	*	Ic	横江、VL-112	46325

160図 第369号住居跡出土遺物 (B)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
90	369住	堆積上	94	78	60	346.4	安	ln	VIL-112	46323
91	○	○	(115)	88	(23)	(276.6)	○	j		46327

161図 第369号住居跡出土遺物 (9)

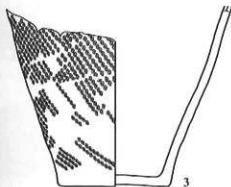
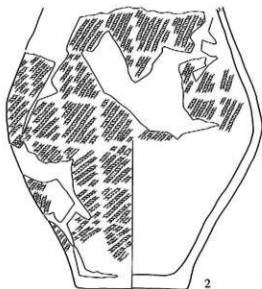
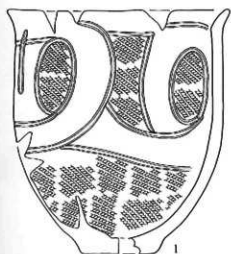


炉土器検出状況



第370号住居跡 炉  
 第1層 黄褐色土 H9R201 浮行砂・炭化物・L.B.混在。  
 第2層 L.B.A・黄褐色土 H9R403 炭土多量、L.B.混在。  
 第3層 黄褐色土 H9R506 炭土多量、L.B.混在。  
 第4層 L.B.A・黄褐色土 H9R403 L.B.混在。

VH-113  
+

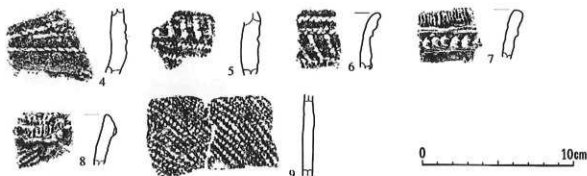


0 10cm



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面模様	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	370住居		無文帯	RL、磨消	LR	七方斗	無文	Ⅲ-10	
2	○			RL	RL	○	○		
3	○				LR	○	割代紙	Ⅲ-11	

162図 第370号住居跡・出土遺物 (1)



番号	出土地点	出土部位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上平	胴部下平				
4	370住	堆積土	LR押			ミガキ		Ⅱ-5-2	
5	*	*	厚縁1押			*		Ⅱ-1	
6	*	*	RL押			*			
7	*	*	R押 (遠縁状、馬蹄形状)			*		Ⅱ-2	
8	*	*	船付 (L押)、LR			*		Ⅱ-4	
9	*	*		RL		*		Ⅱ-11	

163図 第370号住居跡出土遺物 (2)

第371号住居跡 (164図～166図)

〔位置と確認〕 VI L-115に位置する。南盛土精査中に黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〔重複〕 第677号土坑と重複し、本住居跡が古い。西側を欠失する。

〔平面形・規模〕 平面形は南北に長軸のある楕円形と考えられる。長軸は3 mである。

〔壁・床面〕 各壁ともに直線的に外傾しながら立ち上がる。壁高は東壁8 cm、南壁8 cm、北壁13 cmである。床面はほぼ平坦である。

〔柱穴〕 検出されなかった。

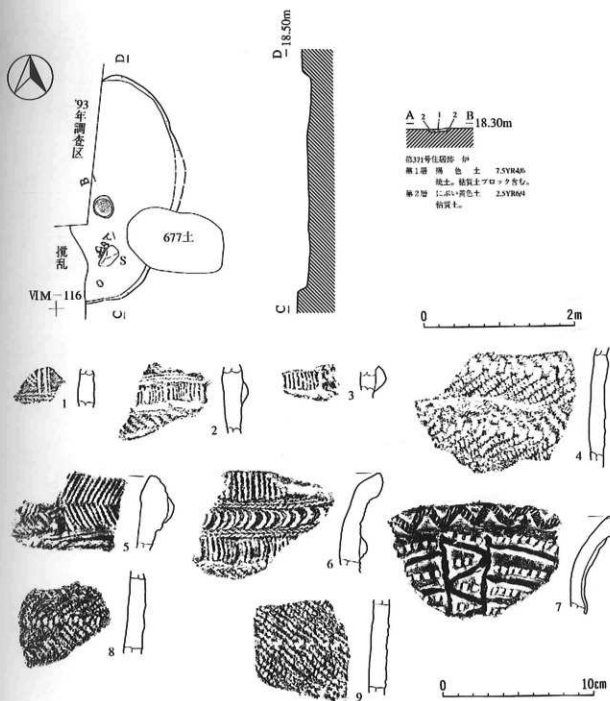
〔炉〕 床面中央からやや南東に地床炉を検出した。掘り方の規模は30 cm×28 cm、深さ7 cmである。

〔堆積土〕 自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 床面直上から第Ⅲ群1類土器が出土した。また、堆積土から第Ⅲ群1～3、6類土器、石鏝、スクレイパー類、R、フレイク、U、フレイク、敲磨器類などが出土した。

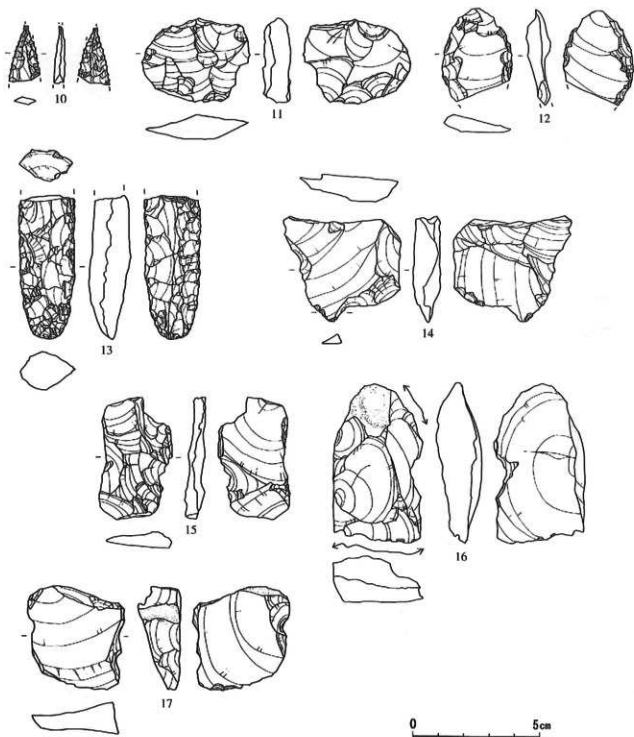
〔時期〕 床面直上出土土器から縄文時代中期前葉 (円筒上層 a 式期) である。

(京藤 岳)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調査	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	371住	床直	L・R押			ミガキ		Ⅲ-1	
2	○	○	*			*	*		
3	○	*		貼付 (R押)、RL?		*	*		
4	○	*		貼付 (R押)		*	*		
5	○	*		拵重第一種 (LR, RL)		*	*	Ⅲ-6	
5	○	埋積土	L,R押			*	*	Ⅲ-1	
6	○	*	L・R押 (直線状、高野形)			*	*	Ⅲ-2	
7	○	*	拵付 (一筋筋入)、割欠			*	*	Ⅲ-3	
8	○	*		拵重第一種 (LR, RL)		*	*	Ⅲ-6	
9	○	*		RL		*	*		

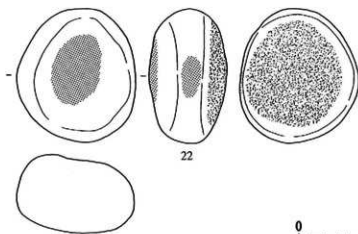
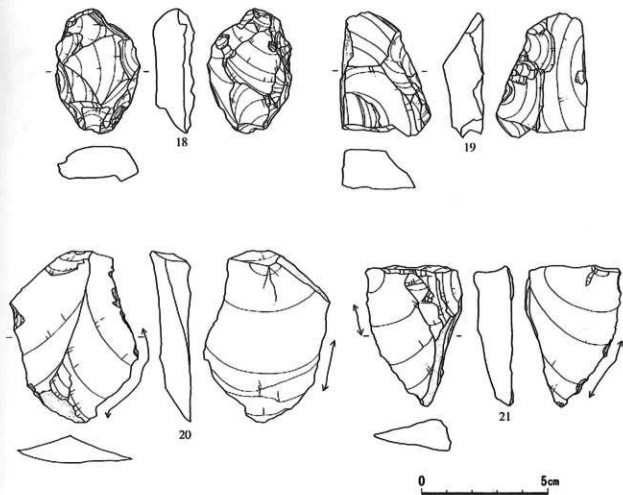
164図 第371号住居跡・出土遺物 (1)



图版番号	出土地点	层位	长 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
10	371住	埴橋土	(22)	(12)	(4)	(1.0)	珪質	A		52296
11	*	*	33	43	11	13.4	*	Gb		45645
12	*	*	(37)	28	(10)	(7.2)	*	Ga		45659
13	*	*	(57)	(22)	(17)	(21.6)	*	*	右側?右端?右端?	50113
14	*	*	42	47	11	17.6	*	Gb	右側?	45626
15	*	*	48	29	8	8.6	*	*		45640
16	*	*	63	36	18	34.0	*	*		45670
17	*	*	41	38	17	21.0	*	*		45624

165图 第371号住居跡出土遺物 (2)





図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
18	371住	層積土	49	33	16	27.3	珪質	Ga			45667
19	*	*	50	36	16	27.4	*	Gb			45668
20	*	*	68	50	16	34.6	*	Gc			45672
21	*	*	56	38	15	25.5	*	*			45669
22	*	*	105	94	62	814.7	安	1c			46333

166図 第371号住居跡出土遺物 (3)

第375号住居跡 (167図)

〔位置と確認〕 MS・T-119・120に位置する。第Ⅲ層上面で攪乱の穴の東西で落ち込みを確認した。中央部を大きく欠失するが、床面のレベル差が小さいことなどから同一の住居跡と認定した。

〔重複〕 攪乱を受けている。

〔平面形・規模〕 平面形は東西に長軸のある楕円形の可能性がある。規模は長軸4m.54cmである。

〔壁・床面〕 西壁は外傾しながら立ち上がる。壁高は西壁17cmである。東壁は攪乱の浅い部分に僅かに残存している。

〔壁溝〕 西部を巡る。幅3～8cm、深さ2～5cmである。

〔柱穴〕 壁溝に1個確認された。ピットの深さは、P.141cmである。

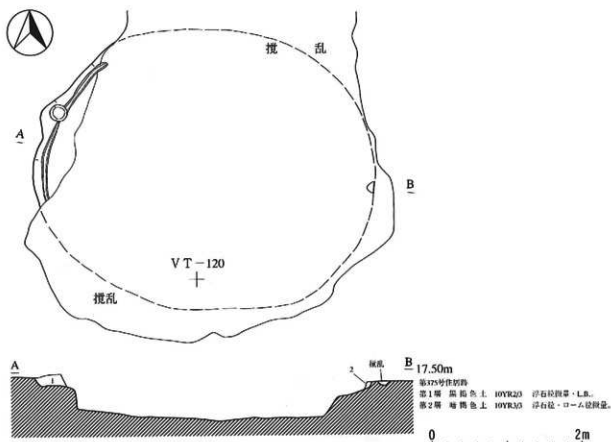
〔知〕 検出されなかった。

〔堆積土〕 2層に分層した。残存部分が僅かであり自然堆積か人為堆積か判断できない。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 検出状況から縄文時代中期と考えられる。

(京藤 岳)



第376号住居跡 (168図)

〔位置と確認〕 VB・C-118、VB-119に位置する。第Ⅲ層精査中に黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〔重複〕 第436・437号住居跡と重複し、本住居跡が最も古い。

〔平面形・規模〕 平面形は東西に長軸のある不整楕円形である。規模は短軸3m40cmである。

〔壁・床面〕 各壁ともに直線的に外傾しながら立ち上がる。壁高は西壁15cm、南壁14cm、北壁6cmである。床面はほぼ平坦である。

〔壁溝〕 検出されなかった。

〔柱穴〕 床面上に12個確認された。それぞれのピットの深さは、P<sub>1</sub>…21cm、P<sub>2</sub>…34cm、P<sub>3</sub>…34cm、P<sub>4</sub>…37cm、P<sub>5</sub>…33cm、P<sub>6</sub>…31cm、P<sub>7</sub>…21cm、P<sub>8</sub>…22cm、P<sub>9</sub>…28cm、P<sub>10</sub>…26cm、P<sub>11</sub>…36cm、P<sub>12</sub>…36cmである。

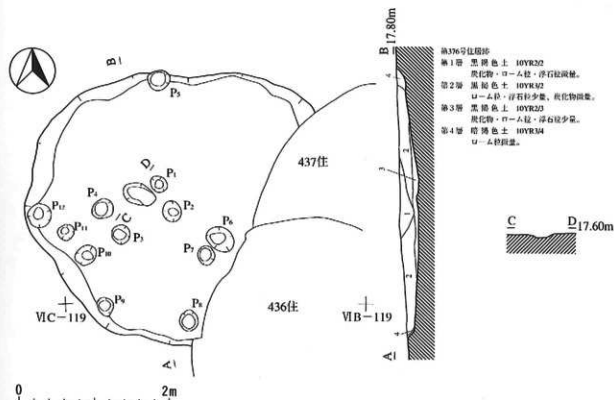
〔炉〕 床面中央からやや北西に地床炉を検出した。火焼面は確認できなかったが炭化物粒等から認定した。掘り方規模は44cm×26cm、深さ5cmである。

〔堆積土〕 4層に分層した。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 検出状況から縄文時代であるが、細別については不明である。

(斎藤 岳)



第377号住居跡 (169図～171図)

〔位置と確認〕 V T・VI A-118・119に位置する。第Ⅲ層精査中に黒褐色上の楕円形の落ち込みとして確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は北西-南東に長軸のある楕円形である。規模は長軸 3 m46cm、短軸 2 m78cmで、床面積は6.38㎡である。

〔壁・床面〕 各壁ともにゆるやかに外傾しながら立ち上がる。壁高は東壁18cm、西壁13cm、南壁19cm、北壁22cmである。床面はほぼ平坦であり、炉の周辺には貼り床がみられる。

〔壁溝〕 検出されなかった。

〔柱穴〕 床面上に12個確認された。それぞれのピットの深さは、P<sub>1</sub>…14cm、P<sub>2</sub>…23cm、P<sub>3</sub>…21cm、P<sub>4</sub>…15cm、P<sub>5</sub>…23cm、P<sub>6</sub>…24cm、P<sub>7</sub>…34cm、P<sub>8</sub>…20cm、P<sub>9</sub>…19cm、P<sub>10</sub>…22cm、P<sub>11</sub>…13cm、P<sub>12</sub>…18cmである。貼り床下からはP<sub>10</sub>…20cmが確認された。

〔炉〕 床面中央から土器埋設を検出した。掘り方の規模は54cm×44cm、深さ25cmである。

〔その他の施設〕 炉の北西の貼り床の下に長軸60cm、短軸46cm、深さ8cmの浅い窪みが検出された。炉に関連する施設の可能性がある。なお、P<sub>8</sub>は周辺の床面が若干起伏があり、付属施設の可能性もある。

〔堆積土〕 6層に分層した。自然堆積か人為堆積かは不明である。

〔出土遺物〕 炉の土器は第Ⅲ群4類である。堆積土からも第Ⅲ群4・5類土器が出土した。

〔時期〕 炉として使用された土器から縄文時代中期中葉 (円筒上層d式期) である。

(斎藤 岳)

第378号住居跡 (172図)

〔位置と確認〕 V T・VI A-116・117に位置する。第Ⅲ層精査中に黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

〔重複〕 第379号住居跡、第679・682号土坑と重複し、本住居跡が古い。一部床面まで攪乱を受けている。

〔平面形・規模〕 平面形は円形と考えられる。規模は東西で3 m60cmである。

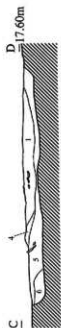
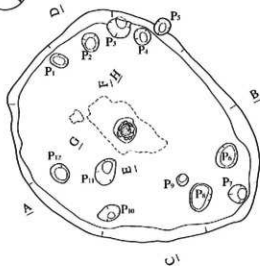
〔壁・床面〕 各壁ともに直線的に外傾しながら立ち上がる。壁高は東壁4cm、西壁11cm、北壁4cmである。床面は若干の凹凸がある。

〔柱穴〕 床面上に19個確認された。それぞれのピットの深さはP<sub>1</sub>…49cm、P<sub>2</sub>…51cm、P<sub>3</sub>…78cm、P<sub>4</sub>…66cm、P<sub>5</sub>…67cm、P<sub>6</sub>…14cm、P<sub>7</sub>…63cm、P<sub>8</sub>…38cm、P<sub>9</sub>…12cm、P<sub>10</sub>…27cm、P<sub>11</sub>…19cm、P<sub>12</sub>…16cm、P<sub>13</sub>…12cm、P<sub>14</sub>…15cm、P<sub>15</sub>…20cm、P<sub>16</sub>…20cm、P<sub>17</sub>…18cm、P<sub>18</sub>…16cm、P<sub>19</sub>…16cmである。P<sub>1</sub>及びP<sub>2</sub>あるいはP<sub>7</sub>及びP<sub>8</sub>が主柱穴である可能性がある。

〔炉〕 床面中央の42cm×36cm、深さ11cmの窪みが地床炉に相当するものと考えられるが、焼土は確認されていない。

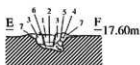
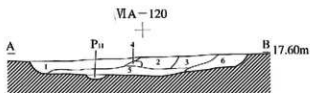
〔堆積土〕 3層に分層した。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土から第Ⅱ群6類、第Ⅲ群6類土器が、ピット3堆積土から敲磨器類などが出土した。



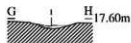
第377号住居跡

- |     |      |         |                  |
|-----|------|---------|------------------|
| 第1層 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | 浮石粒少量、炭化物・焼土粒混在。 |
| 第2層 | 黒褐色土 | 10YR2/2 | 浮石粒・炭化物・焼土粒混在。   |
| 第3層 | 黒褐色土 | 2.5Y1/3 | L.R.多量、浮石粒少量。    |
| 第4層 | 黒褐色土 | 10YR2/2 | L.R.・浮石粒少量。      |
| 第5層 | 黒褐色土 | 2.5Y1/3 | L.R.・浮石粒少量。      |
| 第6層 | 黒褐色土 | 10YR3/1 | 浮石粒少量。           |



第377号住居跡 跡

- |     |        |         |                 |
|-----|--------|---------|-----------------|
| 第1層 | 黒褐色土   | 10YR3/1 | L.R.・浮石粒少量。     |
| 第2層 | 黒褐色土   | 10YR2/1 | 上面は砂・灰土。L.R.多量。 |
| 第3層 | 黒褐色土   | 10YR2/2 | 浮石粒・炭化物混在。      |
| 第4層 | 褐色土    | 10YR4/6 |                 |
| 第5層 | 暗褐色土   | 10YR3/5 | 浮石粒少量。          |
| 第6層 | 濃い黄褐色土 | 10YR5/4 | 浮石粒少量。          |
| 第7層 | 明黄褐色土  | 10YR6/6 | 類似。             |

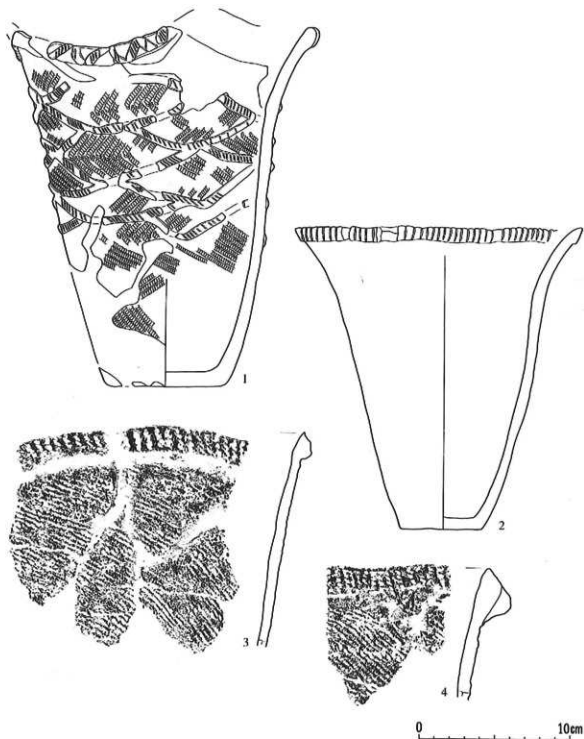


第377号住居跡 貼り床下施設

- |     |       |         |                            |
|-----|-------|---------|----------------------------|
| 第1層 | 明黄褐色土 | 10YR7/6 | 貼り床。床面との間に黒褐色土(10YR2/6)入る。 |
|-----|-------|---------|----------------------------|

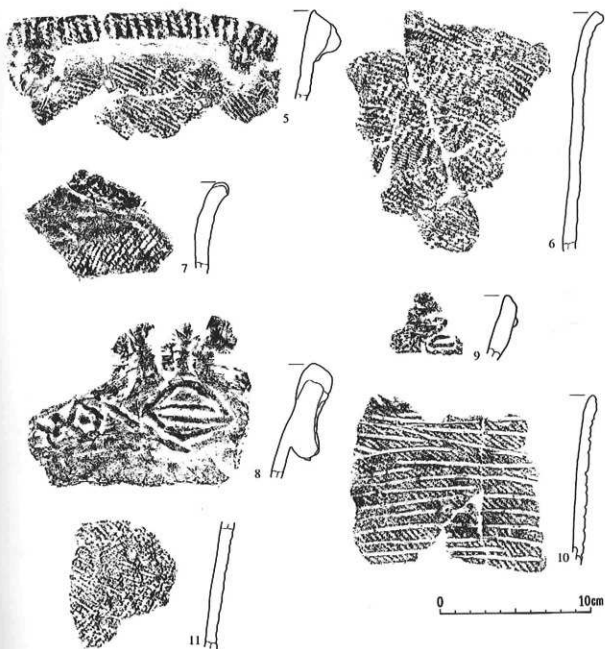


169図 第377号住居跡



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	377住跡		段付 (R押)	波状線・横・扇形 (R押)	波状線一様 (LR, RL)	ミガキ	無文	Ⅱ-4	
2	377住	壇上	刻ム	無文	無文	*	*	Ⅱ-4・5	
3	*	*	RL押、RL			*	*		3~5同一個体
4	*	*	*、*			*	*		

170图 第377号住居跡出土遺物 (1)

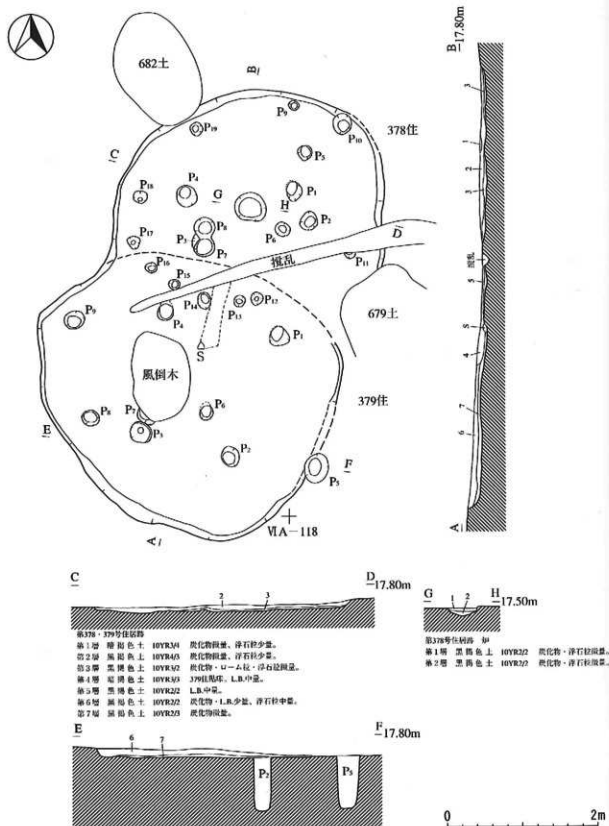


番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
5	377住	壇上	RL押、RI			ミガキ		Ⅲ-4・5	
6	*	*	泥厚	波束第一條 (LR, RL)		*	*	*	
7	*	*	泥付	LR?		*	*	*	
8	*	*	*			*	*	*	
9	*	*	*	筋付 (洞垂)、沈線		*	*	Ⅲ-5	
10	*	*	LR押、LR、沈線	LR、沈線		*	*	*	
11	*	*	*	波束第一條 (LR, RL)		*	*	Ⅲ-6	

171图 第377号住居跡出土遺物 (2)

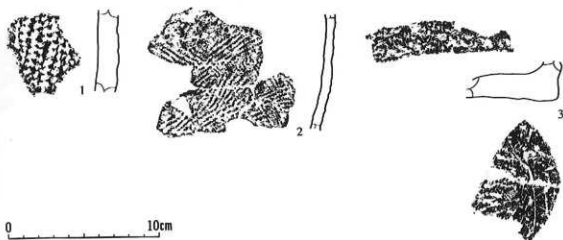
〔時期〕 検出状況から縄文時代であり、炬や柱穴配置から前期の可能性がある。

(斎藤 岳)

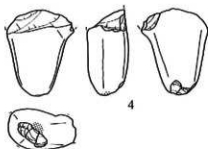


172図 第378号・379号住居跡





番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調査	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	378住	堆積土		RLR		三方弁		II-6	
2	*	*			括弧第一巻 (LR, RL)	*		III-6	
3	*	*			RL?	*	摺痕状	*	



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	材質	分類	備考	整理番号
4	378住F 713	堆積土	68	53	32	133.0	頁	fb		46335

173図 第378号住居跡出土遺物

第379号住居跡 (174図)

〔位置と確認〕 VT・VI A-117・118に位置する。第Ⅲ層精査中に黒褐色の楕円形の落ち込みとして確認した。

〔重複〕 第378号住居跡と重複し、本住居跡が新しい。風倒木により攪乱を受けている。

〔平面形・規模〕 平面形は北西-南東に長軸のある不整楕円形である。規模は長軸 4 m12cm、短軸 3 m54cmで、床面積は推定10.77㎡である。

〔壁・床面〕 各壁ともに直線的に外傾しながら立ち上がる。壁高は東壁 4 cm、西壁12cm、南壁12cmである。床面はほぼ平坦であり、第378号住居跡と重複する部分では部分的に貼床が検出された。

〔柱穴〕 床面上に9個確認された。それぞれのピットの深さは、P<sub>1</sub>…71cm、P<sub>2</sub>…71cm、P<sub>3</sub>…103cm、P<sub>4</sub>…65cm、P<sub>5</sub>…70cm、P<sub>6</sub>…101cm、P<sub>7</sub>…64cm、P<sub>8</sub>…40cm、P<sub>9</sub>…18cmである。

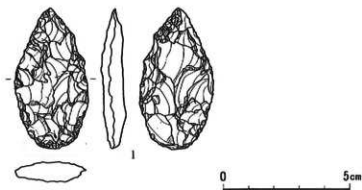
〔炉〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 5層に分層した。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 床面直上から石楯などが出土した。

〔時期〕 検出状況から縄文時代である。

(斎藤 岳)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
1	379住	床直	51	29	10	13.1	珉頁	Ba			50116

174図 第379号住居跡出土遺物

第380号住居跡 (175図～176図)

〔位置と確認〕 V T・VI A-117・118に位置する。第Ⅲ層精査中に黒褐色土の楕円形の落ち込みとして確認した。

〔重複〕 第442号住居跡と重複し、本住居跡が新しい。貼り床下の第442号住居跡が本住居跡の範囲内におさまるような重複状況であるため、本住居跡は拡張後の第442号住居跡である可能性もある。しかし、第442号住居跡の時期は円筒上層d式期であり、時間差が大きいことから、別住居とした。

〔平面形・規模〕 平面形は北東―南東に長軸のある楕円形である。規模は長軸3 m80cm、短軸3 m10cmで、床面積は8.52m<sup>2</sup>である。

〔壁・床面〕 各壁ともに直線的に外傾しながら立ち上がる。壁高は東壁10cm、西壁5cm、南壁15cm、北壁8cmである。床面はほぼ平坦であるが、東側・南側が大きく窪む。貼り床を欠失し、重複関係にある第442号住居跡の床面まで堆積土が落ち込むことによるものと考えられる。炉の南側には貼り床がみられる。

〔柱穴〕 床面上に11個確認された。それぞれのピットの深さは、P<sub>1</sub>…13cm、P<sub>2</sub>…21cm、P<sub>3</sub>…19cm、P<sub>4</sub>…14cm、P<sub>5</sub>…25cm、P<sub>6</sub>…23cm、P<sub>7</sub>…20cm、P<sub>8</sub>…18cm、P<sub>9</sub>…37cm、P<sub>10</sub>…20cm、P<sub>11</sub>…11cmである。

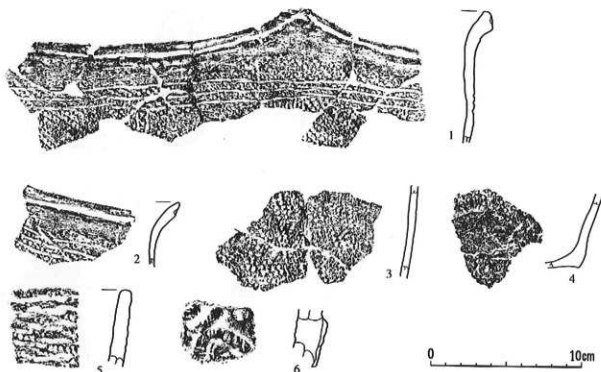
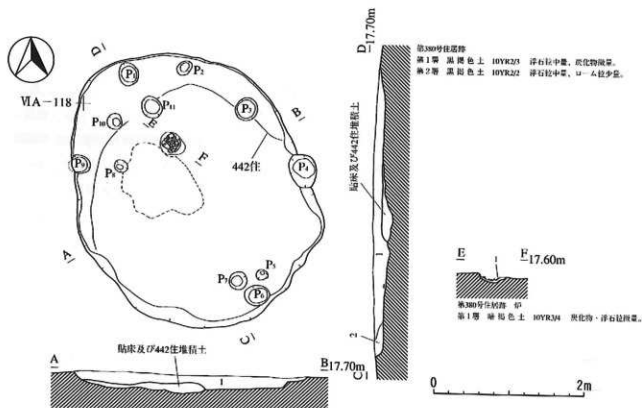
〔炉〕 床面中央からやや北西寄りですり片敷炉を検出した。掘り方規模は37cm×29cm、深さ13cmである。

〔堆積土〕 3層に分層した。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 炉の土器は第Ⅲ群8類である。堆積上からは第Ⅲ群4・5類を主体とする土器が出土した。

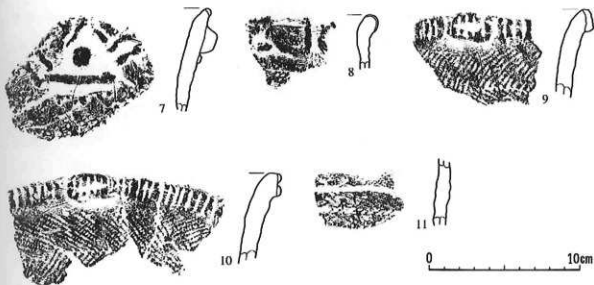
〔時期〕 炉に使用された土器から縄文時代中期後葉（榎林式期）である。

(高藤 岳)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	380住跡		凹状波、RL、沈積			ミガキ	Ⅱ-8	1~4同一個体	
2	*		*			*	*		
3	*		RL			*	*		
4	*				RL	*	黒文		
5	380住	準積土	RL結面			*	Ⅱ-2		
6	*	*		貼付 (L押)、剥突		*	Ⅱ-3		

175图 第380号住居跡・出土遺物 (1)



176図 第380号住居跡出土遺物 (2)

番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
7	380住	埋積土	貼付 (一部剥落)	LR?		ミガキ		Ⅲ-4・5	
8	*	*	貼付			*	*		
9	*	*	* (糊み)	粘着層一層 (LR, RL)		*	*		10と同一個体
10	*	*	*	*		*	*		
11	*	*		RL押		*	*		

第382号住居跡 (第177図)

〔位置と確認〕 VA・B-123に位置する。Ⅲ層中で黒色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第317号住居跡と重複し、本住居跡が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は不整形であると思われ、規模は長軸3 m 4 cm、床面積が5.69㎡である。長軸方向は北東—南西である。

〔壁・床面〕 第Ⅵ層土を掘り込んで壁・床としている。壁は一部重複によって消失している。残存する壁の最大高は、32cmである。床は平坦で、比較的堅い。

〔柱穴〕 床面南側に1個、中央部に1個検出した。付属施設内からも3個の小ピットが検出されている。深さはP<sub>1</sub>…18cm、P<sub>2</sub>…14cm、P<sub>3</sub>…3cm、P<sub>4</sub>…14cm、P<sub>5</sub>…6cmである。

〔炉〕 床面中央より土器埋設炉が確認された。掘り方は深さ約20cm、径約30cmである。土器は口縁を欠いた深鉢形で、正立して埋設される。

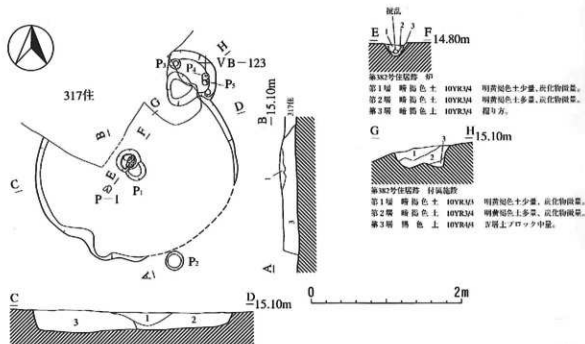
〔その他の施設〕 北東壁に、張り出しを伴う付属施設を確認した。長径約50cm、深さ約25cmのピット1個と、径約15cmの小ピット4個からなる。壁はもろい。

〔堆積土〕 暗褐色土を基調とする。第Ⅵ層土のブロックを多く混入し、全体に人為堆積の様相を呈している。

〔出土遺物〕 床面から第Ⅲ群5類土器が出土した。埋設炉の土器は図示できなかった。

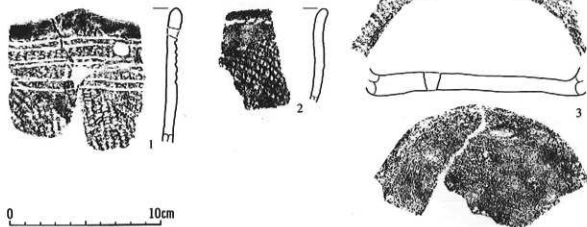
〔時期〕 床面出土遺物より、縄文中期中葉 (門筒上層e式期) である。

(木村 真明・秦 光次郎)



第382号住居跡

- 第1層 暗褐色土 IOYR34 明黄褐色土少量、炭化物微量。  
第2層 暗褐色土 IOYR34 明黄褐色土少量、炭化物微量。  
第3層 暗褐色土 IOYR34 明黄褐色土少量、炭化物微量。



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	382住	床面	RL、沈線、黄褐色			3方半		Ⅲ-5	
2	382号付属施設	床点	RL押、RL			〃		Ⅲ-4・5	
3	382住	1			縄文?	〃	黒文	Ⅲ-6	

177图 第382号住居跡・出土遺物

第383号住居跡 (178図～182図)

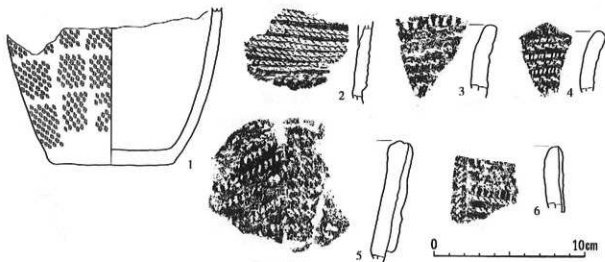
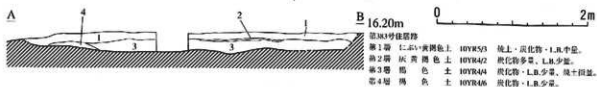
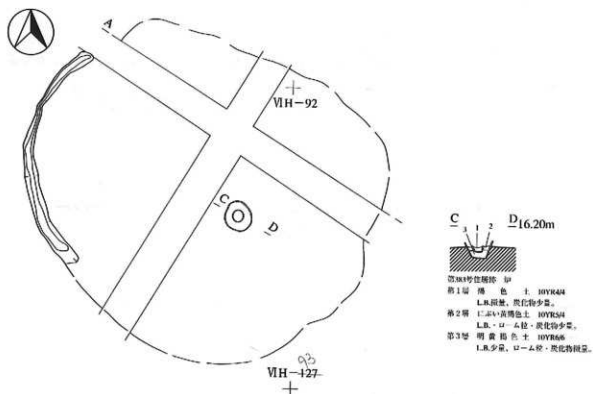
- 〔位置と確認〕 VI G・H-91・92に位置し、第Ⅲ層精査中に土器埋設炉と床面の一部を確認した。
- 〔平面形・規模〕 平面形は北西―南東に長軸のある楕円形と推定されるが、壁が残存しないので詳細は不明である。残存している範囲は長軸4 m 85cm、短軸4 m 10cmである。
- 〔壁・床面〕 壁は残存しない。床面はほぼ平坦であるが、貼り床はなく、軟弱である。
- 〔壁溝〕 西壁際から検出され、幅10cm～20cm、深さ6 cm～11cmである。
- 〔柱穴〕 検出されなかった。
- 〔炉〕 床面中央から南東方向に寄って土器埋設炉が検出された。土器は二重になっており、内側は下半部を、外側は胴部破片を使用し、別個体である。掘り方の規模は65cm×25cm、深さ25cmである。堆積土には微細な炭化物、焼土を含んでいる。明確な火焼面は検出されなかった。
- 〔堆積土〕 6層に分層した。人為堆積と考えられる。暗褐色土を基調とし、層全体にロームブロック、炭化物を含む。
- 〔出土遺物〕 埋設炉の土器は第Ⅱ群6類である。堆積土からは第Ⅱ群5-2類、第Ⅲ群1類を主体とする土器が出土した。石器は2層から敵磨器類などが、堆積土からスクレイパー類、R.フレイク、U.フレイク、石核、磨製石斧などが出土した。
- 〔時期〕 炉・堆積土出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

(岡田 康博)

第384号住居跡 (183図)

- 〔位置と確認〕 VI G-92・93に位置し、第Ⅲ層精査中に炉跡を確認した。
- 〔重複〕 第58-62号焼土と重複し、新旧関係は不明である。
- 〔平面形・規模〕 炉跡しか残存しないため、全体の形状は不明である。
- 〔壁・床面〕 残存しない。
- 〔柱穴〕 検出されなかった。
- 〔炉〕 低い周壁で囲まれた、掘り方を持つ地床炉と火焼面を検出した。掘り方の規模は1 m 20cm×1 m 20cm、深さ約15cmである。堆積土には大量の焼土と炭化物が含まれる。火焼面からは掘り方は検出されなかった。
- 〔堆積土〕 なし。
- 〔出土遺物〕 炉から第Ⅱ群6類土器、半円状扁平打製石器などが出土した。
- 〔時期〕 炉堆積土出土遺物から縄文時代前期後半と考えられる。

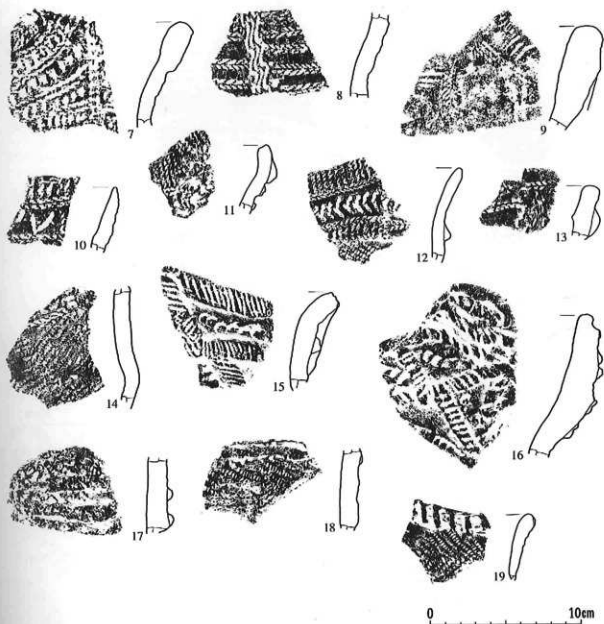
(岡田 康博)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	383住切				RLR	ミガキ	無文	II-6	
2	383住	堆積土	LR押			剥落		II-5-2	
3	*	*	口縁上面刷み、LR押			ミガキ		*	
4	*	*	単筋口押					*	
5	*	*	L単筋口押、貼付					*	
6	*	*	刷付LR押、LR押、刷み					*	

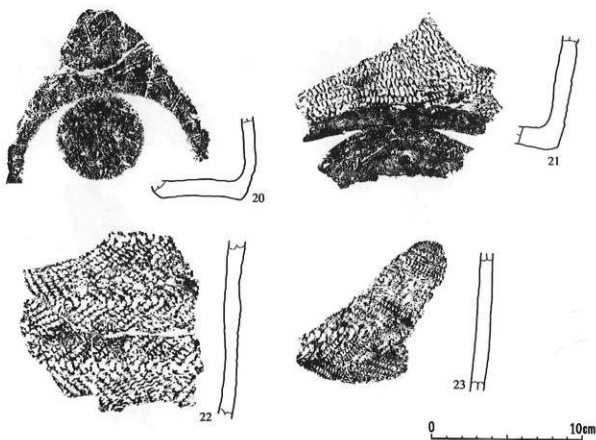
178図 第383号住居跡・出土遺物(1)



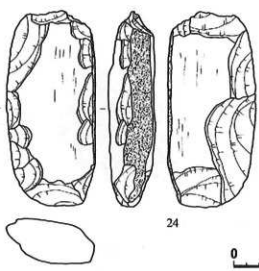


番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
7	383住	堆積土	単純L押、LR押			2方弁	Ⅱ-5-2		
8	*	*	LR・RI押、R結四			*	*	凹形貼付割高	
9	*	*	L押			*	Ⅲ-1		
10	*	*	LR押			*	*		
11	*	*	LR押、貼付(L・R押)			*	*		
12	*	*	*	RL?		*	*		
13	*	*	RI・LR押、貼付(流明)			*	*		
14	*	*		LR		*	*	胴部・胴部底面	
15	*	*	貼付(L押)、L馬蹄形押			*	*	Ⅲ-2	
16	*	*	* (+)、刺突			*	*	Ⅲ-3	
17	*	*		貼付(流明)		*	*	Ⅲ-4	
18	*	*		*、貼付		*	*		
19	*	*	貼付、結束部一種			*	*	Ⅲ-4・5	

179图 第383号住居跡出土遺物(2)

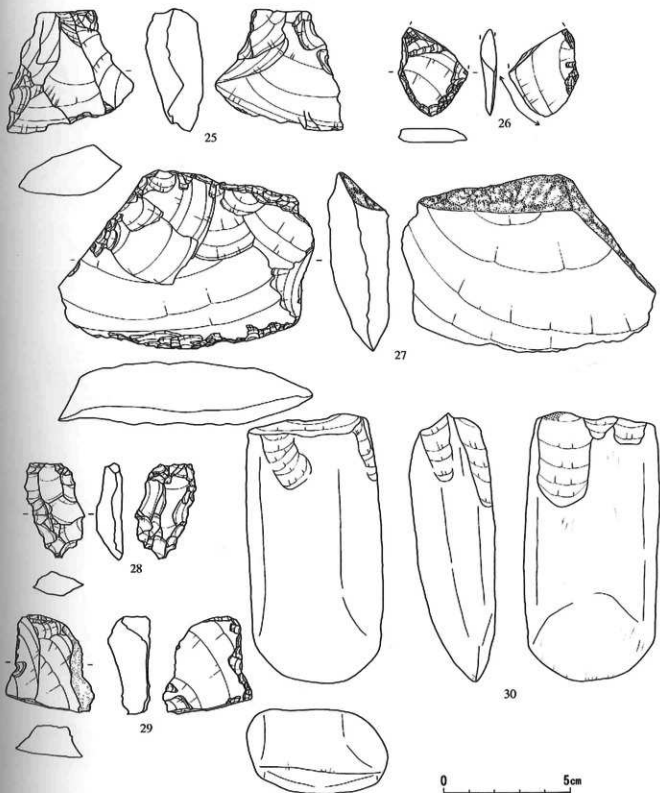


番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴瓶上半	胴部下半				
20	383住	埴壇土			楕円状の沈線	ミ方キ		Ⅱ-6	
21	*	*			乱多輪縁	*	黒文	Ⅱ-6	
22	*	*			粘葉第一段 (LR, RL)	*		Ⅱ-6	
23	*	*			* (*)	*		*	



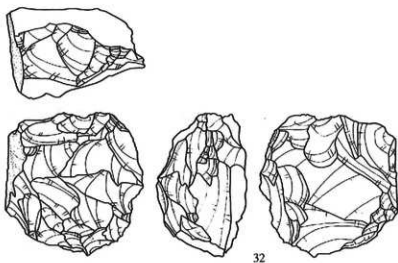
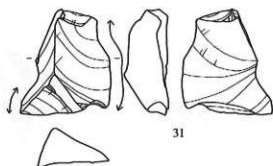
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
24	383住	2	155	70	37	514.7	灰	lc		42588

180図 第383号住居跡出土遺物 (3)



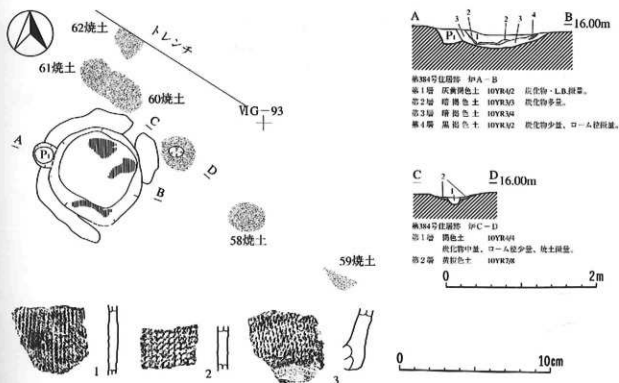
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
25	383住	塚積土	48	50	22	37.9	珪質	Gb		40150
26	*	*	(35)	27	(6)	(5.4)	*	Ga		40146
27	*	*	71	110	24	162.3	*	*		40257
28	*	*	38	25	10	7.5	*	*		52121
29	*	*	39	35	17	19.0	*	*	欠損面から剥離加工	40199
30	*	*	107	55	34	301.6	閃	Ha		40160

181図 第383号住居跡出土遺物 (4)

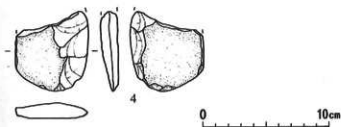


図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
31	383住	堆積土	42	36	18	18.0	瑠璃	Gc			40147
32	*	*	57	55	36	121.6	*	Pa			40213

182図 第383号住居跡出土遺物 (5)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様		内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半				
1	384住居	堆積土		R単站I		ミ方弁	Ⅱ-6	
2	*	*		RLR		*	*	
3	*	*			L単站I	*	*	



図版番号	出土地点	層位	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
4	384住居	堆積土	(62)	(52)	(14)	(56.2)	安	J		42494

183图 第384号住居跡・出土遺物

第385号住居跡 (184図～187図)

〔位置と確認〕 VI F・G-90に位置し、第Ⅲ層精査中に褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第328・359・386・392・396号住居跡と重複し、第392・396号住居跡より新しく、第328・359・386号住居跡より古い。

〔平面形・規模〕 壁と柱穴しか残存していないため、全体の平面形は不明である。残存部分の規模は東西3 m80cm、南北1 m50cmである。

〔壁・床面〕 南壁しか残存しない。南壁は外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は3 cmである。床面はほぼ平坦であるが、貼り床は施されておらず、軟弱である。

〔柱穴〕 柱穴が確認されたが明確に主柱穴と判断できるものはない。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…34cm、P<sub>2</sub>…38cm、P<sub>3</sub>…12cm、P<sub>4</sub>…19cm、P<sub>5</sub>…18cmである。

〔炉〕 残存しない。

〔堆積土〕 2層に分層した。人為堆積と考えられる。暗褐色土を基調とし、層全体にロームブロックを含む。

〔出土遺物〕 床面直上から第Ⅲ群6類、堆積土から第Ⅱ群5-2類、第Ⅲ群1類土器が出土した。石器は床面直上から敲磨器類、角柱状の礫石器などが、堆積土から敲磨器類などが出土した。

〔時期〕 床面直上・堆積土出土遺物及び重複関係から縄文時代中期初頭～前葉と考えられる。

(岡田 康博)

第386号住居跡 (184図・188図～189図)

〔位置と確認〕 VI G-89に位置し、第385号住居跡精査中に暗褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第290・359・385号住居跡と重複し、第385号住居跡より新しく、第290・359号住居跡より古い。

〔平面形・規模〕 壁と柱穴しか残存していないため、全体の平面形は不明であるが隅丸長方形の可能性がある。残存部分の規模は東西2 m50cm、南北3 m95cmである。

〔壁・床面〕 南壁と東壁の一部しか残存しない。壁は外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は南壁9 cm、東壁2 cmである。床面はほぼ平坦であるが、貼り床は施されておらず、全体に軟弱である。

〔柱穴〕 柱穴が確認されたが明確に主柱穴と判断できるものはないものの、P<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>・P<sub>3</sub>はその可能性がある。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…22cm、P<sub>2</sub>…26cm、P<sub>3</sub>…41cmである。また、壁際には壁柱穴があり、直径5 cm～10cm、深さ10cm～20cmである。

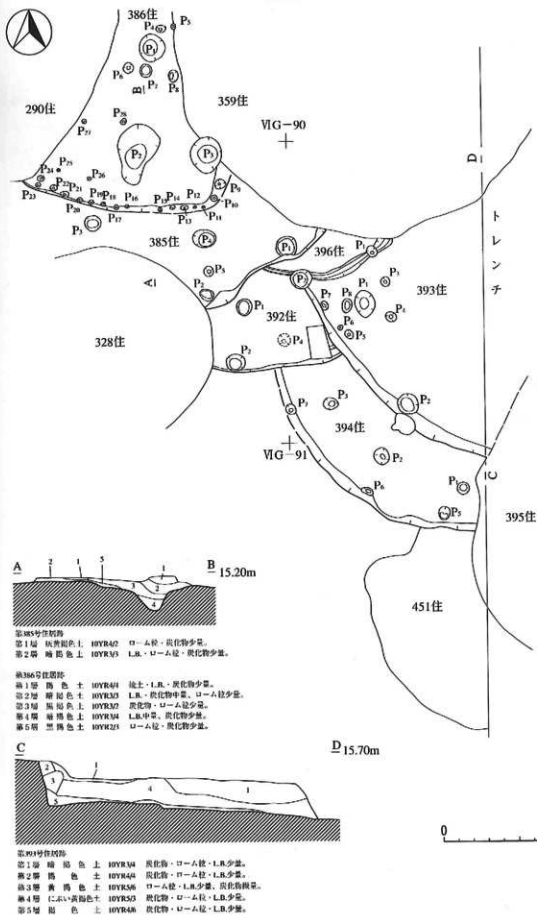
〔炉〕 残存しない。

〔堆積土〕 5層に分層した。人為堆積と考えられる。暗褐色土を基調とし、層全体にロームブロックを含む。

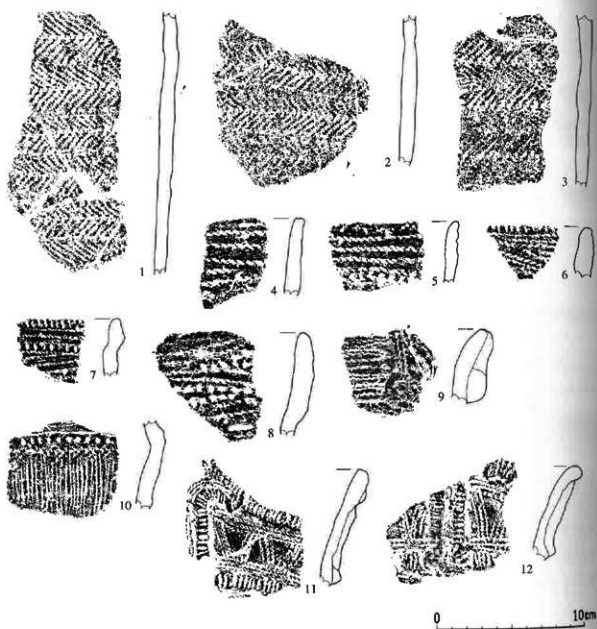
〔出土遺物〕 堆積土から第Ⅱ群3、5、6類土器、敲磨器類、挟入扁平磨製石器、石皿・台石類などが出土した。14は粘板岩の扁平礫を素材とし、部分的に剥離と研摩加工が施される。大きさからみて石製品の素材の可能性もある。

〔時期〕 堆積土出土遺物及び重複関係から縄文時代中期と考えられる。

(岡田 康博)



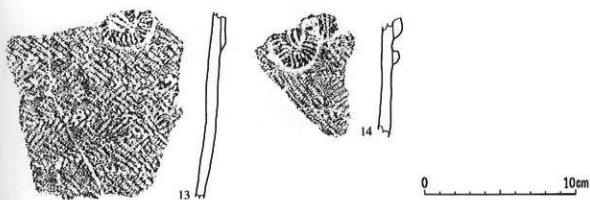
184図 第385号・386号・392号・394号・396号住居跡



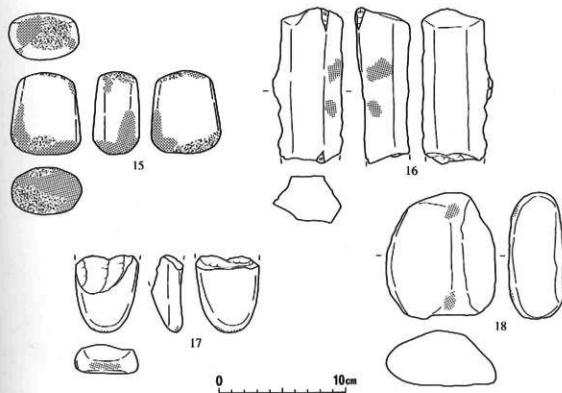
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分取	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	385住	床面		斜交片一役 (LR, RL)		ミガキ		Ⅱ-6	
2	○	○		○ (○)				○	
3	○	○		○ (○)				○	
4	○	堆積土	LR押					Ⅱ-5-2	
5	○	○	L押、C字状刺突					○	
6	○	○	RL押					○	
7	○	○	L押、刺突					○	
8	○	○	○、△					○	
9	○	○	匙付 (LR押)、LR押					○	
10	○	○		刺突、R半端1				○	
11	○	○		匙付 (L押)、L・R押				Ⅱ-1	
12	○	○		○ (○)、○				12と同一個体	

185図 第385号住居跡出土遺物 (1)



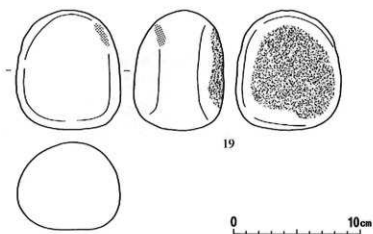


番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
13	385住	堆積土		扇形 乱彫、扇形等		ミ方キ		Ⅲ-1~3	14と同一器作
14	*	*		*(*)、*		*		*	



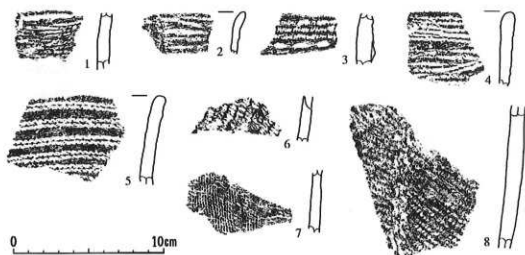
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
15	385住	床直	65	55	37	226.2	安	Ib		42589
16	*	*	(122)	(55)	(43)	(363.7)	流	Ub	S-2	43713
17	*	堆積土	(61)	(50)	(25)	(82.1)	安	Ib		42495
18	*	*	100	86	43	493.4	*	*		42592

186図 第385号住居跡出土遺物 (2)



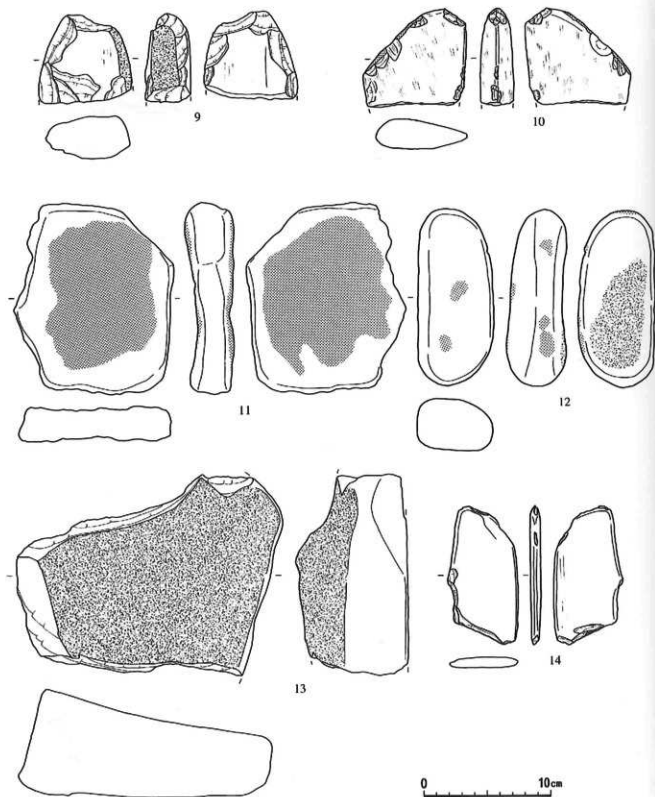
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
19	385住	黒礫土	95	83	71	747.7	流	lc			42591

187図 第385号住居跡出土遺物 (3)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	386住	壇積上	単筋I、LR7押			ミ方キ		II-3	
2	*	*	単筋I押					II-5-1	
3	*	*	、刺突			ミ方キ		*	紙條帯状の彫痕
4	*	*	LR押			*		II-5-2	
5	*	*	*			*		*	
6	*	*		LR		*		II-6	
7	*	*		RL、結四		*		*	
8	*	*		単筋I		*		*	

188図 第386号住居跡出土遺物(1)



图版名称	出土地点	层位	长 (mm)	宽 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石质	分型	类	号	修理番号
9	386住	埴轮土	(70)	(74)	(36)	(236.5)	安	Ic			42594
10	*	*	(77)	82	(26)	(196.9)	*	K			42593
11	*	*	151	126	38	1055.8	*	L			42596
12	*	*	140	60	47	352.8	流	Ib			42595
13	*	*	(159)	(210)	(89)	(3514.2)	安	L			46427
14	*	*	109	56	8	70.2	粘	Q			42497

189图 第386号住居跡出土遺物 (2)

第387号住居跡 (190図～193図)

〔位置と確認〕 VI G・H-87・88に位置し、第287号住居跡精査中に暗褐色土の隅丸長方形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第287・388号住居跡と重複し、本住居跡が最も古い。

〔平面形・規模〕 平面形は東西に長軸のある隅丸長方形である。規模は長軸5 m20cm、短軸4 m30 cmである。床面積は推定19.2㎡である。

〔壁・床面〕 各壁ともに外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は東壁30cm、西壁13cm、南壁45cm、北壁20cmである。床面はほぼ平坦で、貼り床は施されていないものの堅緻である。

〔柱穴〕 主柱穴はP<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>で、さらにP<sub>4</sub>・P<sub>5</sub>がその可能性が高い。傾斜面の山側のみが明確に検出された。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…23cm・P<sub>2</sub>…44cm・P<sub>4</sub>…20cm・P<sub>5</sub>…12cmである。また、立て替えの痕跡が認められ、中軸線上に炉を跨ぐように2個配置されていた可能性がある。壁際には壁柱穴がほぼ全周巡り、直径5 cm～10cm、深さ6 cm～21cmである。

〔炉〕 床面のほぼ中央から地床炉が検出された。掘り方の規模は約1 m20cm×85cm、深さ15cmである。堆積土には微細な炭化物、焼土を大量に含んでいる。作り替えが認められ、火焼面が2枚検出された。

〔堆積土〕 12層に分層した。人為堆積と考えられる。暗褐色土を基調とし、層全体にロームブロック、炭化物を含む。

〔出土遺物〕 床面直上から第Ⅱ群6類土器が、堆積土から第Ⅱ群2、3、5-1類土器が出土した。石器は第7層から敲磨器類などが、第4層から敲磨器類、石皿・台石類などが、第2層から敲磨器類などが、その他の堆積土から石匙、スクレイパー類、敲磨器類などが出土した。

〔時期〕 床面直上・第2層出土遺物から縄文時代前期末(円筒下層d<sub>1</sub>式)に近い時期と考えられる。

(岡田 康博)

第388号住居跡 (194図～206図)

〔位置と確認〕 VI F・G-86・87に位置し、第287号住居跡精査中に暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第287・387号住居跡と重複し、第287号住居跡より新しく、第387号住居跡より古い。

〔平面形・規模〕 平面形は東西に長軸のある隅丸長方形に近い楕円形である。規模は長径6 m25cm、短径4 m95cmである。床面積は25.44㎡である。

〔壁・床面〕 各壁ともに緩やかに湾曲しながら立ち上がる。壁高は東壁10cm、西壁12cm、南壁50cm、北壁30cmである。床面はほぼ平坦で、南壁際の貼り床は顕著である。全体に堅緻である。

〔壁溝〕 西壁の一部から検出された。幅10cm、深さ4 cmである。

〔柱穴〕 主柱穴はP<sub>1</sub>～P<sub>4</sub>の4本柱で炉の周囲に配置され、それら以外にも対角線上に柱の圧痕が確認された。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…42cm、P<sub>2</sub>…35cm、P<sub>3</sub>…44cm、P<sub>4</sub>…44cmである。

〔炉〕 床面のほぼ中央から地床炉が検出された。掘り方の規模は1 m×1 m10cm、深さ20cmである。堆積土中に炭化物、焼土を含む。

〔その他の施設〕 住居外の南東隅から出入り口施設と考えられる張り出しが検出された。南東に延

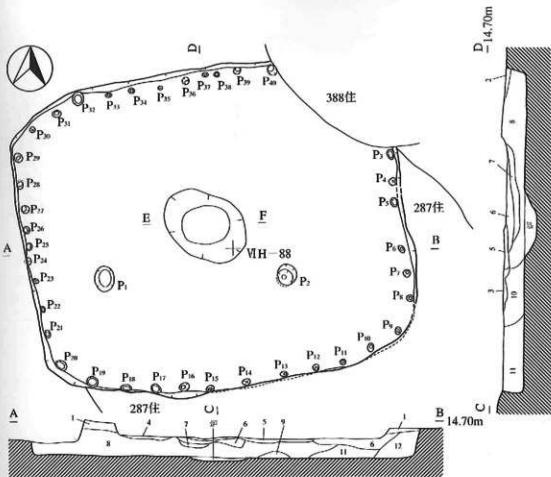
びる舌状で、規模は95cm×1m20cm、深さ10cmで、ほぼ平坦である。全面に貼り床が施され、南壁際からは壁溝が検出された。壁溝の規模は幅15cm、深さ5cmである。

〔堆積土〕 13層に分層した。人為的堆積と考えられる。暗褐色土を基調とし、層全体にロームブロック・炭化物を微量に含む。

〔出土遺物〕 堆積土から第Ⅱ群3類を主体とする多量の土器が出土した。石器は第7層から角柱状の礫石器など、堆積土から石鏃、石匙、石錐、スクレイパー類、黒曜石製剥片、異形石器、磨製石斧、半円状扁平打製石器、敲磨器類などが出土した。

〔時期〕 ビット堆積土出土遺物及び重複関係から縄文時代前期中葉（円筒下層b式期）と考えられる。

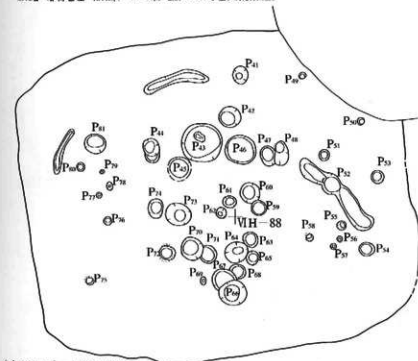
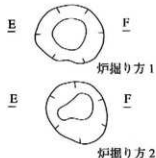
（岡田 康博）



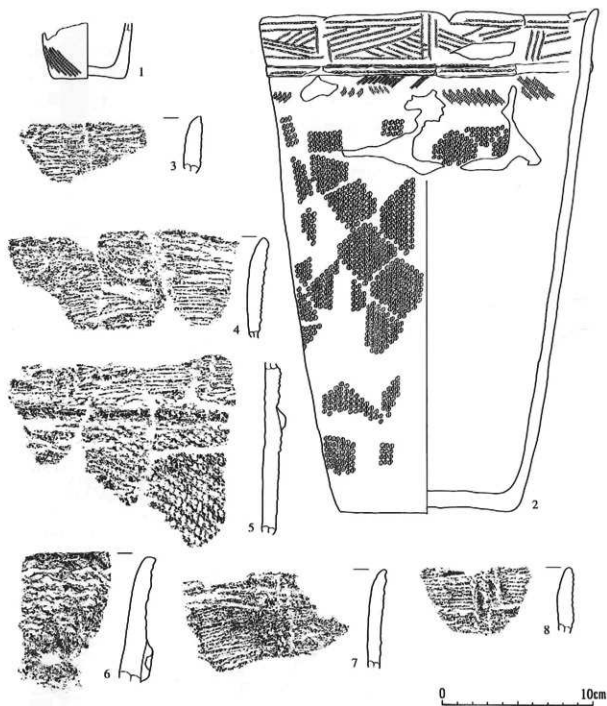
- 第387号住居跡
- 第1層 褐色土 I0YR44 ローム粒・パミス少量、炭化物微量、焼土粒微量。
  - 第2層 黒褐色土 I0YR22 炭化物少量、ローム粒、パミス微量。
  - 第3層 白〜黄褐色土 I0YR34 炭色土微量、炭化物、パミス、鉄屑微量。
  - 第4層 褐色土 I0YR33 炭化物中量、ローム粒、L.B.少量、焼土粒・パミス微量。
  - 第5層 黒褐色土 I0YR23 ローム粒・L.B.・パミス少量、炭化物、焼土粒微量。287住の床。
  - 第6層 暗褐色土 I0YR33 炭化物少量、ローム粒、パミス微量、焼土粒微量。
  - 第7層 灰褐色土 I0YR25 炭化物中量、ローム粒少量、焼土・パミス微量。
  - 第8層 黒褐色土 I0YR23 ローム粒・L.B.少量、炭化物、パミス微量、焼土粒微量。
  - 第9層 暗褐色土 I0YR34 ローム粒・L.B.少量、炭化物、パミス微量、焼土粒微量。
  - 第10層 灰褐色土 I0YR25 ローム粒・L.B.少量、炭化物、パミス微量、焼土粒微量。287住の床。
  - 第11層 暗褐色土 I0YR34 ローム粒・L.B.中量、パミス微量、炭化物微量。
  - 第12層 暗褐色土 I0YR34 ローム粒・L.B.・パミス少量、炭化物微量。



- 第387号住居跡 跡
- 第1層 褐色土 I0YR44 ローム粒・パミス少量、炭化物微量、焼土粒微量。
  - 第2層 黒褐色土 I0YR23 ローム粒・パミス多量、炭化物微量、焼土粒微量。
  - 第3層 黒褐色土 I0YR22 炭化物少量、ローム粒微量、焼土微量。
  - 第4層 灰褐色土 I0YR25 焼土多量、炭化物中量、ローム粒微量。



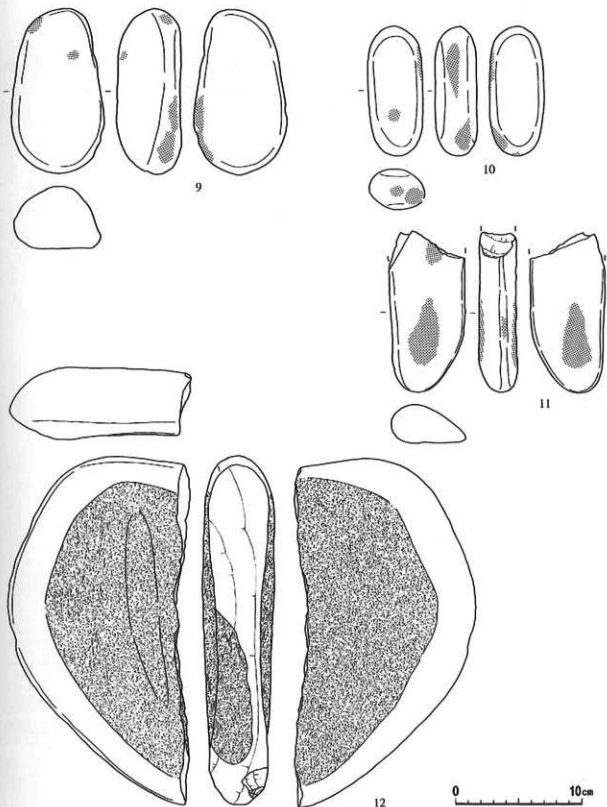
(床面下ピット検出状況) 190図 第387号住居跡



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	387住	床直			単結1	ミガキ	無文(上縁部)	II-6	
2	*	2	R押	縦帯(横切)、段帯	RLR	*	無文	II-5-1	
3	*	*	単結17			*		II-3	
4	*	*	R単結1			*		*	
5	*	*	R単結6A	長条帯(横切)、RLR		*		*	
6	*	堆積上	LR筋回	段帯(内形利突)		*		II-2	
7	*	*	L単結17LR押			*		II-3	
8	*	*	R単結1、RLR押			*		*	

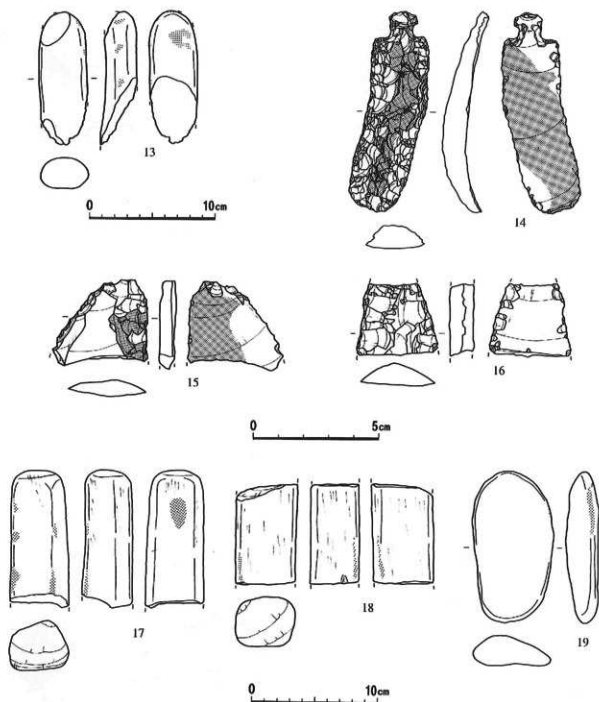
191図 第387号住居跡出土遺物(1)





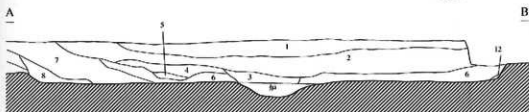
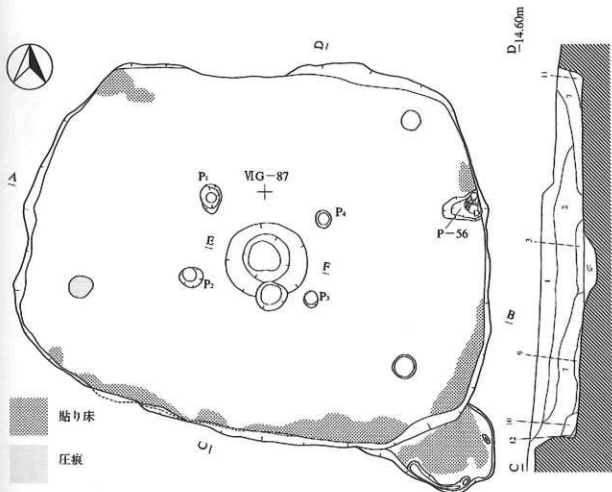
图版番号	出土地点	层位	长 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
9	387住	7	131	73	51	631.7	流石	lb	S-8	42603
10	*	*	102	44	32	203.6	+	+	S-9	42599
11	*	4	(126)	(61)	(31)	(266.0)	+	+	S-4	42600
12	*	*	275	144	57	2700.7	安山	L	S-15, 欠損面に磨面	46428

192图 第387号住居跡出土遺物 (2)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
13	387住	2	(105)	37	(30)	(115.6)	流	lb	焼け	42597
14	*	埋藏土	80	32	18	17.8	瑛質	Ca		51903
15	*	*	(35)	(38)	(6)	(7.6)	*	Gu	石彫破片?	52122
16	*	*	(29)	(33)	(9)	(8.0)	*	*		52123
17	*	*	(109)	(47)	(40)	(297.3)	安	lb	S-1	42598
18	*	*	(79)	(49)	(39)	(293.1)	*	*	石彫破片?	42602
19	*	*	119	65	26	228.4	頁	*		42500

193図 第387号住居跡出土遺物 (3)



第388号住居跡

- 第1層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物少量、ローム粒・パリス微量、焼土粒散見。
- 第2層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物少量、ローム粒・パリス微量、焼土粒散見。
- 第3層 黒色土 10YR2/3 炭化物微量、ローム粒・パリス・焼土粒微量。
- 第4層 黒褐色土 10YR3.2/1 炭化物少量、ローム粒・パリス微量、焼土粒微量。
- 第5層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物微量、ローム粒・パリス微量、焼土粒微量。
- 第6層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物微量、ローム粒・L.B.・パリス少量、焼土粒微量。
- 第7層 灰色粘土 10YR4/3 ローム粒・L.B.多量、炭化物・パリス少量、焼土粒散見。
- 第8層 黒褐色土 10YR2/3 炭化物・ローム粒・パリス微量。
- 第9層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒少量、炭化物・パリス微量。
- 第10層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物・ローム粒・パリス微量。
- 第11層 黒褐色土 10YR2/3 ローム粒・パリス微量、炭化物微量。
- 第12層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物・ローム粒微量。

0 2m



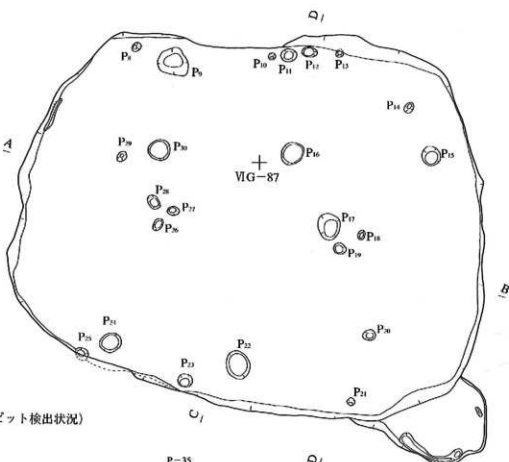
第388号住居跡 切

- 第1層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物少量、パリス・ローム粒微量、焼土粒微量。
- 第2層 黒褐色土 10YR2/3 炭化物・パリス・ローム粒少量。
- 第3層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物・L.B.・ローム粒・パリス中量。
- 第4層 暗褐色土 10YR3/3 L.B.・ローム粒多量、パリス少量、炭化物微量。
- 第5層 黒褐色土 10YR2/3 炭化物・パリス少量、ローム粒・焼土粒微量。
- 第6層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒・パリス・炭化物中量。
- 第7層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物中量、ローム粒・焼土粒微量。
- 第8層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒・L.B.中量、炭化物少量、ローム粒・パリス微量。

194図 第388号住居跡 (1)

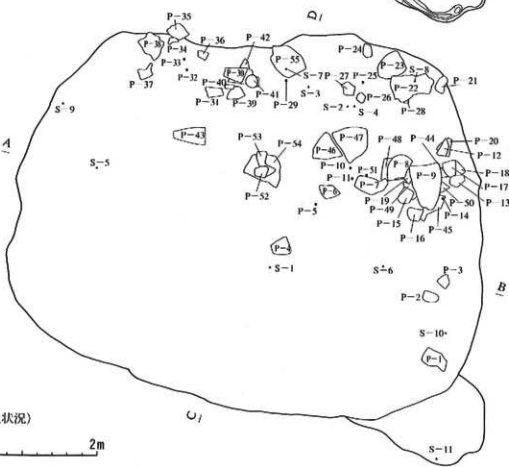


VH-87  
+



(床面下ピット検出状況)

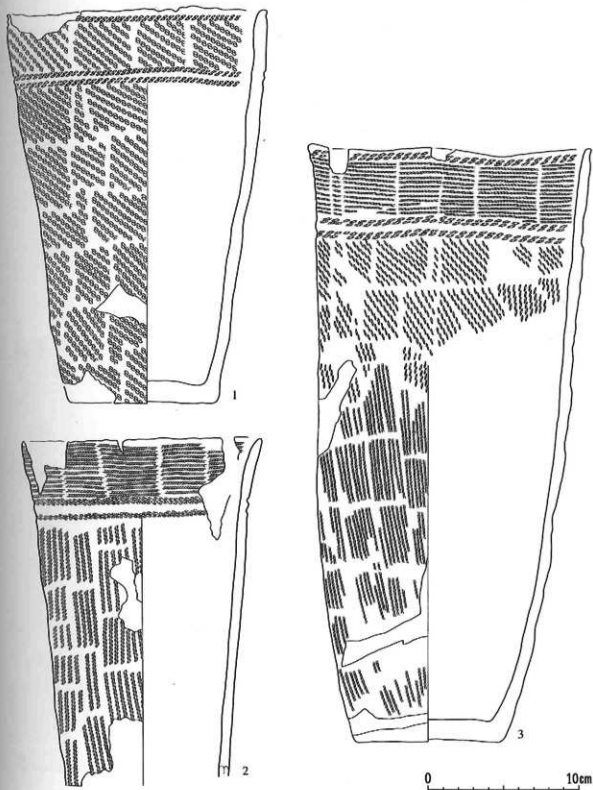
VH-88  
+



(遺物出土状況)

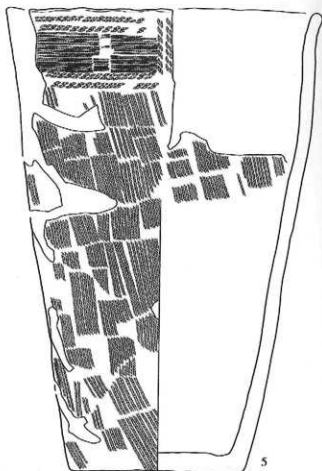
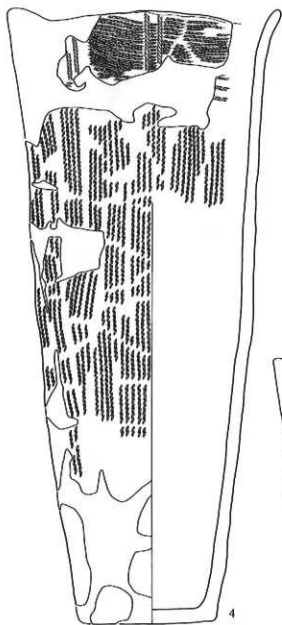
0 2m

195図 第388号住居跡 (2)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	意例	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	388住		RLR、RLR押	RLR	RLR	三方巾	無文	Ⅱ-3	P-30
2	*	埴壇土	R縹絡1、LR押	LR半絡1		*		*	P-43
3	*	埴壇土	*、RLR押	RLR	R半絡1	*	縹文	*	P-20

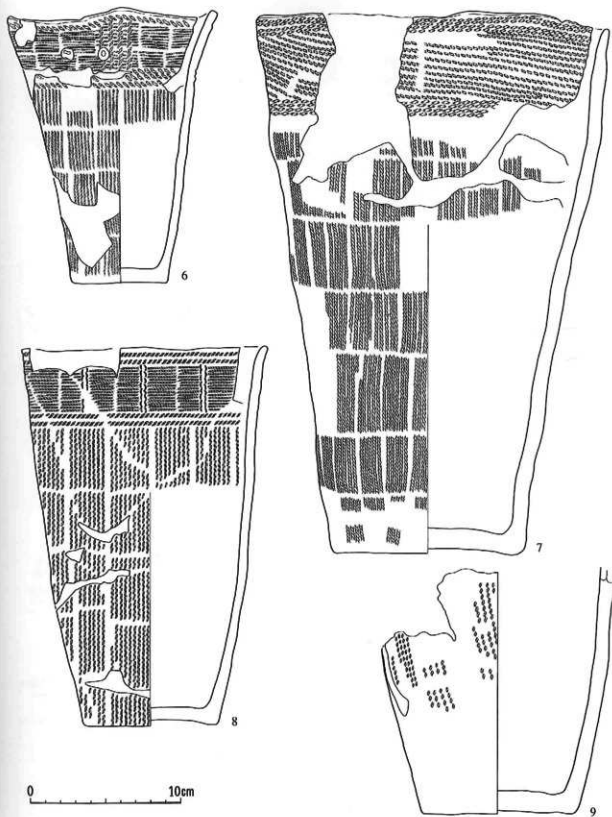
196図 第388号住居跡出土遺物(1)



0 10cm

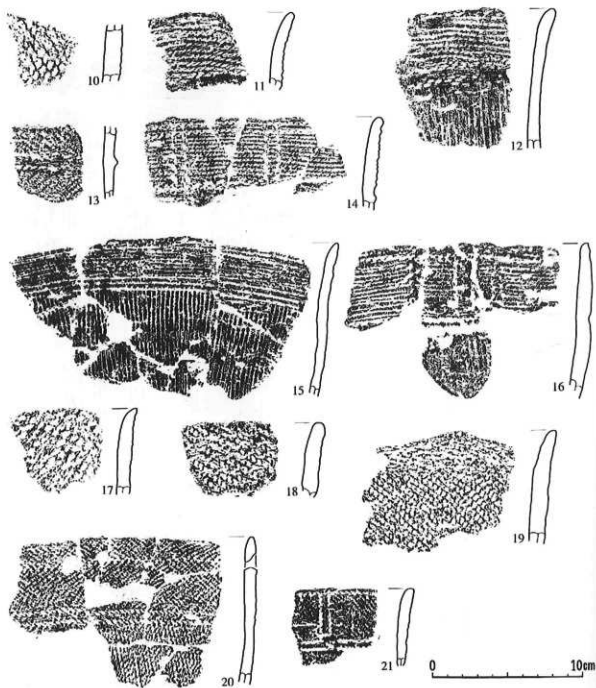
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
4	388住	堆積土	R単符1、R押	LR単跡1	LR単跡1	ミガキ	無文	Ⅱ-3	
5	*	*	*、RLR押	R単跡1	R単跡1	*	*	*	P-23

197図 第388号住居跡出土遺物 (2)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分塊	備 考
			I目線部	胴部上半	胴部下半				
6	388住	堆積上	R単結1、LR押	R単結1	R単結1	ミガキ	無文	II-3	P-50
7	*	*	LR単結1、RLR押	*	*	*	*	*	P-54
8	*	*	R単結1、*	LR単結1	LR単結1	*	*	*	P-46
9	*	*	*	*	*	*	*	II-6	P-41

198図 第388号住居跡出土遺物 (3)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底側	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
10	388住	堆積土		RLR		（方弁）		II-6	
11	*	2	R半筋1	*、RLR押	R半筋1	*	*	II-3	
12	*	1	RL	低隆帯、LR		*	*		
13	*	*	L半筋6A			*	*		
14	*	*	R半筋1		R半筋1	*	*		
15	*	*	R半筋6A、RLR押			*	*		
16	*	堆積土	RLR			*	*	II-2	
17	*	*	R結面	RLR		*	*		小波状
18	*	*	RLR、R結面			*	*		
19	*	*	括弧筋一様、L押		L半筋1	*	*	II-3	
20	*	*	*、LR押			*	*		
21	*	*				*	*		

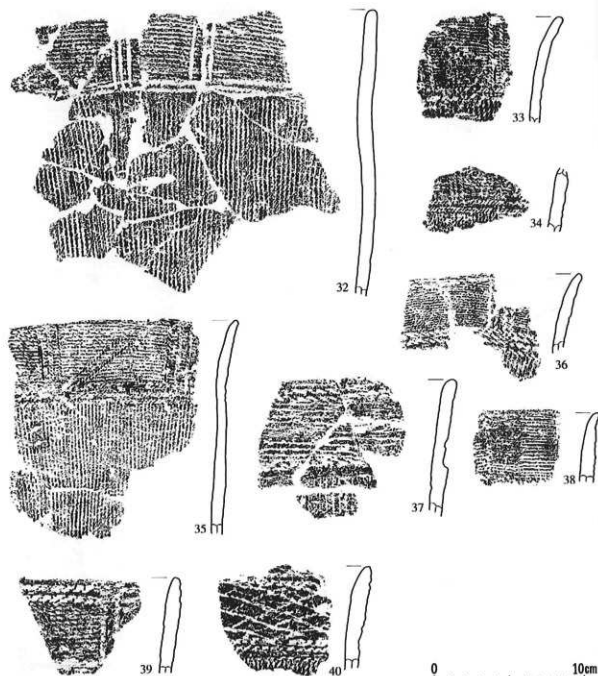
199図 第388号住居跡出土遺物(4)





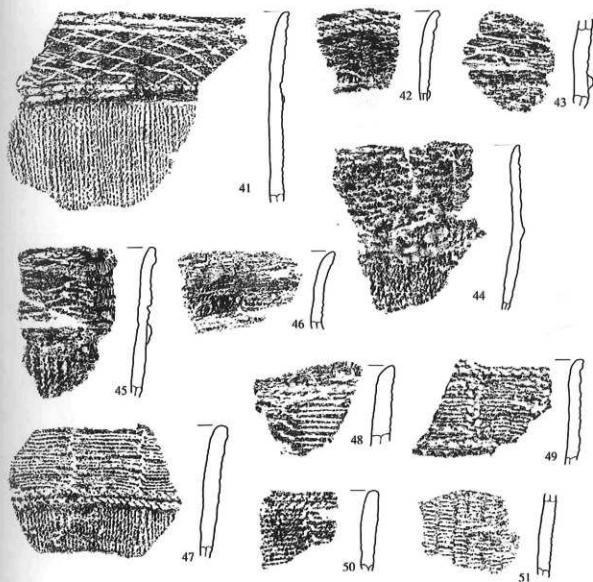
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様		内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半				
22	388住	埋積土	L拍面	條帯 (RLR押), RLR	ミガキ		目 3	
23	○	○	筋帯第一層、RLR押	RLR+LR	○	○		
24	○	○	R単結1	R単結1	○	○		
25	○	○	○、LR押		○	○		
26	○	○	L単結1、R押	L単結1	○	○		
27	○	○	LR単結1		○	○		
28	○	○	L単結1、貫通孔	巻込帯状の筋波、単結1	○	○		
29	○	○	LR単結1、RL押	L単結1	○	○		
30	○	○	R単結1、LR押		○	○		
31	○	○	○、RLR押		○	○		

200図 第388号住居跡出土遺物 (5)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
32	388住	堆積上	R単結1、RI、押	R単結1		ニ方弁	II-3		
33	*	*	*、R押	*		*	*		
34	*	*	*	*		*	*		
35	*	*	*	*		*	*		
36	*	*	*、LR押	*		*	*		
37	*	*	L単結1	R単結1?		*	*		
38	*	*	R単結1	R単結1		*	*		
39	*	*	単結1、RLR押			*	*		
40	*	*	R単結5、RI、押	R単結1		*	*		

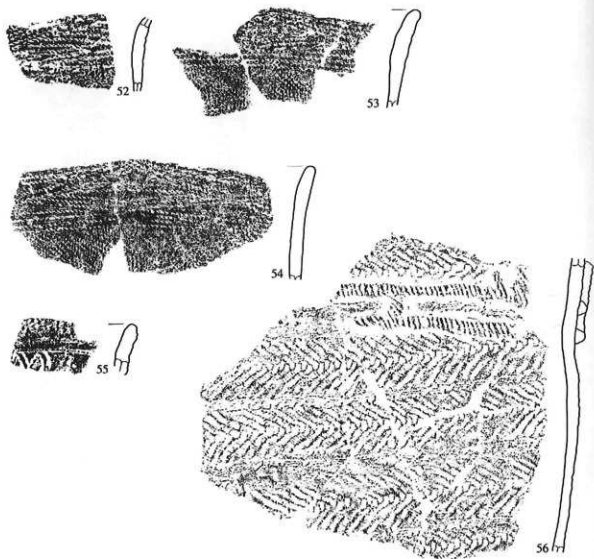
201图 第388号住居跡出土遺物 (6)



0 10cm

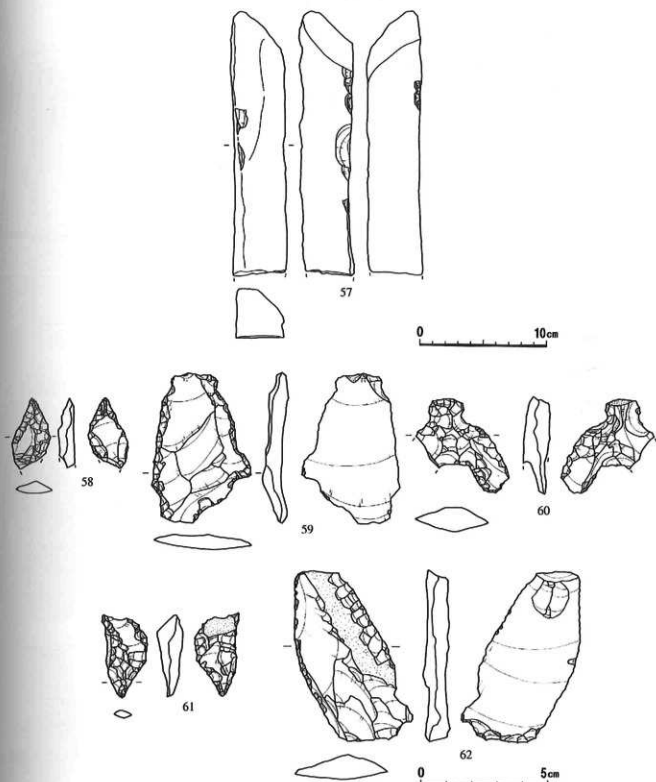
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
41	388住	地積上	R単拵5、RLR押	既除帯、R単拵1		ミガキ		II-3	
42	*	*	*	既除帯		*	*		
43	*	*	R単拵6	*		*	*		
44	*	*	*、RLR7押	低縁帯状、RLR7		*	*		
45	*	*	*、RLR押			*	*		
46	*	*	R単拵6A			*	*		
47	*	*	*、LR押	R単拵1		*	*		
48	*	*	*、RLR押			*	*		
49	*	*	単拵6A、縄押			*	*		
50	*	*	R単拵6A、RLR押			*	*		
51	*	*	R多線拵			*	*		

202図 第388号住居跡出土遺物 (7)



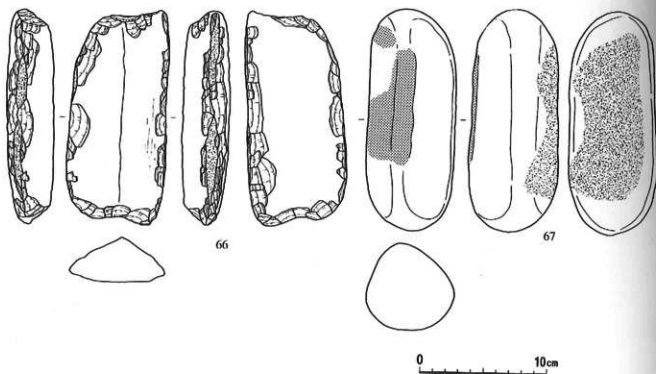
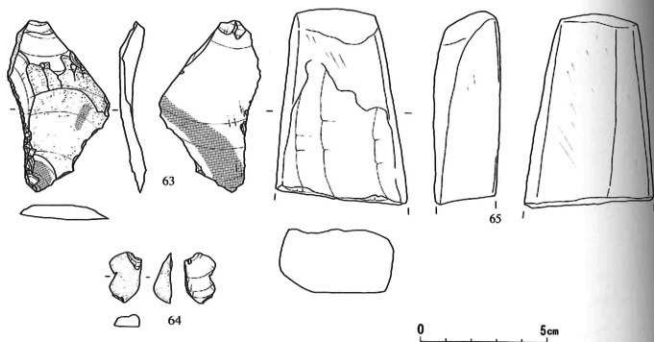
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
52	388住	堆積土	L押			三方平		Ⅱ-5-1	
53	*	*	*	RLR?		*		*	
54	*	*	*	RLR		*		*	
55	*	*	*			*		Ⅲ-1	
56	*	*	*	莖葉文-後, 鳥付瓦形		*		Ⅳ-4	

203図 第388号住居跡出土遺物 (8)



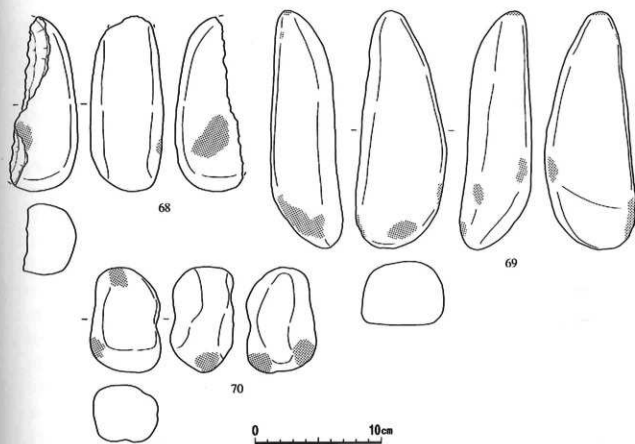
图版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
57	388住	7	(208)	44	42	(495.4)	流	Ub	S-7	42611
58	*	壇上	(28)	15	(6)	(2.0)	正頁	A		52129
59	*	*	60	39	9	12.8	*	Cu		52127
60	*	*	(37)	(37)	11	(7.8)	*	R		52125
61	*	*	33	18	10	3.9	*	Db		52128
62	*	*	68	47	11	24.3	*	Cu		52130

204图 第388号住居跡出土遺物 (9)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
63	388住	堆積土	68	40	10	15.4	珪質	Ga		52126
64	*	*	20	12	7	1.5	黒	Pc	S-11	40204
65	*	*	(77)	(52)	(26)	(190.0)	緑輝	Ha		40159
66	*	*	170	81	38	641.5	安	J		40264
67	*	*	174	71	71	1207.4	流	lc		42608

205図 第388号住居跡出土遺物 (10)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
68	388住	埋積土	(138)	(53)	57	(468.9)	流	fb			42605
69	○	○	189	72	57	854.9	安	○			42607
70	○	○	83	54	50	314.8	チャート	○			42606

206図 第388号住居跡出土遺物 (11)

第389号住居跡 (207図)

〔位置と確認〕 VIH-89に位置し、第290号住居跡精査終了後に壁溝と柱穴の一部を確認した。

〔重複〕 第290・357・391号住居跡と重複し、本住居跡が最も古い

〔平面形・規模〕 壁溝と柱穴しか残存しないため、全体の平面形は不明である。残存部分は東西に長軸があり、規模は長軸3m35cm、短軸2m70cmである。

〔壁・床面〕 残存しない。

〔壁溝〕 北側を除き検出された。幅10~25cm、深さ5~15cmである。

〔柱穴〕 主柱穴はP<sub>1</sub>~P<sub>4</sub>の4本である。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…25cm、P<sub>2</sub>…10cm、P<sub>3</sub>…20cm、P<sub>4</sub>…37cmである。

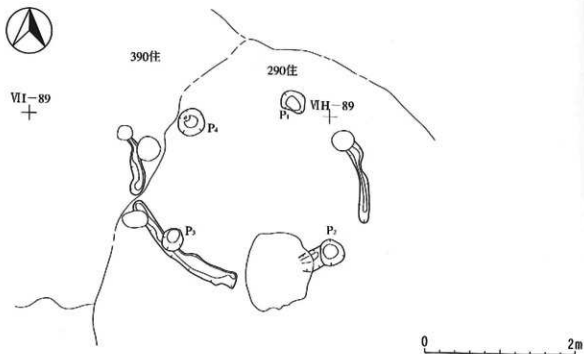
〔竈〕 残存しない。

〔堆積土〕 なし。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 重複関係から縄文時代前期と考えられる。

(岡田 康博)



207図 第389号住居跡



第390号住居跡 (208図～211図)

〔位置と確認〕 VIH・I-88・89に位置し、第290号住居跡精査中に暗褐色上の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第290・357・391号住居跡と重複し、第391号住居跡より新しく、第290・357号住居跡より古い。

〔平面形・規模〕 重複のため東側が残存しないもの、北西-南東に長軸のある楕円形と考えられる。残存部分の規模は長径4m70cm、短径4m55cmである。

〔壁・床面〕 各壁ともに緩やかに湾曲しながら立ち上がる。壁高は西壁23cm、南壁10cm、北壁8cmである。床面はほぼ平坦であり、全体に堅緻である。

〔柱穴〕 柱穴が確認されたが明確に主柱穴と判断できるものはない。配置や規模からP<sub>1</sub>が炉跡を扶んで向かい合う主柱穴のうちの一つである可能性がある。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…33cmである。他にP<sub>2</sub>・P<sub>11</sub>・P<sub>15</sub>・P<sub>16</sub>が主柱穴の可能性がある。深さはP<sub>2</sub>…50cm・P<sub>11</sub>…51cm・P<sub>15</sub>…59cm・P<sub>16</sub>…27cmである。

〔炉〕 床面のほぼ中央と南壁に寄った場所から地床炉が検出された。中央の炉跡は掘り方を持ち、規模は60cm×50cm、深さ10cmである。南側の地床炉は掘り方がなく、規模は90cm×45cmである。

〔堆積土〕 なし。

〔出土遺物〕 堆積土から第Ⅱ群6類を主体とする土器が出土した。石器は床面直上から扶入扁平磨製石器など、堆積土から石匙、敲磨器類など、ピット2堆積土から石鏃、敲磨器類などが出土した。なお46は石棒破片の末端に剝離加工が施されたものである。

〔時期〕 炉堆積土出土遺物及び重複関係から縄文時代前期中葉(円筒下層b式期)に近い時期と考えられる。

(岡田 康博)

第391号住居跡 (208図・212図)

〔位置と確認〕 VIH・I-89に位置し、第390号住居跡を精査中に壁の一部を確認した。

〔重複〕 第290・390・464号住居跡と重複し、第464号住居跡より新しく、第290・390号住居跡より古い。

〔平面形・規模〕 一部しか残存しないため、全体の平面形は不明である。残存部分の規模は長軸2m30cm、短軸55cmである。

〔壁・床面〕 南壁しか残存しない。南壁は緩やかに湾曲しながら立ち上がる。壁高は南壁13cmである。床面はほぼ平坦であるが、貼り床は施されておらず軟弱である。

〔柱穴〕 柱穴が確認されたが主柱穴は不明である。ピットの深さはP<sub>1</sub>…34cmである。

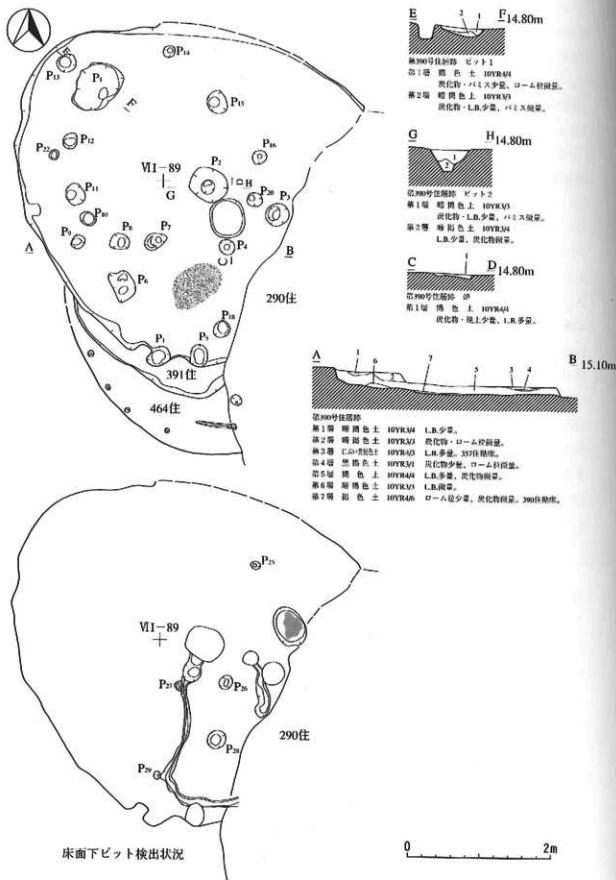
〔炉〕 残存しない。

〔堆積土〕 なし。

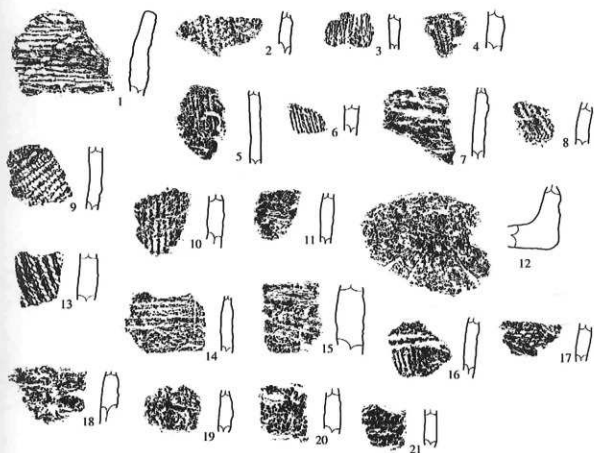
〔出土遺物〕 堆積土から第Ⅱ群6類土器が出土した。

〔時期〕 堆積土出土遺物及び重複関係から縄文時代前期中葉と考えられる。

(岡田 康博)



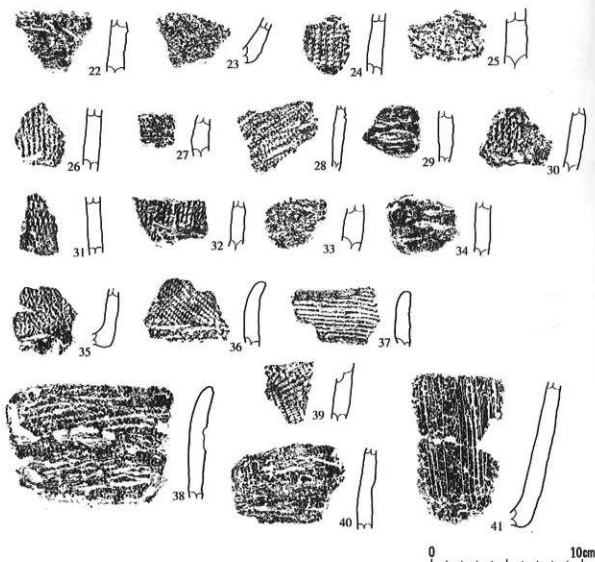
208図 第390・391・464号住居跡



0 10cm

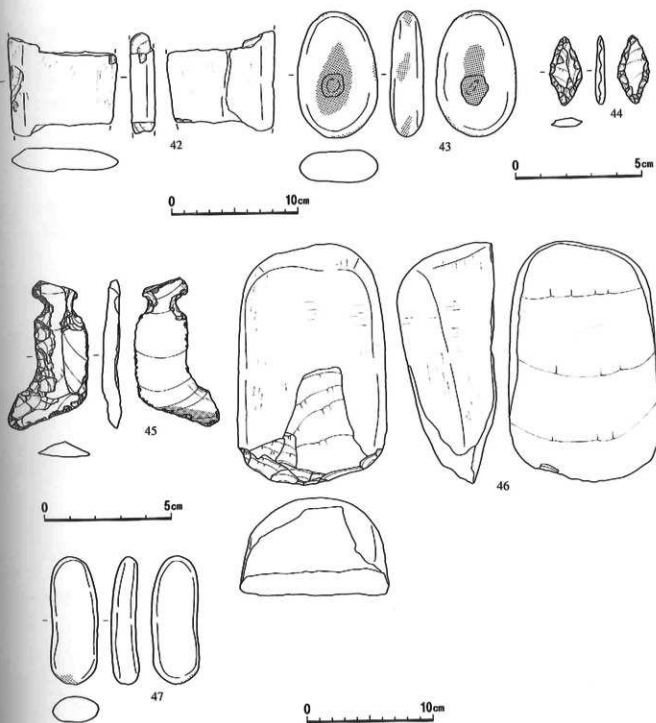
番号	出土地点	出土部位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	390住9a	埴積土	単線1、LR押			ミガキ		II-3	
2	390住登溝	*		L単線1		*		II-6	
3	390住ピット1	*		*		*		*	
4	*	*		LR?		*		*	
5	390住ピット2	*		不明		*		*	
6	*	*		R単線1?		*		*	
7	390住ピット5	*	R?押			*		*	
8	*	*	RL? R押			*		*	
9	*	*		LR		*		*	
10	390住ピット6	*		RLR		*		*	
11	*	*		不明		*		*	
12	*	*			不明	*	縄文?	*	
13	390住ピット7	*		R単線1		*		*	
14	390住ピット9	*	縄文押?	RL7		*		II-5-1?	
15	*	*		不明		*		II-6	
16	390住ピット11	*	R押?	単線1?		*		*	
17	*	*		RL7		*		*	
18	*	*		不明		*		*	
19	*	*		*		*		*	
20	*	*		*		*		*	
21	*	*		*		*		*	

209図 第390号住居跡出土遺物 (1)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
22	390住ビットB	地味上		不明		ミ方弁	II-6		
23	*	*			不明	*	*		
24	390住ビットH	*		RLR		*	*		
25	390住ビットG	*		縄文		*	*		
26	*	*		LR単線1		ミ方弁	*		
27	390住ビットK	*	単線1			*	*		
28	390住ビットF	*		LR?		*	*		
29	*	*		不明		*	*		
30	390住ビットD	*		R単線1		*	*		
31	*	*		L単線1		*	*		
32	390住ビットE	*		*		*	*		
33	390住ビットA	*		不明		*	*		
34	*	*		*		*	*		
35	*	*			単線1?	ミ方弁	*		
36	390住	*	RL, LR・RL押			*	II-3		
37	*	*	R単線1			*	*		
38	*	*	L押			*	II-4?		
39	*	*		結室第一様 (LR, RL)		*	II-6		
40	*	*		不明		*	*		
41	*	*			余灰	*	*		

210図 第390号住居跡出土遺物 (2)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
42	390住	床敷	(78)	(86)	(19)	(174.8)	安	K		42613
43	390住E' +12	堆積土	99	63	26	228.6	*	Is		42508
44	*	*	27	13	5	1.2	珪石	Ab		53006
45	390住	*	59	33	8	9.1	*	Cc		51897
46	*	*	191	118	77	2192.8	流	Q	石飾破片再加工	42615
47	*	*	101	38	21	116.0	凝	Ib		42612

211図 第390号住居跡出土遺物 (3)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	391住	準灰土		不明				Ⅱ-6	
2	*	*		*				*	
3	*	*		*				*	

212図 第391号住居跡出土遺物

第392号住居跡 (184図・213図)

〔位置と確認〕 VI F・G-90に位置し、第385号住居跡精査中に床面の一部を確認した。

〔重複〕 第328・385・393・394・396号住居跡と重複し、第394号住居跡より新しく、第328・385・393・394・396号住居跡より古い。

〔平面形・規模〕 壁と柱穴しか残存していないため、全体の平面形は不明である。残存部分の規模は東西1m70cm、南北1m30cmである。

〔壁・床面〕 南壁しか残存しない。南壁は外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は3cmである。床面はほぼ平坦であるが、貼り床は施されておらず、軟弱である。

〔柱穴〕 柱穴が確認されたが明確に主柱穴と判断できるものはない。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…47cm、P<sub>2</sub>…27cm、P<sub>3</sub>…39cm、P<sub>4</sub>…30cmである。

〔炉〕 残存しない。

〔堆積土〕 なし。

〔出土遺物〕 堆積土から第Ⅱ群5類を主体とする土器が出土した。

〔時期〕 堆積土出土遺物及び重複関係から縄文時代前期末葉（円筒下層d<sub>1</sub>式期）に近い時期と考えられる。

（岡田 康博）

第393号住居跡 (184図・214図～216図)

〔位置と確認〕 VI F-90に位置し、第392・359号住居跡精査中に壁の一部を確認した。

〔重複〕 第359・392・394・395・396号住居跡と重複し、第392・394号住居跡より新しく、第359・395・396号住居跡より古い。

〔平面形・規模〕 南壁しか残存していないため、全体の平面形は不明である。残存部分の規模は東西3m40cm、南北2m70cmである。

〔壁・床面〕 南壁しか残存しない。南壁は外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は25cmである。床面はほぼ平坦であるが、貼り床は施されておらず、軟弱である。

〔柱穴〕 柱穴が確認されたが明確に主柱穴と判断できるものはない。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…11cm、P<sub>2</sub>…22cmである。壁際のピットは壁柱穴の可能性はある。

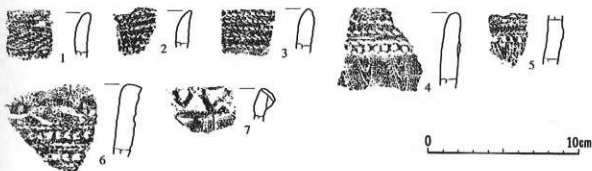
〔炉〕 残存しない。

〔堆積土〕 3層に分層した。人為堆積と考えられる。暗褐色土を基調とし、層全体にロームブロックを含む。

〔出土遺物〕 堆積土から第Ⅱ群 2～5群を主体とする土器、円盤状土製品、スクレイパー類、敲磨器類、石刀などが出土した。

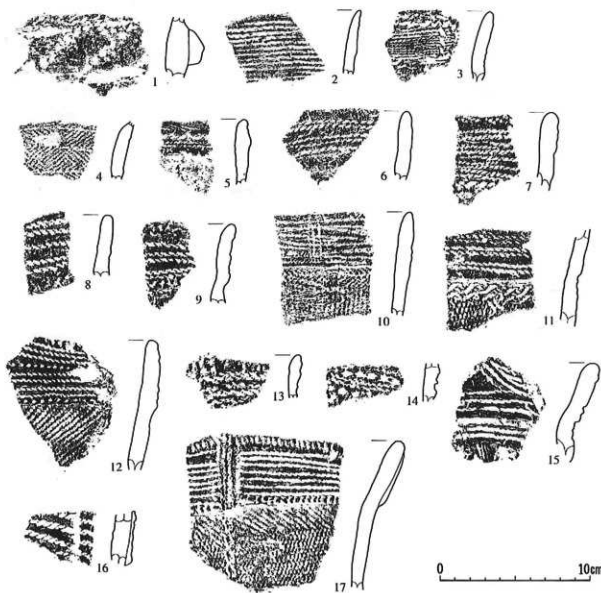
〔時期〕 堆積土出土遺物及び重複関係から縄文時代前期末葉に近い時期と考えられる。

(岡田 康博)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面文様	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	392住	堆積土	L.R押			ミ方キ		Ⅱ-5-1	
2	*	*	RL押			○		○	
3	*	*	L.R押			○		○	
4	*	*	L押	渦巻文(刺突)、半輪IA		○		○	
5	*	*	L.R・RL押、刺突	R半輪IA		○		○	
6	*	*	L押、刺突			○		Ⅱ-5-2	
7	*	*	貼付			○		Ⅲ-4	

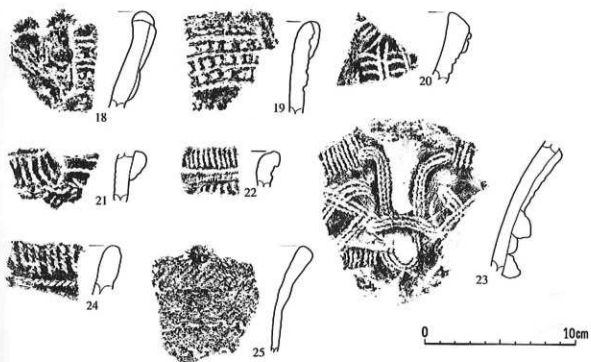
213図 第392号住居跡出土遺物



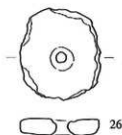
番号	出土地点	出土部位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	393住	埋積土	逸帯 (LR押)			ミガキ	II-2		
2	*	*	平縁1			*	II-3		
3	*	*	R単筋1			*	*		
4	*	*	逸帯筋一様、華島1押			*	II-4・5		
5	*	*	LR押			*	II-5-1	表面大部分剥落	
6	*	*	R押			*	II-5-2		
7	*	*	*、RI押			*	*		
8	*	*	LR押			*	*		
9	*	*	*、刺突			*	*		
10	*	*	R押	結束筋一様		*	*		
11	*	*	LR押	R結筋、LR7		*	*		
12	*	*	*、刺突	LR		*	*	口唇上面刻み	
13	*	*	*、小突起状			*	*	* LR押	
14	*	*	*、刺突			*	*		
15	*	*	LR押	R単筋1A		*	*	胴部くびれ	
16	*	*	筋付 (RI押)、RI押			*	*		
17	*	*	* (LR押)、LR押	結束筋一様、LR7結筋		*	*	口唇上面刻み	

214図 第393号住居跡出土遺物 (1)



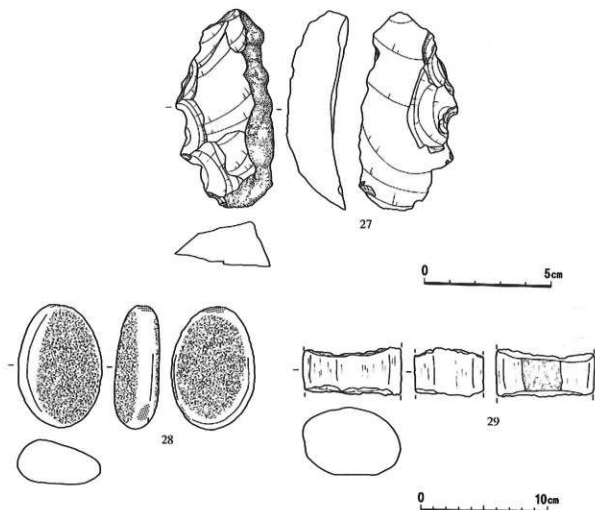


番号	出土地点	出土層位	外面文様		内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部下半				
18	393住	遺構上	縞付 (LR押, LR押, 杖)		ミ方キ		Ⅱ-5-2	
19	*	*	* (*), *, *		*		*	
20	*	*	* (*), LR押		*		*	
21	*	*	* (*), *	R結回	*		*	
22	*	*	L押、草摺1押、刺突		*		Ⅱ-1	
23	*	*	船付 (LR押), LR押		*		*	
24	*	*	RI押		*		*	
25	*	*	小突筋, LR、結回		*		Ⅲ-1-3	



番号	出土地点	出土層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	種類	整理番号
26	393	遺構土	50	44	9	21	円盤状土製品	1231

215図 第393号住居跡出土遺物 (2)



216図 第393号住居跡出土遺物(3)

第394号住居跡 (184図・217図～219図)

〔位置と確認〕 W F・G-88・89に位置し、第393号住居跡精査中に床面の一部を確認した。

〔重複〕 第392・393・395・451号住居跡と重複し、第451号住居跡より新しく、第392・393・395号住居跡より古い。

〔平面形・規模〕 壁と柱穴しか残存していないため、全体の平面形は不明である。残存部分の規模は東西3 m35cm、南北1 m20cmである。

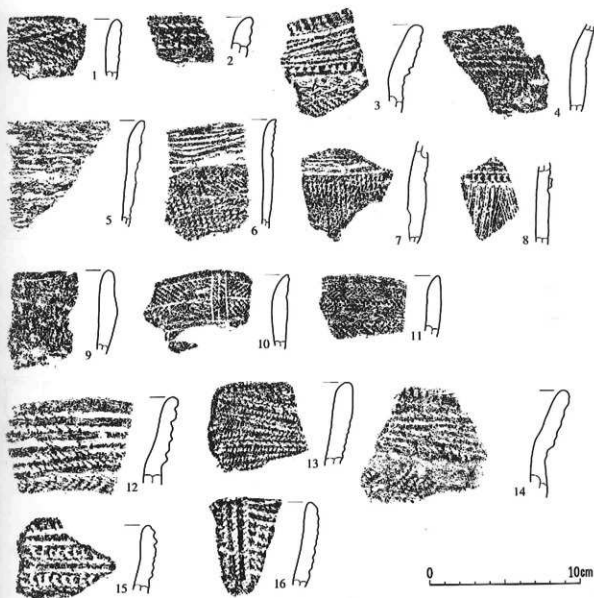
〔壁・床面〕 南壁しか残存しない。南壁は外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は15cmである。床面はほぼ平坦であるが、貼り床は施されておらず、全体に軟弱である。

〔柱穴〕 明確に主柱穴と判断できるものはないもののP<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>・P<sub>3</sub>が可能性がある。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…11cm、P<sub>2</sub>…6cm、P<sub>3</sub>…17cmである。

〔炉〕 残存しない。

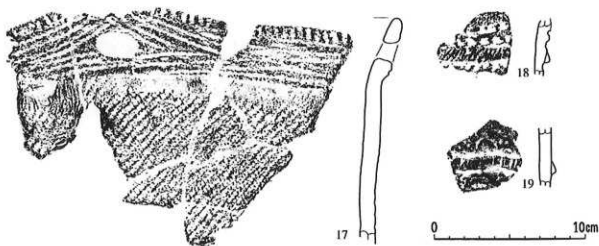
〔堆積土〕 6層に分層した。人為堆積と考えられる。暗褐色土を基調とし、層全体にロームブロッ

図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
27	393住	堆積上	79	39	24	63.6	珪質	Ga			40219
28	*	*	97	65	35	257.6	安	Ic			42617
29	*	*	(38)	(78)	(54)	(244.6)	*	Mb			42618

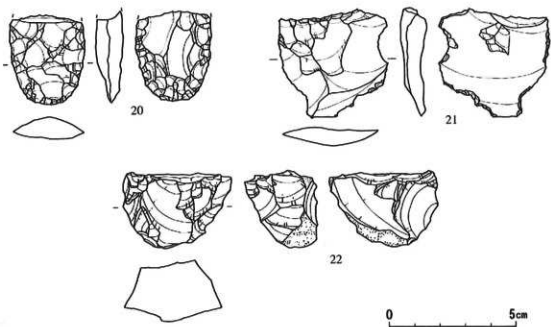


番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	394住	堆積上	LR押			〈方斗〉		Ⅱ-5-1	
2	*	*	*			*	*	*	
3	*	*	*、刺突	結圓		*	*	*	
4	*	*	LR押	不明		*	*	*	
5	*	*	單線1押			*	*	*	
6	*	*	*	結束第一種、RLR		*	*	*	
7	*	*	*、R押	L單線1		*	*	*	
8	*	*	LR押、刺突	須磨(須磨、L・R・R)A		*	*	*	
9	*	*	刺突?	不明		*	*	*	磨耗
10	*	*	結束第一種、單線1押			*	*	*	
11	*	*	結束第一種			*	*	*	
12	*	*	LR押			*	*	*	Ⅱ-5-2
13	*	*	LR・R・R單線1押			*	*	*	
14	*	*	LR押	LR		*	*	*	
15	*	*	*、刺突			*	*	*	
16	*	*	LR押			*	*	*	

217图 第394号住居跡出土遺物(1)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口部部	胴部上半	胴部下半				
17	394住	堆積土	LR押	LR		ミガキ	Ⅱ-5-2		
18	○	○		貼付 (LR押)、刺突		○	Ⅱ-3		
19	○	○		貼付 (編み)		○	Ⅱ-4		



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
20	394住	堆積土	(35)	29	(11)	(11.5)	珪質	Ga	石製破片? 石製破片?	52132
21	○	○	43	43	10	12.6	○	Gb		52131
22	○	○	30	43	29	35.1	○	Pa		41797

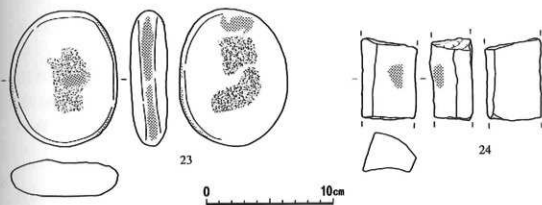
218図 第394号住居跡出土遺物 (2)

クを含む。

〔出土遺物〕 堆積土からスクレイパー類、R.フレイク、石核、敲磨器類、角柱状の礫石器などが出土した。

〔時期〕 堆積土出土遺物、重複関係から縄文時代前期末葉に近い時期と考えられる。

(岡田 康博)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
23	394住	堆積土	107	84	30	369.3	安	lb		42620
24	○	○	(65)	(44)	(34)	(121.0)	流	lb		42509

219図 第394号住居跡出土遺物 (3)

第395号住居跡 (220図)

〔位置と確認〕 VIF-90に位置し、先行トレンチを入れたところ壁と床面の一部を確認した。

〔重複〕 第393・394・451号住居跡と重複し、これらの中で最も新しい。

〔平面形・規模〕 東側部分については精査を行っていないため、全体の平面形は不明である。残存部分の規模は東西1 m20cm、南北3 m95cmである。

〔壁・床面〕 西壁のみを確認した。西壁は緩やかに湾曲しながら立ち上がる。壁高は38cmである。床面はほぼ平坦で、全面貼り床が施され堅緻である。

〔柱穴〕 検出されなかった。

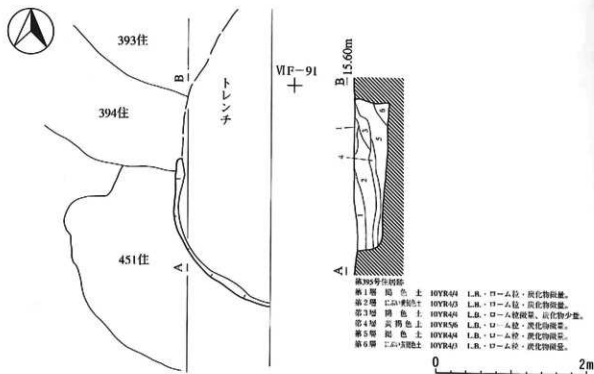
〔炉〕 残存しない。

〔堆積土〕 6層に分層した。人為堆積と考えられる。暗褐色土を基調とし、層全体にロームブロックを含む。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代前期と考えられる。

(岡田 康博)



220図 第395号住居跡

第396号住居跡 (184図)

〔位置と確認〕 VI F・G-90に位置し、第393号住居跡を精査中に壁溝の一部を確認した。

〔重複〕 第359・385・392・393号住居跡と重複し、第392・393号住居跡より新しく、第359・385号住居跡より古い。

〔平面形・規模〕 壁溝と柱穴しか残存していないため、全体の平面形は不明である。残存部分の規模は東西1 m80cm、南北70cmである。

〔壁・床面〕 壁は残存しない。床面はほぼ平坦で、貼り床が施されおり、堅緻である。

〔壁溝〕 南側の一部が残存していた。規模は幅5 cm～15cm、深さ2 cm～8 cmである。

〔柱穴〕 柱穴が2個確認されたが明確に主柱穴と判断できるものはない。ピットの深さはP<sub>1</sub>…18cm、P<sub>2</sub>…42cmである。

〔炉〕 残存しない。

〔堆積土〕 なし。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代中期と考えられる。

(岡田 康博)

第397号住居跡 (221図)

〔位置と確認〕 VI E-85・86に位置し、第IV層上面で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は、南北に長軸のある楕円形である。規模は長径2 m65cm、短径1 m92cmである。床面積は9.01㎡である。

〔壁・床面〕 各壁ともに緩やかに湾曲しながら立ち上がる。壁高は東壁12cm、西壁19cm、南壁19cm、北壁4 cmである。床面はほぼ平坦であり、堅緻である。

〔柱穴〕 南側の壁際から柱穴が検出された。ピットの深さは、P<sub>1</sub>…5 cm、P<sub>2</sub>…8 cm、P<sub>3</sub>…4 cm、P<sub>4</sub>…5 cm、P<sub>5</sub>…7 cmである。

〔炉〕 検出されなかった。

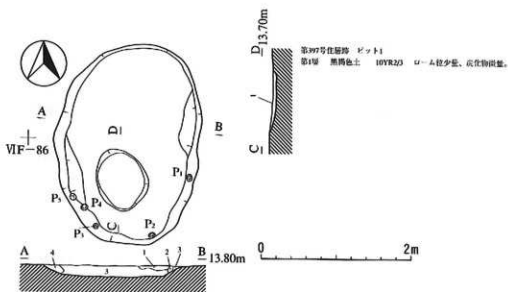
〔その他の施設〕 床面南寄りからピットが検出された。規模は80cm×70cm、深さ10cmである。堆積土に炭化物を少量含む。

〔堆積土〕 4層に分層した。自然堆積と考えられる。黒褐色土を基調とし、層全体にロームブロック・炭化物を微量に含む。

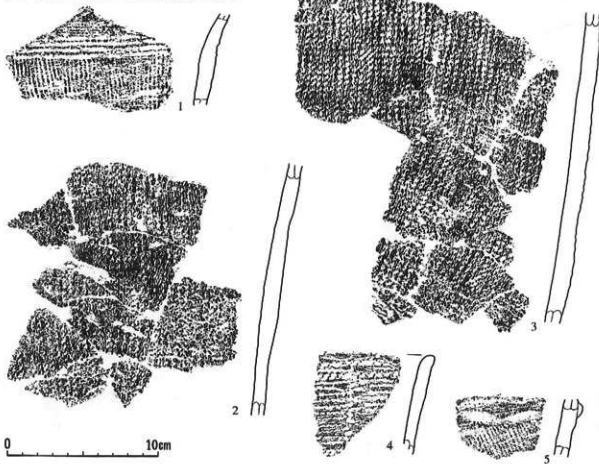
〔出土遺物〕 第3層から第II群3類土器が出土した。

〔時期〕 第3層出土遺物及び確認層位から縄文時代前期中葉(円筒下層b式期)に近い時期と考えられる。

(岡田 康博)



- 第397号住居跡
- 第1層 暗褐色土 IOYR2/3 ローム粒中量、炭化物・パリス混入。
  - 第2層 暗褐色土 IOYR3/4 ローム粒中量、炭化物・パリス混入。
  - 第3層 暗褐色土 IOYR2/3 炭化物・ローム粒・パリス少量。
  - 第4層 暗褐色土 IOYR3/3 ローム粒中量、炭化物・パリス少量。



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	397住	3	単縁1、R押	単縁1		ミガキ	II-3		
2	○	○		R?単縁1		○	II-6		
3	○	○		LR単縁1		○			
4	○	池縁上	R単縁6A			○	II-3		
5	○	○	低縁帯 (R押)	R単縁1		○			

221図 第397号住居跡・出土遺物



第398号住居跡 (222図)

〔位置と確認〕 VI E・F-86・87に位置し、第388号住居跡を精査中に壁と床面の一部を確認した。

〔重複〕 第314・388号住居跡と重複し、本住居跡が最も古い。

〔平面形・規模〕 平面形は東西に長軸のある楕円形である。重複のため西壁は残存しない。残存部分の規模は長軸4 m20cm、短軸3 m75cmである。

〔壁・床面〕 各壁ともに緩やかに湾曲しながら立ち上がる。壁高は東壁11cm、南壁25cm、北壁10cmである。床面はほぼ平坦であるが、貼り床は施されていないものの堅緻である。

〔柱穴〕 柱穴は確認されたものの明確に主柱穴と断定できるものはない。しかし、炉の周囲を取り囲むように並ぶ比較的径の大きな柱穴はその可能性がある。直径は8 cm～15cm、深さ8 cm～11cmである。また壁際に壁柱穴が配置される。直径3 cm～10cm、深さは4 cm～8 cmである。

〔炉〕 床面のほぼ中央から掘り方を持つ地床炉を検出した。掘り方は直径約75cm、深さ3 cmである。堆積土には微細な炭化物、焼土を少量含んでいる。明確な火焼面は検出されなかった。

〔その他の施設〕 東壁外側に接するようにピットが検出された。本住居跡に伴うものか不明である。規模は南北1 m50cm、東西65cm、深さ25cmである。

〔堆積土〕 3層に分層した。人為堆積と考えられる。暗褐色土を基調とし、層全体にロームブロックを含む。

〔出土遺物〕 堆積土からスクレイパー類などが出土した。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代前期と考えられる。

(岡田 康博)

第399号住居跡 (223図)

〔位置と確認〕 VI F-88・89に位置し、第Ⅲ層精査中に土器埋設炉を確認した。

〔平面形・規模〕 炉しか残存しないため、全体の形状は不明である。

〔壁・床面〕 壁・床面ともに残存しない。

〔柱穴〕 検出されなかった。

〔炉〕 土器埋設炉が検出された。二重になっており、両者ともに下半部を使用している。別個体である。掘り方の規模は直径40cm、深さ30cmである。堆積土には炭化物、焼土を含んでいる。

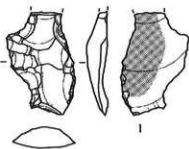
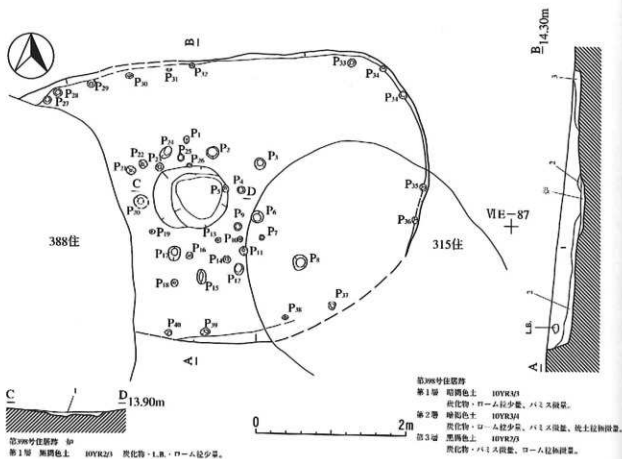
〔その他の施設〕 検出されなかった。

〔堆積土〕 なし。

〔出土遺物〕 埋設炉の土器は第Ⅲ群1・6類である。

〔時期〕 炉に使用された土器から縄文時代中期初頭(円筒上層 a 式期)と考えられる。

(岡田 康博)

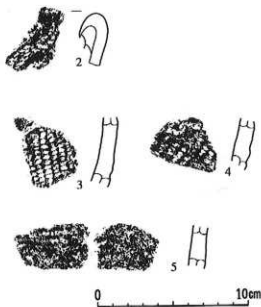
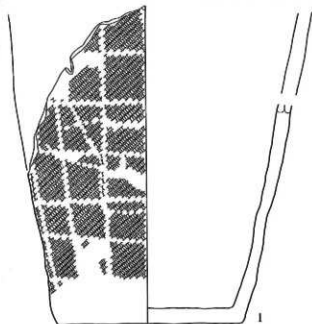


図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
1	398住	地層上	(41)	(27)	(8)	(6.5)	珉頁	Ga	石匙?		52133

222图 第398号住居跡・出土遺物



第399号住居跡 跡  
 第1層 暗褐色土 HVFR44 L.R.・パリス少量、炭化物微量。  
 第2層 暗褐色土 HVFR43 灰土質・ローム殻・L.R.少量、パリス微量。  
 第3層 黄褐色土 HVFR56 ローム殻・パリス少量。  
 第4層 褐色土 HVFR46 L.R.・パリス少量。



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	399住	埋設炉			LR	ミガキ	無文	Ⅲ-6	
2	○	○	貼付 (LR押)			○		Ⅲ-1	
3	○	○		RL		○		Ⅲ-6	
4	○	○		LR、結圓		○		○	
5	○	○		不明		○		○	

223図 第399号住居跡・出土遺物

第400号住居跡 (224図～231図)

〔位置と確認〕 VI F・H-90・91に位置し、第328号住居跡を精査中に床面の一部を確認した。

〔重複〕 第328・356・385・393・394・369号住居跡と重複し、本住居跡が最も古い。

〔平面形・規模〕 重複のため東壁が残存しないが平面形は南北に長軸のある楕円形と考えられる。東側が張り出し、一段高くテラス状となっている。規模は長軸 6 m 46cm、短軸 5 m 39cmである。

〔壁・床面〕 各壁ともに外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は西壁30cm、南壁46cm、北壁 8 cmである。床面はほぼ平坦であるが、貼り床は施されていない。東側の一段高くなっている箇所は、拡張した可能性が高いものと考えられる。

〔柱穴〕 主柱穴はP<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>・P<sub>3</sub>で、拡張前はP<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>が、拡張後はP<sub>1</sub>・P<sub>3</sub>が主柱穴と考えられる。

ピットの深さは、P<sub>1</sub>…36cm、P<sub>2</sub>…53cm、P<sub>3</sub>…46cmである。南側の壁際には壁柱穴が検出された。直径15cm～28cm、深さ8cm～27cmである。

〔炉〕 床面中央から南方向に若干寄って地床炉跡と考えられる円形の小ピットを検出した。掘り方の規模は30cm×40cm、深さ22cmである。堆積土には微細な炭化物、焼土を少量含んでいる。明確な火焼面は検出されなかった。

〔堆積土〕 5層に分層した。人為堆積と考えられる。褐色土を基調とし、層全体にロームブロックを含む。

〔出土遺物〕 堆積土から第Ⅱ群3～5、第Ⅲ群1～3類土器が出土した。石器は床面直上から先端部に丸い突起とひもかけ様の溝をもつ磨製石器が出土している。また、第4層から角柱状の礫石器などが、その他堆積土から石匙、スクレイパー類、磨製石斧、敲磨器類などが、ピット9堆積土から敲磨器類などが出土した。61は磨製石斧の刃部付近の欠損品に若干の剥離と研磨を施している。石製品素材への転用を図ろうとした可能性がある。

〔時期〕 ピット出土遺物及び重複関係から縄文時代前期中葉（円筒下層b式期）と考えられる。

（岡田 康博）

#### 第401号住居跡（232図）

〔位置と確認〕 VO・P-121・122に位置する。第V層精査中に半円形に黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第320号住居跡、第121・128号溝と重複し、本住居跡が最も古い。また北側は一部攪乱を受けている。

〔平面形・規模〕 推定径2m80cmほどの不整円形と思われる。

〔壁・床面〕 外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は東壁1cm、西壁13cm、北壁13cmである。床面はほぼ平坦で残存している部分は堅緻である。

〔柱穴〕 検出されなかった。

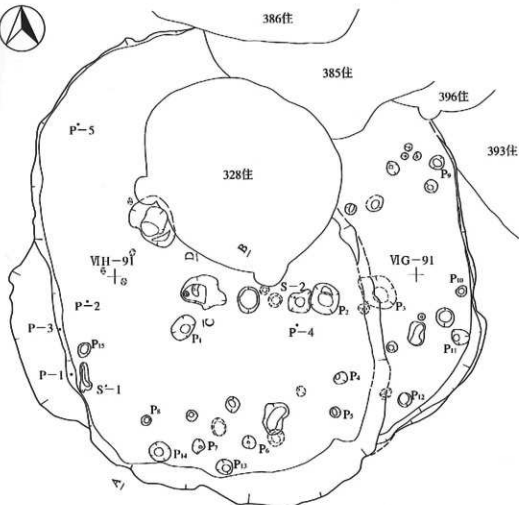
〔炉〕 土器片敷炉を検出した。掘り方規模は34cm×32cm、深さ3cmである。堆積土中には炭化物が含まれる。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とし、層全体にローム粒・炭化物が含まれる。第2層は攪乱である。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 炉の土器は第Ⅲ群5類である。床面から敲磨器類などが出土した。

〔時期〕 床面及び堆積土出土遺物から、縄文時代中期中葉（円筒上層e式期）と思われる。

（小笠原 雅行）



B 15.90m



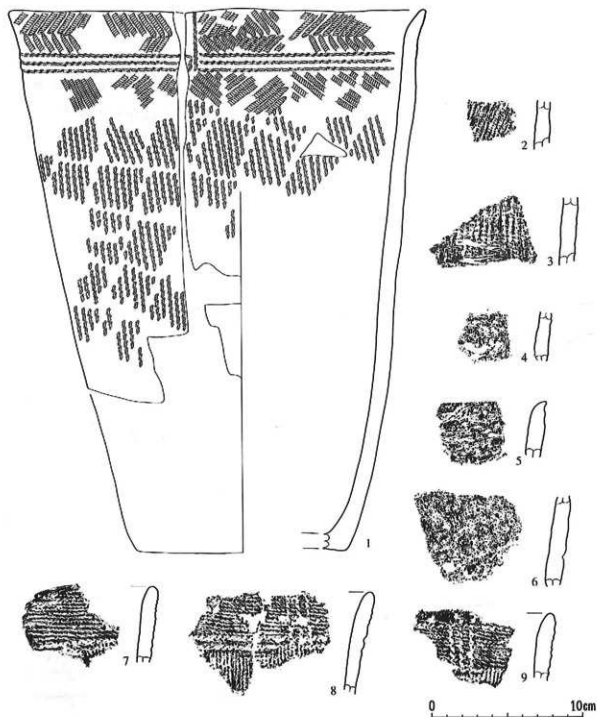
第400号住居跡 剖面  
 第1層 灰褐色土 10YR4/3  
 炭化物・ローム粒・硬土少量、P12土粒量。  
 第2層 暗褐色土 10YR3/3  
 L.B.炭化物少量、P12土粒量。  
 第3層 褐色土 10YR4/4  
 L.B.少量。

第400号住居跡

第1層 褐色土 10YR4/6 U-A粒少量、炭化物・L.B.粒量。  
 第2層 暗褐色土 10YR3/4 U-A粒少量、炭化物・硬土粒量。  
 第3層 灰褐色土 10YR4/5 L.B.少量、炭化物粒量。  
 第4層 褐色土 10YR4/6 U-A粒少量。  
 第5層 褐色土 10YR4/4 D-A粒・L.B.少量、炭化物粒量。

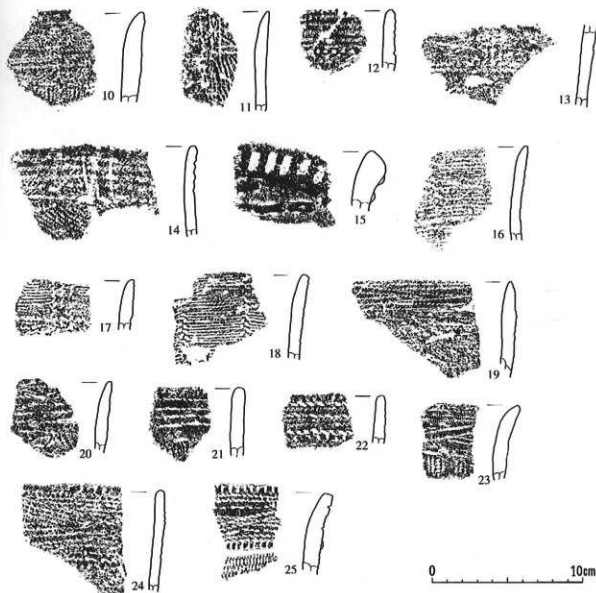
0 2m

224图 第400号住居跡



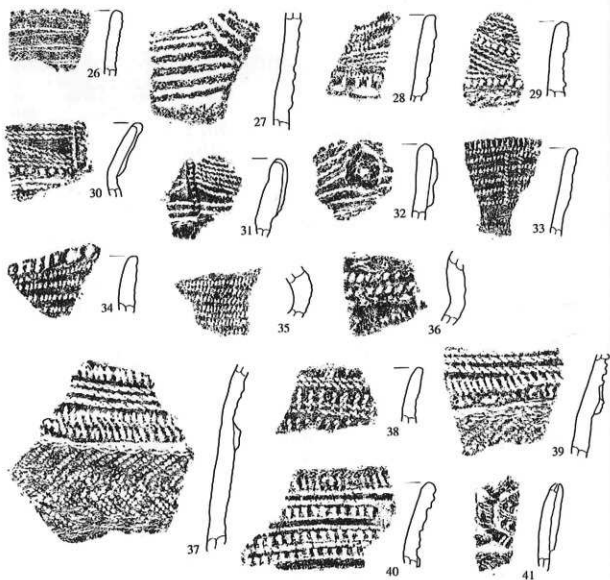
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	400住	4	結東第一様、LR押	RLR	RLR	ミガキ	II-4・5		
2	400ビット2	建積土		不明		*	II-6		
3	400ビット3	*		R単拵1		*	*		
4	400ビット7	*				*			
5	400ビット9	*		不明		*	II-5-17		
6	*	*				*	II-6		
7	400住	4	L単拵1、RL押			*	II-3		
8	*	*	*、*	L単拵1		*	*		
9	*	*	*、*	*		*	*		

225図 第400号住居跡出土遺物 (1)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面凹紋	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
10	400住	4	L押	単筋17		ミ字子	Ⅱ-5-1		
11	*	*	LR押	R単筋1		*	*		
12	*	*	R単筋1押、割突	*		*	*		
13	*	*	L押	不明		*	*		
14	*	*	RL押	RL		*	*		
15	*	*	*、貼付	*		*	Ⅲ-4		
16	*	壇上	R7単筋1			*	Ⅱ-3		
17	*	*	R単筋1、LR押			*	*		
18	*	*	R単筋6A			*	*		
19	*	*	RL押	結束第一筋		*	Ⅱ-5-1		
20	*	*	LR押	RL		*	*		
21	*	*	*			*	*		
22	*	*	*、割突			*	*		
23	*	*	単筋1押	RL		*	*		
24	*	*	LR押			*	Ⅱ-5-2		
25	*	*	*、割突	筋付(割突)、多輪筋?		*	*	口唇上面剥み	

226図 第400号住居跡出土遺物(2)

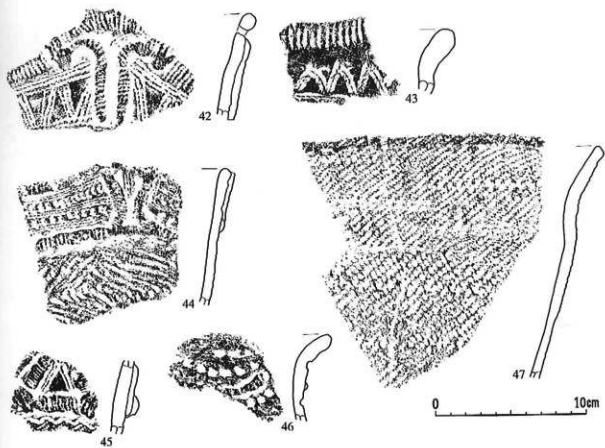


0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
26	400住	堆積土	L押			ミガキ		Ⅱ-5-2	
27	*	*	L.R押			*	*		
28	*	*	L・R・R単線1押			*	*		
29	*	*	RL押、刺突			*	*		
30	*	*	點付 (L.R押)、L.R押			*	*		
31	*	*	* (刺突)、*			*	*		
32	*	*	* (刺突)、*			*	*		
33	*	*	R単線1押			*	*		
34	*	*				*	*		
35	*	*	*			*	*		横状把手
36	*	*				*	*		
37	*	*	點付 (L.R押)、L-R筋	折衷第一種 (L.R、RL)		*	*		Ⅲ-1
38	*	*	L.R押			*	*		
39	*	*	點付 (L.R押)、L-R筋			*	*		
40	*	*	L・RL単線1押			*	*		
41	*	*	點付 (R押)、R押			*	*		

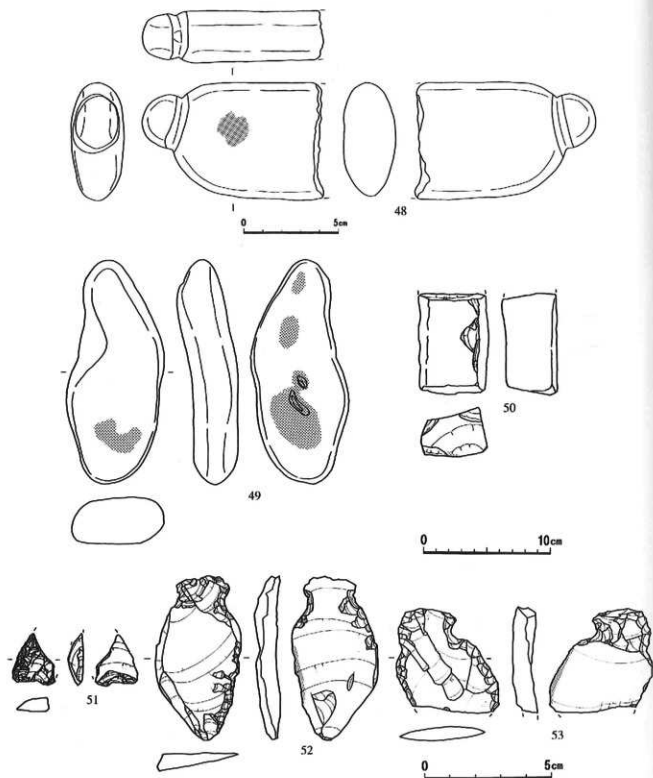
227图 第400号住居跡出土遺物 (3)





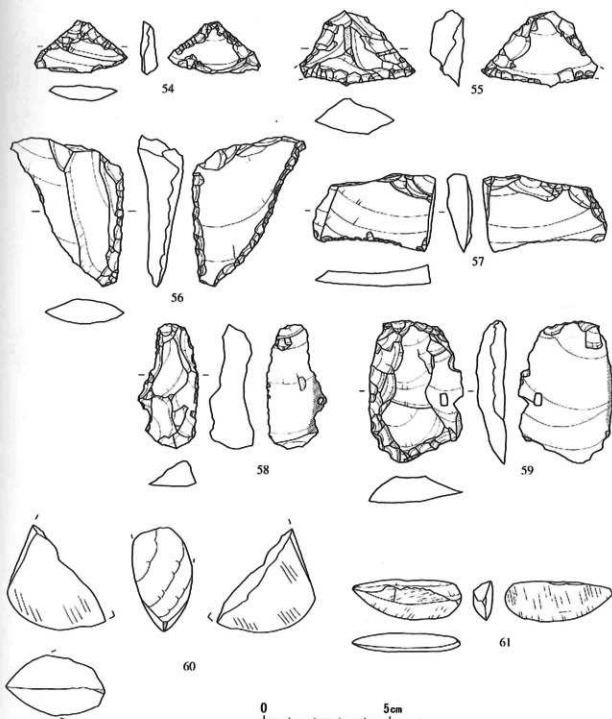
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
42	400住	壇位土	帯付 LR押、L・柄、真珠			三方キ		Ⅲ-1	
43	*	*	LR押			*		*	
44	*	*	帯付 (真押)、LR・RL押	結東第一様 (LR、RL)		*		Ⅲ-2	
45	*	*	* (L押)、L押	結尾、LR		*		Ⅲ-1・2	
46	*	*	* (真押)、刺突			*		Ⅲ-3	
47	*	*	結東第一様			*		Ⅲ-6	

228図 第400号住居跡出土遺物 (4)



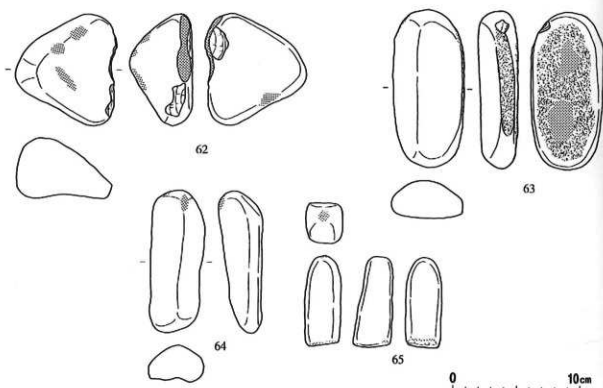
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
48	400住	床直	63	(96)	28	(245.6)	安	Q	S-2		40411
49	400住ピット9	堆積土	178	77	48	626.1	+	lb			46336
50	400住	4	(80)	(55)	(43)	(277.5)	流	Ub	下面に敲打痕、S-1		42655
51	+	堆積土	(20)	(16)	(6)	(1.2)	雑質	Ga	石綿未製品?		41821
52	+	+	65	34	10	17.0	+	Ca			53007
53	+	+	(41)	40	(10)	(13.0)	+	Cc			52138

229図 第400号住居跡出土遺物 (5)



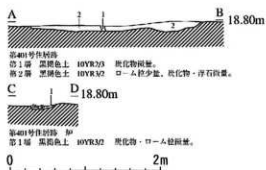
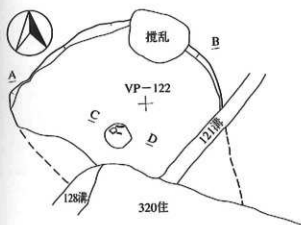
图版序号	出土地点	层位	长 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石质	分期	编	考	整理序号
54	400住	堆積土	20	36	7	3.7	埴頁	Ga			52137
55	*	*	30	(46)	13	(11.0)	*	*			52134
56	*	*	59	45	18	26.8	*	*			52135
57	*	*	31	48	10	13.0	*	*			41814
58	*	*	49	24	18	13.4	*	*			52136
59	*	*	51	37	12	21.2	*	*			53008
60	*	*	(41)	(39)	(24)	(29.7)	安	Ha			42625
61	*	*	43	16	8	13.0	埴頁	Q	磨製石斧欠粗後再加工		52339

230图 第400号住居跡出土遺物 (6)

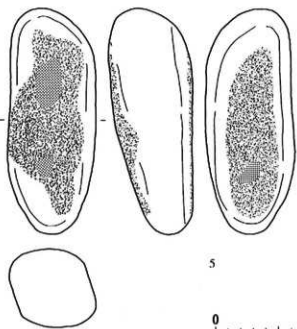


図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
62	400住	埋藏土	88	80	49	326.9	安	lb		42667
63	○	○	124	56	32	346.6	○	lc		42666
64	○	○	112	43	35	170.6	○	lb		42660
65	○	○	72	29	31	84.9	凝	○		42626

231図 第400号住居跡出土遺物 (7)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様		内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半				
1	401住居		刷付、RL、沈線		2方角		Ⅲ-5	
2	+		刷付、+、+		+		+	
3	+		RL		+		+	
4	+	埋積土	無文		無文	無文	Ⅲ-6	浅鉢形



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	推 考	整理番号
5	401住	床面	177	70	67	1234.8	安	1c	S-1	42670

232図 第401号住居跡・出土遺物 (1)

第402号住居跡 (233図)

〔位置と確認〕 VD・E-119・120に位置する。第V層精査中に円形に黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第403・425号住居跡と重複し、第403号住居跡より古く、第425号住居跡より新しい。また、北東部・南東部は擾乱を受けている。

〔平面形・規模〕 東側一部と南側が削平により残存しないため、平面形は不明だが、径約2m90cmの円形と思われる。

〔壁・床面〕 外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は西壁4cm、北壁4cmである。床面はほぼ平坦で残存部分は堅緻である。

〔柱穴〕 床面中央部から5個のピットを確認した。深さはP<sub>1</sub>…14cm、P<sub>2</sub>…19cm、P<sub>3</sub>…49cm、P<sub>4</sub>…11cm、P<sub>5</sub>…21cmである。P<sub>3</sub>からは柱痕跡が確認された。

〔炉〕 検出されなかった。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とし、層全体にローム粒が微量に含まれる。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土から第Ⅱ群2類、第Ⅲ群1・6類が出土した。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代中期前半と思われる。

(小笠原 雅行)

第403号住居跡 (234図)

〔位置と確認〕 VC・D-119・120に位置する。第V層精査中に半円形に黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第402・425号住居跡と重複し、本住居跡が最も新しい。

〔平面形・規模〕 南側が削平により残存しないが、径約2m60cmの円形と思われる。

〔壁・床面〕 外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は東壁6cm、西壁9cm、北壁20cmである。床面はほぼ平坦で堅緻である。炉の南側で貼り床が確認された。

〔柱穴〕 4個のピットを確認した。深さはP<sub>1</sub>…30cm、P<sub>2</sub>…17cm、P<sub>3</sub>…18cm、P<sub>4</sub>…26cmである。

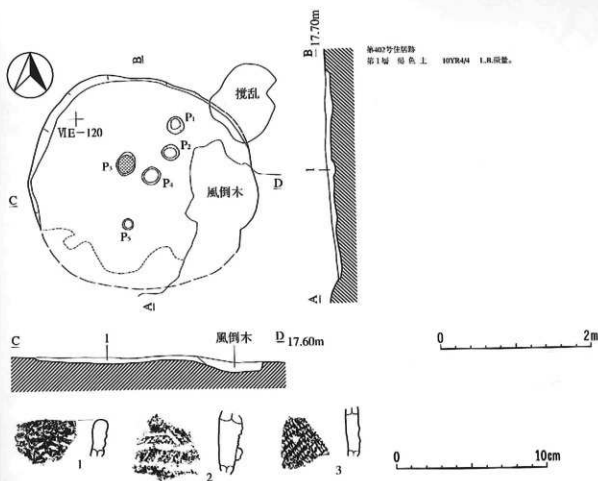
〔炉〕 土器埋設炉を検出した。掘り方の規模は25cm×21cm、深さ21cmである。堆積土中には微量の炭化物が含まれる。また掘り方堆積土中には焼土も含まれる。

〔堆積土〕 2層に分層した。暗褐色土を主体とし、層全体にローム粒・炭化物・焼土が含まれる。人為堆積の可能性が高いと思われる。

〔出土遺物〕 床面から第Ⅲ群6類土器、敲磨器類、堆積土から第Ⅱ群2類、第Ⅲ群1類土器が出土した。埋設炉の上器は図示できなかった。

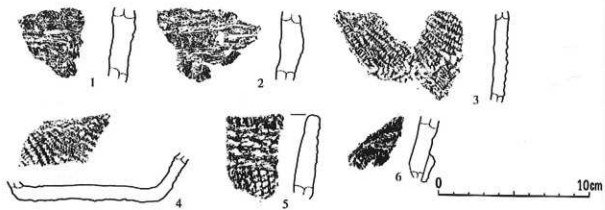
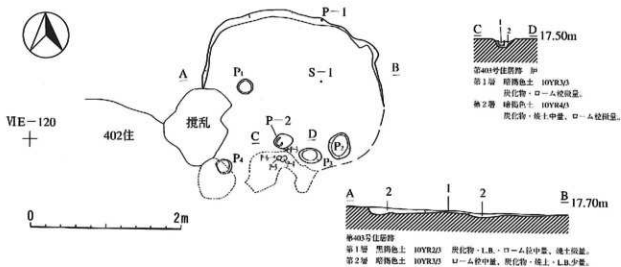
〔時期〕 床面及び堆積土出土遺物から、縄文時代中期前半と思われる。

(小笠原 雅行)

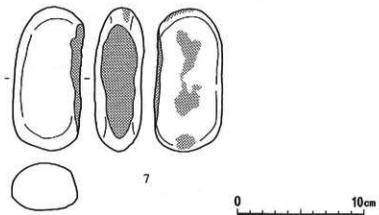


番号	出土地点	出土層位	外 国 文 様			内面割型	底割	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	402住	地表面上	L形回			ミガキ		Ⅱ-2	
2	*	*	葉付(L押), L-R押			*		Ⅱ-1	
3	*	*		I.R		*		Ⅱ-6	

233図 第402号住居跡・出土遺物



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	403住	床面		無文		ナデ		Ⅲ-6	
2	*	*		*		*		*	
3	*	*		星雲第一道(L.R. RL)		ミガキ		*	
4	*	*			RL		無文	*	
5	*	堆積土	R.L.R. R紋回			*		Ⅱ-2	
6	*	*	粘付(縄?押)・L押			*		Ⅲ-1	



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
7	403住	床面	114	53	38	347.2	石質 流	Ⅱs S-1		42674

234図 第403号住居跡・出土遺物



第404号住居跡 (235図～239図)

〔位置と確認〕 VI C・D-123に位置する。第V層精査中に楕円形に黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 長軸 3 m94cm、短軸 3 m18cmの楕円形である。床面積は9.27㎡である。長軸方向は南北である。

〔壁・床面〕 壁は外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は東壁14cm、西壁20cm、南壁 6 cm、北壁 29cmである。床面はほぼ平坦で堅緻である。

〔柱穴〕 精査後床面を何度か削り込み確認に努めたが、検出されなかった。

〔炉〕 床面の中央から地床炉を検出した。掘り方の規模は30cm×28cmで、深さ16cmに掘り込まれる。堆積土中には炭化物が含まれる。

〔堆積土〕 4層に分層した。黒褐色土を主体とし、層全体にローム粒が微量含まれる。自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 床面直上から第Ⅲ群4類、堆積上からも第Ⅲ群4類を主体とする土器が出土した。石器は炉・第2層から敲磨器類などが、堆積土から砥石などが出土した。また、堆積土から石製品が出土した。

〔時期〕 床面直上の出土遺物から、縄文時代中期中葉 (円筒上層d式期)と思われる。

(小笠原 雅行)

第405号住居跡 (240図～242図)

〔位置と確認〕 VI I-136に位置する。第V層精査中に円形に黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 長軸 3 m98cm、短軸 2 m82cmの不整円形である。床面積は5.59㎡である。

〔壁・床面〕 外傾しながら直線的に立ち上がる。壁高は東壁14cm、西壁22cm、南壁27cm、北壁19cmである。床面はほぼ平坦で堅緻である。

〔柱穴〕 6個のピットを確認した。深さはP<sub>1</sub>…19cm、P<sub>2</sub>…16cm、P<sub>3</sub>…20cm、P<sub>4</sub>…25cm、P<sub>5</sub>…19cm、P<sub>6</sub>…10cmである。主柱穴はP<sub>1</sub>～P<sub>3</sub>・P<sub>5</sub>の4本と考えられる。

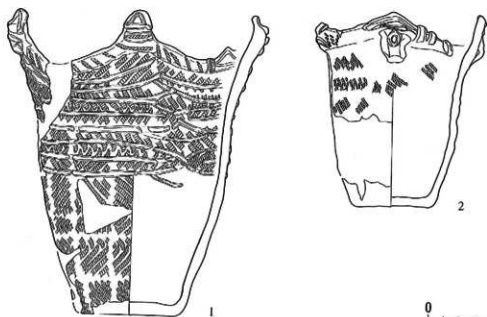
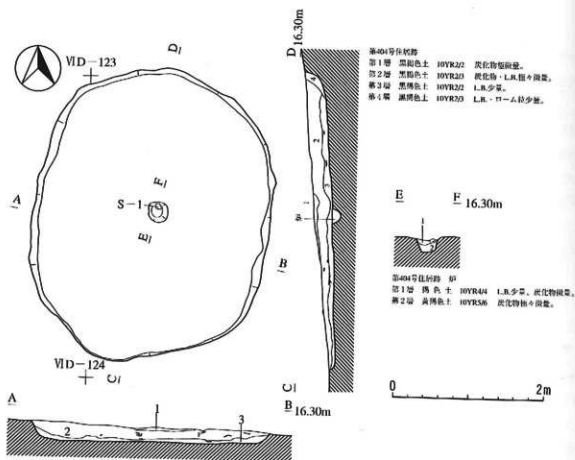
〔炉〕 ほぼ中央から、地床炉を検出した。掘り方の規模は25cm×21cmである。

〔堆積土〕 3層に分層した。黒褐色土を主体とし、第2層にはローム粒・炭化物が中量含まれる。人為堆積の可能性が高い。

〔出土遺物〕 床面直上から第Ⅲ群4類、堆積土から第Ⅲ群4・5類土器が出土した。石器はピット1 堆積土から敲磨器類が出土した。また、堆積土から上側胴部が出土した。

〔時期〕 床面直上及び堆積土出土遺物から、縄文時代中期中葉 (円筒上層d式期)と思われる。

(小笠原 雅行)



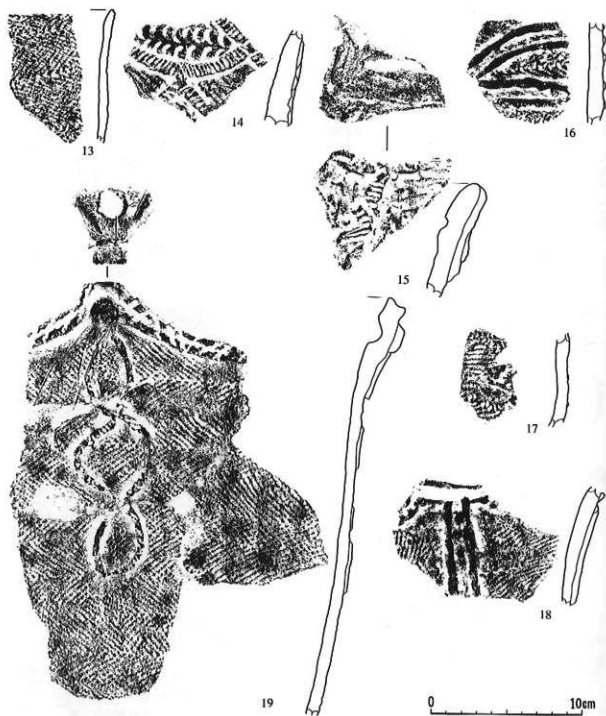
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	404住	床政	斜行(RL)・点線(RL)型	結束第一種、貼付	結束第一種(L.R., RL)	2方平	無文	Ⅲ-4	
2	*	埋藏上	斜行(RL)型	結束第一種(L.R., RL)	* (○)	*	*	Ⅲ-4・5	

235图 第404号住居跡・出土遺物(1)



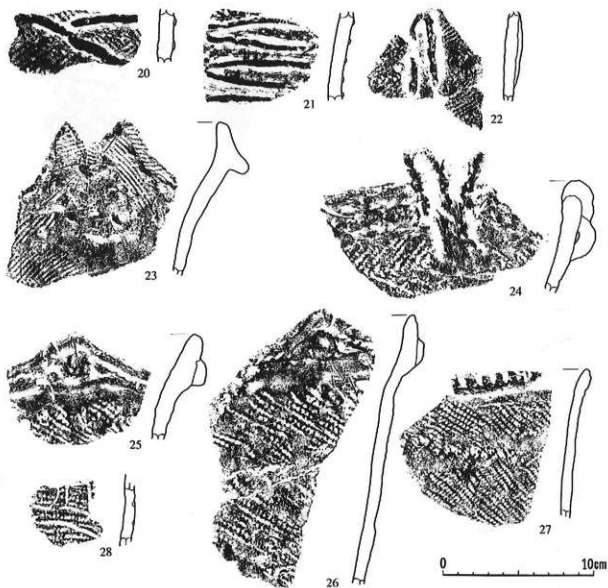
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
3	404住	床面	貼付			ミ方キ		Ⅲ-4	
4	*	*	結束第一條、貼付			*	*		
5	*	*	R押、結束第一條、貼付	結束第一條、貼付		*	*		
6	*	*	貼付			*	*		
7	*	*	R押、RL?、貼付	RL?、貼付		*	*		
8	*	床面	RL押、*、*			*	*		
9	*	*		RL?、貼付		*	*		
10	*	*		貼付(縄押)		*	*		
11	*	*	LR	LR		*	*	Ⅲ-4・5	
12	*	*	貼付、LR押	LR、RL、捺面		*	*		

236图 第404号住居跡出土遺物(2)



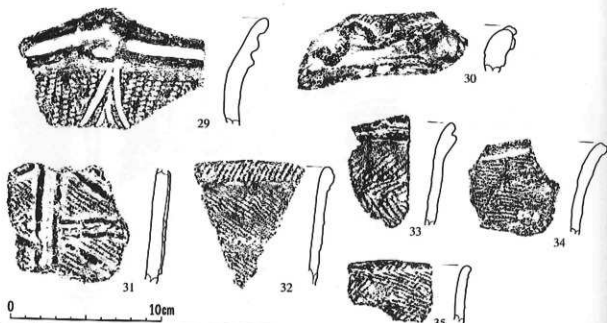
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底階	分類	備考
			口部部	裾部上半	裾部下半				
13	404住	床敷	綾文第一層(L.R, RI)			ミ方本		Ⅲ-6	
14	○	2	貼付(L,押), L,押	RI.7		○		Ⅲ-2	
15	○	○	貼付(L,押), L.R, 貼付			○		Ⅲ-4	
16	○	○	貼付(期木)			○			内面に沈痕
17	○	○		綾文第一層, 貼付		○			
18	○	○		○, ○					
19	○	○	RI, 押, 貼付	○, 貼付(保用)		○			

237图 第404号住居跡出土遺物(3)



器号	出土地点	出土层位	外 面 文 饰			内面调整	底面	分期	备 考
			口沿部	腹部上半	腹部下半				
20	404住	2		结束第一横、贴付		无方斗	Ⅲ-4		
21	*	*		贴付		*	*		
22	*	*		LR、贴付		*	*		
23	*	*	LR			*	*		
24	*	*	贴付、结束第一横			*	*		
25	*	*	口沿上面和押、RL、贴付			*	*		
26	*	*	贴付、RL押、RL	RL		*	Ⅲ-4·5		
27	*	*	RL押	结束第一横(LR、RL)		*	*		
28	*	*		LR、沈碗		*	Ⅲ-8		

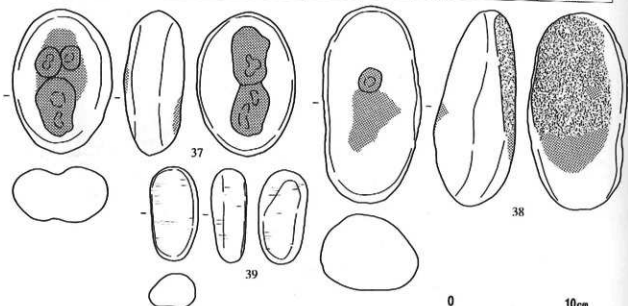
238图 第404号住居跡出土遺物(4)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面磨蝕	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
29	404住	1	西臥流線、RL、L線			ミ方キ		Ⅲ-8	
30	*	埋積土	貼付(洞み)、刺突			*		Ⅲ-3	
31	*	*		RL、貼付		*		Ⅲ-4	
32	*	*	L押、RL			*		Ⅲ-4・5	
33	*	*	口唇に沿ってL押	結葉帯一様(LR、RL)		*		*	
34	*	*	RL			*		*	
35	*	*	結葉帯一様(LR、RL)			*		*	

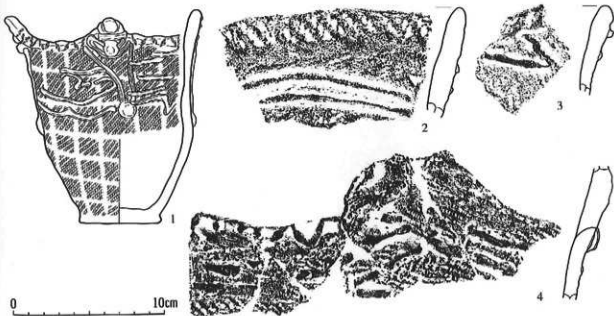
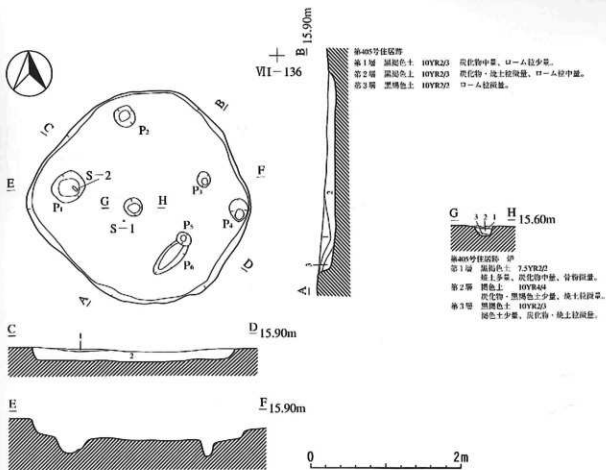


番号	出土地点	出土層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	楕	楕	整理番号
36	404住	埋積土	51	50	17	18	凝			3798



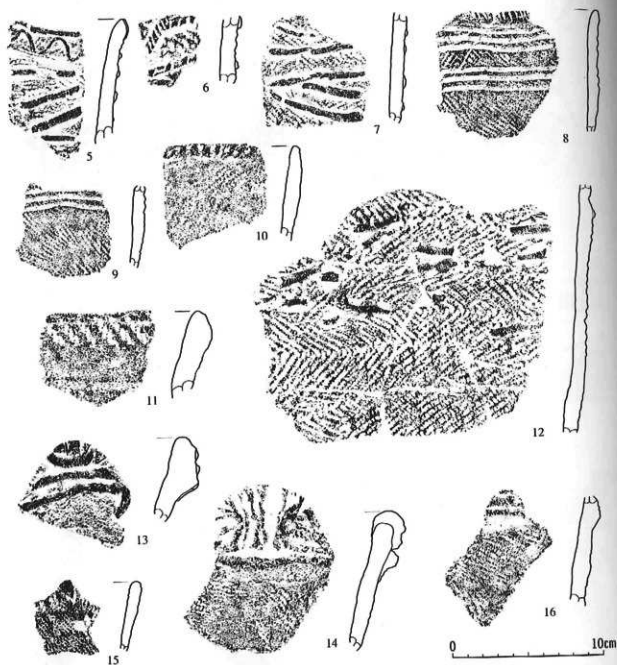
図版番号	出土地点	層位	長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)	石質	分類	備 考	整理番号
37	404住Ⅱ		114	78	47	470.5	安	Ⅱa	S-1	42676
38	404住	2	156	78	64	938.2	凝	Ⅱc		42677
39	*	埋積土	74	38	28	112.4	頁	Ⅱa		42628

239図 第404号住居跡出土遺物(5)



番号	出土地点	出土部位	外面文様			内面調査	底面	分層	備考
			11段層	胴部上半	胴部下半				
1	405住	床意	貼付、LR押	LR、貼付	LR	*	ミ方キ	Ⅲ-4	
2	*	*	*	*	*	*	*	*	
3	*	堆積上	LR押	LR、貼付		*	*	*	
4	*	*	貼付	RL、*		*	*	*	

240图 第405号住居跡・出土遺物(1)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
5	405住	埋居土	貼付	RI、貼付		ミ方弁	Ⅱ-4		
6	*	*		莖葉第一種(第A)		*	*		
7	*	*		*、貼付		*	*		
8	*	*	刷み、RL、沈線			*	Ⅱ-5		
9	*	*		RI、沈線		*	*		
10	*	*	R押	LR		*	Ⅱ-4・5		
11	*	*	LR押			*	*		
12	*	*		莖葉第一種、貼付	莖葉第一種(LR、RL)	*	Ⅱ-4		
13	*	*	貼付			*	Ⅱ-4・5		
14	*	*	貼付(RI押)			*	*		
15	*	*	LR押	RL		*	*		
16	*	*	貼付(LR押)	*		*	*		

241图 第405号住居跡出土遺物(2)

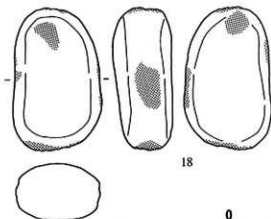




0 10cm

17

番号	出土地点	層位	計測値 (cm)			文様		後頭	備考
			長さ	幅	厚さ	表面	裏面		
17	405住	堆積土	(4.0)	(3.4)	(1.2)	1.押	1.押	土偶基部	



18

0 10cm

図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
18	405住ピット1	堆積土	112	69	47	520.6	石質 流	分類 Ib	備 S-2	考	42679

242図 第405号住居跡出土遺物 (3)

第407号住居跡 (243図～244図)

〔位置と確認〕 VM-117・VN-116・117に位置する。第Ⅲ層中で黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。ただし上部はかなり攪乱を受けている。

〔平面形・規模〕 平面形は不整な円形である。規模は長軸 3 m24cm、短軸 2 m76cm、床面積が7.12 m<sup>2</sup>である。長軸方向は北東―南西である。

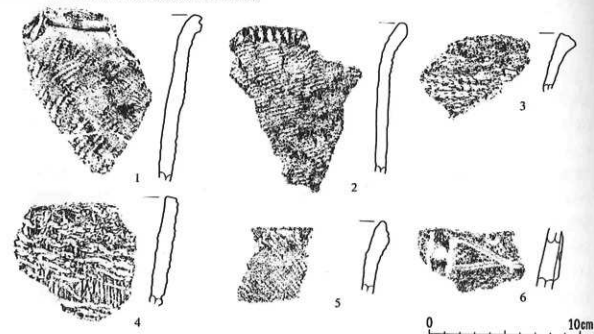
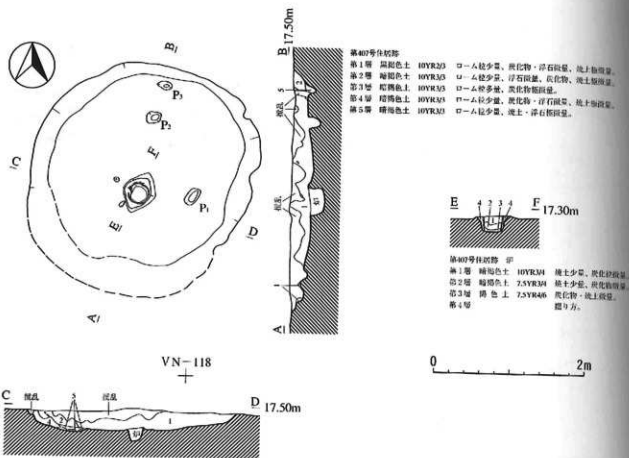
〔壁・床面〕 第Ⅵ層を掘り込んで壁と床にしている。壁は一部攪乱を受けているが、床から緩やかに立ち上がるらしい。床面は堅緻である。

〔柱穴〕 3個検出された。深さはそれぞれP<sub>1</sub>…13cm、P<sub>2</sub>…17cm、P<sub>3</sub>…12cmである。柱痕跡は検出されなかった。

〔炉〕 床面中央、やや南寄りで土器埋設炉が検出された。深鉢土器の上半部を用いたもので、径約35cm、深さ約20cmの掘り方に、正立させて埋設している。上半部は土器片を二重に埋設している。掘り方の堆積土上面は、床面より若干盛り上がった周堤状となる。土器内に焼土は形成されなかった。

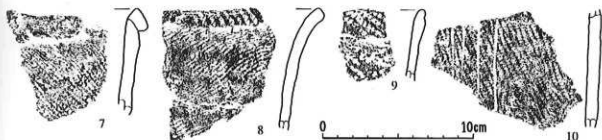
〔堆積土〕 暗褐色土を基調とする堆積である。比較的均質だが、自然・人為の判別はつかなかった。

〔出土遺物〕 埋設炉の土器は第Ⅲ群 4・5類である。また、堆積土から第Ⅲ群 4・5、9類土器が



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	407住跡		粘付 (LR押)	LR		2方角		Ⅲ-4・5	
2	*		LR押	*		*	*		
3	*		RLR			*	*		
4	407住	2	1單筋 I、RL粘付			*	*		Ⅱ-3
5	*	1	RL押、RL			*	*		Ⅲ-4・5
6	*	堆積土		LR? 粘付 (側尖)、花押		*	*		Ⅲ-5

243图 第407号住居跡・出土遺物 (1)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口部器	胴部上半	胴部下半				
7	407住	地埴土	RL押、RL			ミガキ		Ⅲ-4・5	
8	*	*	LR押、LR			*		*	
9	*	*	RL			*		*	
10	*	*		RL、洗線		*		Ⅲ-9	

244図 第407号住居跡・出土遺物(2)

出土した。

〔時期〕 炉に使用された土器から縄文時代中期中葉（円筒上層 d～e 式期）と思われる。

（秦 光次郎）

第408号住居跡（245図）

〔位置と確認〕 V K・M-117・118に位置する。第Ⅲ層中より黒色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は長楕円形で、規模は長軸 3 m76cm、短軸 2 m53cmである。長軸方向はほぼ南北である。

〔壁・床面〕 第Ⅵ層を掘り込んで壁・床としている。壁は 6～18cm 残存し、床面からは若干緩やかに立ち上がる。床は凹凸が多く、軟弱である。北東側の床面は、攪乱を受けている。

〔柱穴〕 長軸上に 2 個検出された。ともに主柱穴と思われる。深さは P<sub>1</sub>…26cm、P<sub>2</sub>…30cmである。柱痕跡は確認できなかった。

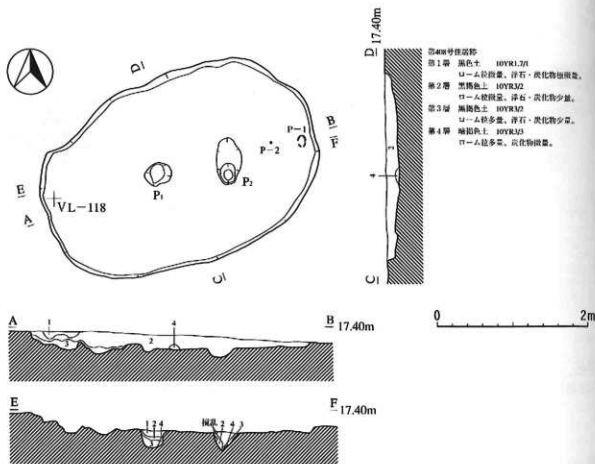
〔炉〕 確認されなかった。図示していないが、床面中央の浅い窪みが炉となる可能性がある。踏み締めたような堅さがあるが、焼土は形成されていない。

〔堆積土〕 黒褐色土主体の堆積である。攪乱が多く、人為か自然かの判別はできなかった。

〔出土遺物〕 床面から第Ⅲ群Ⅰ類土器が出土した。

〔時期〕 床面出土遺物から、縄文時代中期前葉（円筒上層 a 式期）と思われる。

（秦 光次郎）

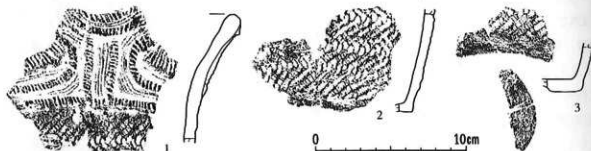


第408号住居跡 ビット1

- 第1層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒少量、浮石少量。  
 第2層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒細量、浮石極細量。  
 第3層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒少量、浮石極細量、炭化物細量。  
 第4層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒細量、浮石極細量。

第408号住居跡 ビット2

- 第1層 黒色土 10YR1/2/1 ローム粒・浮石少量。  
 第2層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒少量、炭化物極細量。  
 第3層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒・炭化物極細量。  
 第4層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒少量。



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	408住	床面	貼付 (L押)、L押	結束筋一様 (L.R, RL)		之方弁		目-1	1~3同一個体
2	〃	〃			結束筋一様 (L.R, RL)	〃		〃	
3	〃	〃			〃	〃	黒文	〃	

245図 第408号住居跡・出土遺物

第409号住居跡 (246図～247図)

〔位置と確認〕 V P・Q-118に位置する。第Ⅲ層中で黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形である。規模は長軸3 m64cm、短軸2 m80cm、床面積7.9m<sup>2</sup>と推定される。長軸方向はほぼ南北である。

〔壁・床面〕 第Ⅲ層を掘り込んで壁とし、第Ⅵ層中に床を構築している。壁は明瞭に識別できなかった。確認面から床面までは深さ約10cmである。床面は炉の周辺部のみ固く、平坦である。

〔柱穴〕 18個検出された。深さはP<sub>1</sub>…49cm、P<sub>2</sub>…23cm、P<sub>3</sub>…5cm、P<sub>4</sub>…20cm、P<sub>5</sub>…22cm、P<sub>6</sub>…9cm、P<sub>7</sub>…6cm、P<sub>8</sub>…9cm、P<sub>9</sub>…32cm、P<sub>10</sub>…36cm、P<sub>11</sub>…6cm、P<sub>12</sub>…30cm、P<sub>13</sub>…30cm、P<sub>14</sub>…35cm、P<sub>15</sub>…25cm、P<sub>16</sub>…33cm、P<sub>17</sub>…64cm、P<sub>18</sub>…22cmである。

〔炉〕 中央から土器埋設炉と土器片敷炉が検出された。土器片敷炉は、長軸85cm、深さ13cmの規模で不整形に掘り込み、P<sub>18</sub>の上に土器片を敷き詰めている。土器片は殆どが内面を上向きにし、被熱によってか、器面が荒れている。土器埋設炉は、底を欠く深鉢の上半部を埋め込んでいる。埋め込まれている部分より、突き出ている部分の方が多い。土器埋設炉の南には短い溝状の掘り込みがある。何れも構築順は不明だが、堆積土の観察から埋没はほぼ同時期と思われる。

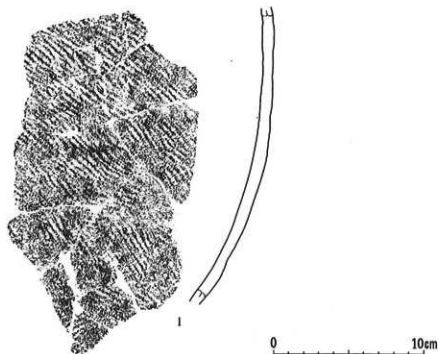
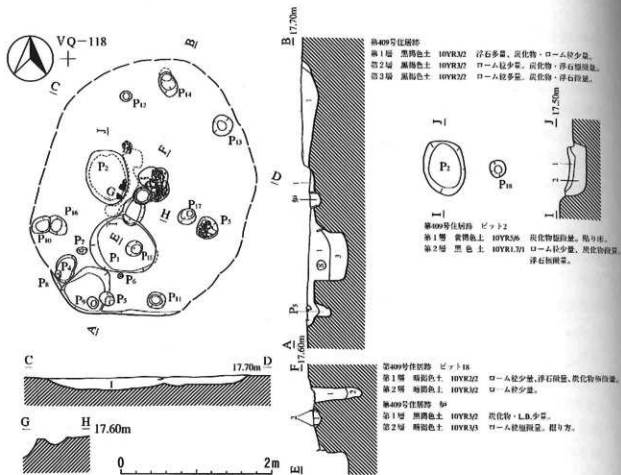
〔その他の施設〕 南西壁から若干張り出した付属施設が確認された。堆積土、遺物等の目立った特徴はない。床面は形成されていない。他に土坑が2基検出された。P<sub>1</sub>としたものは、長径約90cm、深さ約50cmで、炉に関わる施設の可能性がある。P<sub>2</sub>としたものは、上面に貼り床が施された土坑である。黒色土で埋めた後、炉側にはみ出す形で第Ⅵ層を貼り付けている。貼り床上面は比較的堅緻だが、床面より10cm近く下がっている。P<sub>1</sub>との構築時期の差は不明だが、埋没はこちらが早いものと思われる。

〔堆積土〕 黒褐色土主体の堆積土である。人為・自然の判別はつかなかった。

〔出土遺物〕 堆積土から第Ⅲ群11類土器が出土した。石器は床面直上・第1層から敲磨器類などが出土した。炉に使用された土器は図示できなかった。

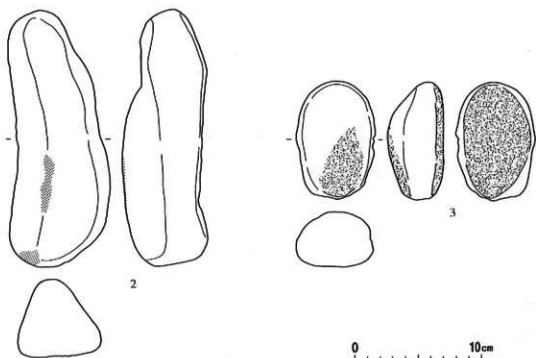
〔時期〕 炉及び床面出土遺物から、縄文時代中期後葉と思われる。

(秦 光次郎)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			11線部	胴部上平	胴部下平				
1	409住	埋積土		RL		ミ方キ		Ⅱ-11	

246図 第409号住居跡・出土遺物(1)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
2	409住	床直	202	80	67	1386.5	安	lb	S-1		43805
3	*	1	93	62	44	354.3	*	lc			43804

247図 第409号住居跡出土遺物 (2)

第410号住居跡 (248図)

〔位置と確認〕 VR・S-116・117に位置する。第Ⅲ層中より黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第133号溝跡と重複し、本住居跡が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 2 m92cm、短軸 2 m20cmで床面積が5.53㎡である。長軸方向は北東-南西である。

〔壁・床面〕 第Ⅵ層を掘り込み、壁・床としている。壁・床ともに攪乱を受けている。床は凹凸があり、軟弱である。

〔柱穴〕 なし。

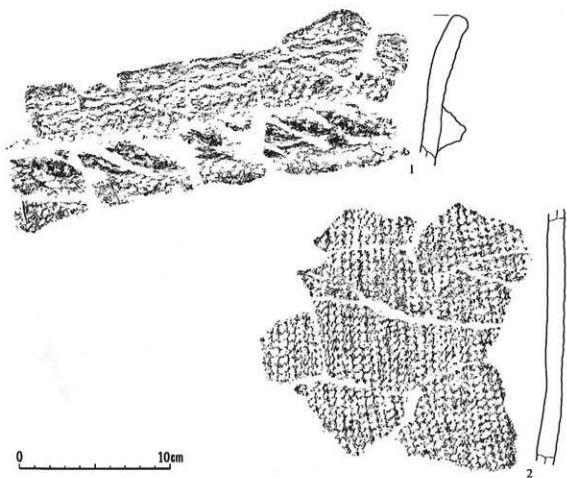
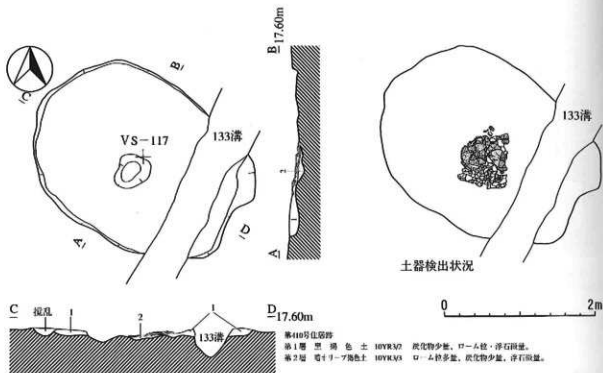
〔炉〕 中央部で掘り込みによる地床炉が確認された。鍋底上の断面形で、最大長50cm、深さ約10cmの浅い掘り込みである。焼土は形成されていない。

〔堆積土〕 黒褐色土を基調とする堆積である。自然堆積の可能性が高い。

〔出土遺物〕 堆積土から第Ⅱ群3類土器が出土した。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期中葉 (円筒下層b式期) に近い時期と思われる。

(秦 光次郎)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面装飾	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	410住	堆積土	RLR、R結圓	縄菱(RLR押)、RLR		ミガキ	Ⅱ-3	1・2同一胴体	
2	*	*		RLR		*	*		

248図 第410号住居跡・出土遺物



第411号住居跡 (249図～250図)

〔位置と確認〕 VM・N-118・119に位置する。第Ⅲ層中で黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸 3 m32cm、短軸 2 m98cm、床面積は7.74m<sup>2</sup>である。長軸方向はほぼ南北である。

〔壁・床面〕 第Ⅲ層から第Ⅵ層にかけて掘り込み、第Ⅵ層を壁・床としている。掘り込みが浅いため、壁・床ともに残存状態が悪い。壁の最大高は12cmである。床面は軟弱である。

〔壁溝〕 東側で一部途切れるが、ほぼ全周する。幅約15cm、深さ約5～18cmである。

〔柱穴〕 8個検出された。主柱穴の配置は不明である。深さはP<sub>1</sub>…28cm、P<sub>2</sub>…17cm、P<sub>3</sub>…7cm、P<sub>4</sub>…13cm、P<sub>5</sub>…17cm、P<sub>6</sub>…16cm、P<sub>7</sub>…8cm、P<sub>8</sub>…6cmである。P<sub>1</sub>～P<sub>6</sub>は壁柱穴になると思われる。

〔灰〕 長軸上3分の1程北東寄りの攪乱の下で1基検出した。大部分が破壊されているため、全体形は不明である。焼土面は残存しなかった。

〔堆積土〕 黒褐色土を基調とする堆積土である。床面直上では第Ⅵ層土のブロック・粒を多く含み、人為堆積の可能性が高い。

〔出土遺物〕 炉から第Ⅱ群5-2類、床面から第Ⅱ群6類、堆積土から第Ⅱ群2、3、5、9類土器が出土した。

〔時期〕 炉の出土遺物から、縄文時代前期末葉(円筒下層d<sub>3</sub>式期)と思われる。

(秦 光次郎)

第412号住居跡 (251図)

〔位置と確認〕 VIH-95に位置する。第Ⅲ層精査中、土器埋設炉を確認した。

〔重複〕 第95号住居跡と重複し、本住居跡が新しい。

〔平面形・規模〕 炉のみの確認であるため不明である。

〔壁・床面〕 不明である。

〔柱穴〕 不明である。

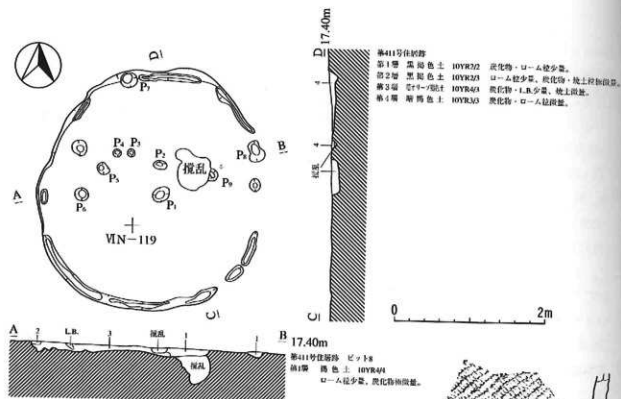
〔灰〕 土器埋設炉である。約40cm×30cmの掘り方に、土器の下半部を埋設している。土器残存部の最大径は20cm程度である。堆積土には焼土・炭化物が多量に含まれる。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 埋設炉に使用された土器は第Ⅲ群6類であるが、図示できなかった。

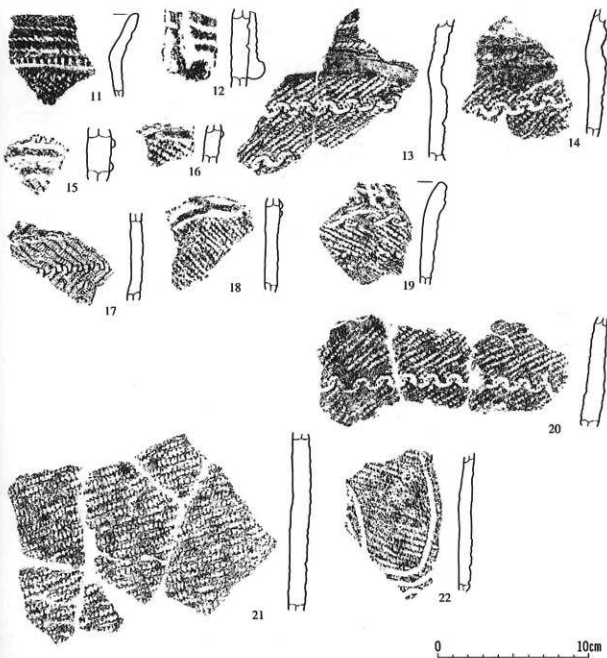
〔時期〕 炉に使用された土器から縄文時代中期前半と思われる。

(中村 美杉)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	411住	卵	R押			ミ方キ		Ⅱ-5-2	頸部くびれ
2	*	*		LR, R踏回		*	*	*	
3	*	*		*		*	*	*	
4	*	*		*		*	*	*	
5	*	床面		RL?		*	*	*	1-4同一體
6	*	土積子	R車跡5			*	*	Ⅱ-6	剥落
7	*	*	R車跡1			*	*	Ⅱ-2	
8	*	*	L車跡1			*	*	Ⅱ-3	
9	*	*	R押			*	*	*	
10	*	*	RL押			*	*	Ⅱ-5-2	

249図 第411号住居跡・出土遺物(1)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調査	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
11	411住	堆積土	LR押、刷み	RL		ミガキ	Ⅱ-5-2		
12	*	*	R押	LR、R結四		*	*	頸部くびれ	
13	*	*	*	*、*		*	*	12と同一器体	
14	*	*	貼付、LR押			*	*		
15	*	*		RL、貼付、刺突		*	*	Ⅲ-3	
16	*	*		RL、貼付		*	*	17と同一器体	
17	*	*		*、*		*	*		
18	*	*	R押、RL			*	*	Ⅲ-4・5	
19	*	*		筋束第一層(LR、RL)		*	*	Ⅲ-6	
20	*	*			LR、R結面	*	*		
21	*	*		LR		*	*		
22	*	*		RL?、沈漉		*	*	Ⅲ-9	

250図 第411号住居跡・出土遺物(2)



251図 第412号住居跡

第413号住居跡 (252図)

〔位置と確認〕 MH・I-94・95に位置する。Ⅲ層精査中に落ち込みを確認した。

〔重複〕 第453・457号住居跡、第9640～9642号・10851号ピットと重複し、本住居跡が最も古い。

〔平面形・規模〕 不明である。

〔壁・床面〕 西壁のみ残存していた。高さは7cmである。床は平坦で堅緻である。

〔柱穴〕 ピットを3個確認した。深さはP<sub>1</sub>…15cm、P<sub>2</sub>…7cm、P<sub>3</sub>…11cmである。主柱穴は不明である。

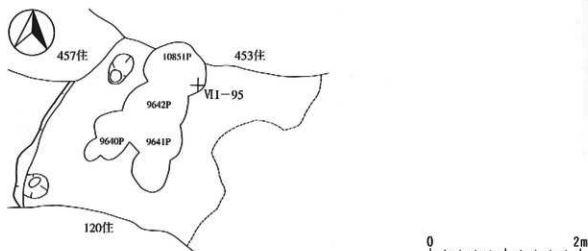
〔炉〕 不明である。

〔堆積土〕 断面図を作成できなかったため、不明である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 遺構の重複関係から、縄文時代前期と思われる。

(中村 美杉)



252図 第413号住居跡

第415号住居跡 (253図～256図)

〔位置と確認〕 V・P-113～115に位置する。第V層で黒褐色土の落ち込みとピットを確認した。拡張の痕跡が認められた住居跡である。改築前を第1期、改築後を第2期として記述する。

〔重複〕 第164号溝跡と重複し、木住居跡が古い。

第1期

〔平面形・規模〕 平面形は、各時期を通して依形に近い楕円形になるようである。規模は長軸6m70cm、短軸5m60cmと推定される。

〔壁・床面〕 壁は南側に残存し、第2期の貼り床の下で確認した。床面は、壁際が1段高くなったテラス状施設を伴っている。第VI層の削り出しによって作出される。北側では確認できなかったが、これは後世の削平によるもので、本来は全周していたものと思われる。テラス状施設以外の床面は若干凹凸がある。硬化面の形成は確認できなかった。

〔壁溝〕 確認した3条の内、内側の2条が第1期に伴うものと思われる。外側から2番目の壁溝(壁溝B)は西側と北側に部分的に確認されている。最大幅は14cmである。最も内側の壁溝(壁溝A)は、北側のテラス状施設と床面中央部との境に痕跡が残っている。壁溝Aは第2期にも伴うものと思われる。

〔柱穴〕 第1期と第2期あわせて73個確認された。径8～60cm、深さ7～81cmである。第1期に伴うものは主柱穴の6個と壁溝Bに沿う29個である。主柱穴はP1～P6で構成されていたものと思われる。深さは34～75cmである。壁溝Bに沿うピットは、径8～40cm、深さ7～57cmである。床面には、他にも同規模のピットが検出されたが、第2期に伴うものか、別遺構に伴うものかは不明である。

〔炉〕 床面中央とやや東寄りの2箇所に焼土を確認した。地床炉になると思われるが、それぞれが第1期と第2期のどちらに伴うかの確認はできなかった。

第2期

〔平面形・規模〕 規模は長軸7m56cm、短軸約7m、床面積は41.69㎡である。

〔壁・床面〕 壁は南側に残存している。第1期より60cmから1m外側に拡張が見られた。第1期同様、床面にテラス状施設が伴っている。南側では第1期の壁・テラス状施設の上に貼り床がつくられ、第2期にテラス状施設を拡張した形となっている。焼土の形成位置から別住居として登録したが、第416号住居跡はこの拡張時の貼り床の一部であった可能性がある。

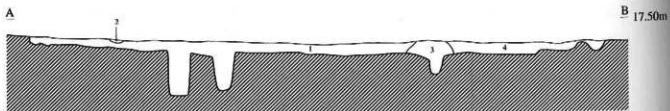
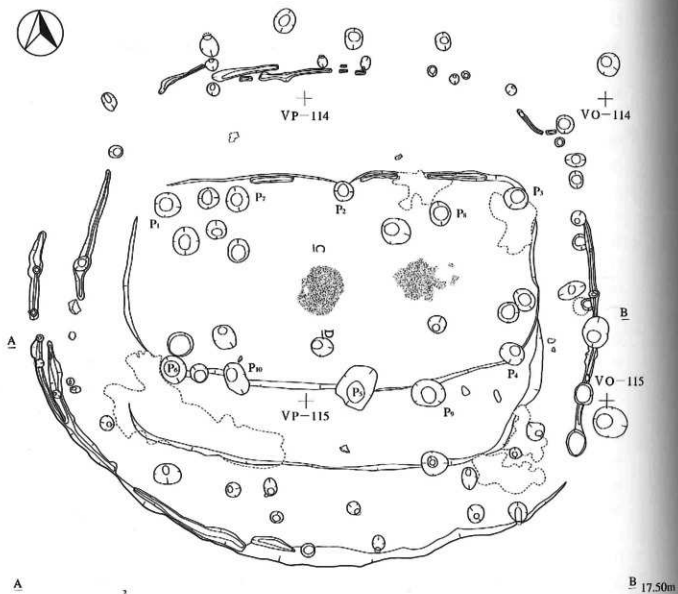
〔壁溝〕 確認した3条の内、壁溝Bを除く2条が第2期に伴うと思われる。最も外側の壁溝(壁溝C)は南側と西側、東側に検出されている。最大幅は20cmである。

〔柱穴〕 主柱穴は第1期同様、P1～P6で構成されていたものと思われる。壁溝Cに沿うピットは、径10～30cm、深さ10～50cmで、16個確認された。その他のピットで第2期に伴うものの識別はできなかった。

〔堆積土〕 暗褐色土主体の層で、比較的均質な堆積である。

〔出土遺物〕 第3層から第Ⅱ群3、6類、第Ⅲ群4、6、9、10類土器が、第Ⅱ群5-1、6類、第Ⅲ群4、11類土器が出土した。石器は堆積土から石槍、U.フレイク、敲磨器類、石皿・台石類などが出土した。

〔時期〕 堆積土内の出土遺物及び住居形態より、縄文時代前期末葉と思われる。(秦 光次郎)



第415号住居跡

- 第1層 黑褐色土 10YR3/2 ローム粒・炭化物混雜。
- 第2層 黒色土 10YR1.7/1 浮石少量、炭化物混雜。
- 第3層 黄褐色土 10YR2/3 浮石、炭化物、炭1級草。
- 第4層 黄褐色土 10YR2/3 炭化物、ローム粒混雜。

C D 17.50m

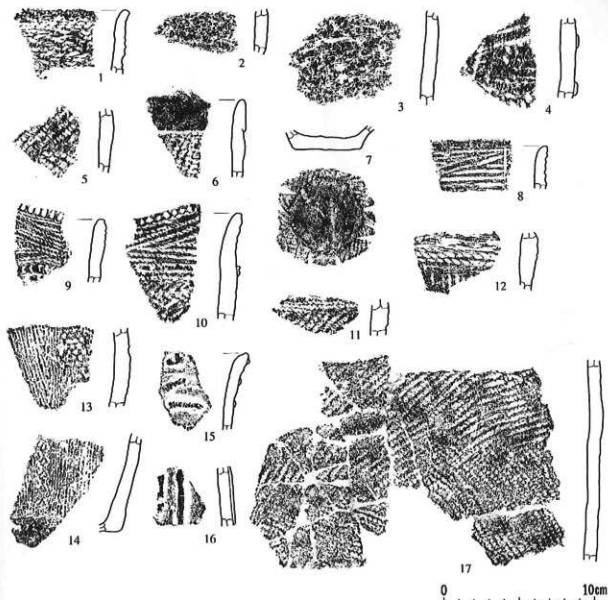


第415号住居跡 切

- 第1層 明赤褐色土 5YR5/8 粘土。
- 第2層 黄褐色土 10YR2/3 浮石、炭化物混雜。

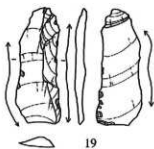
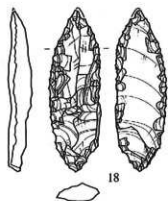
0 2m

253图 第415号住居跡

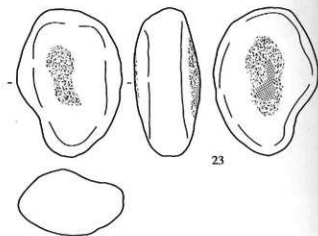
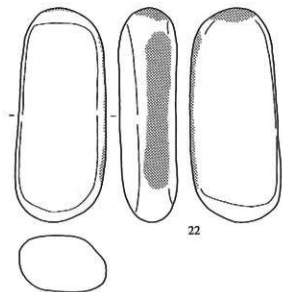
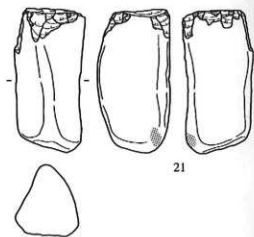
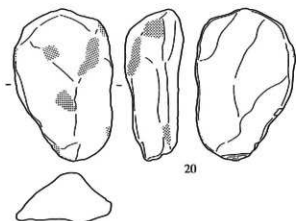


番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面開裂	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	415住	3	R結回、RLR押		胴部下半		ミ方キ	Ⅱ-3	
2	*	*		不明			*	Ⅱ-6	磨耗
3	*	*		*			*		*
4	*	*		結束第一種? 貼付			*	Ⅲ-4	
5	*	*		結束第一種 (LR, RL)			*	Ⅲ-6	
6	*	*	折返し口縁、RL				*	Ⅲ-9-10	
7	*	*			LR		無文	Ⅲ-11	
8	*	堆積土	早結I押				*	Ⅱ-5-1	
9	*	*	LR押、漣み				*		口唇上面に刻み
10	*	*	LR押、貼付 (LR押)	結束第一種			*		口唇部に刻み
11	*	*	LR押	LR			*		
12	*	*	L押				*		
13	*	*		I.早結IA、多輪結			*	Ⅱ-6	
14	*	*			糸煎、R結回		*		
15	*	*	貼付				*	Ⅲ-4	16と同一個体
16	*	*		貼付			*		
17	*	*		LR			*	Ⅲ-11	

254図 第415号住居跡出土遺物 (1)



0 5cm

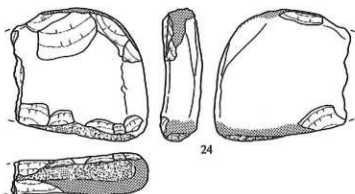


0 10cm

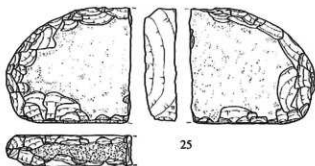
图版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
18	415住	層位土	(63)	22	9	(9.4)	埴頁	Ba		52287
19	*	*	46	18	4	3.0	*	Gc		40234
20	*	*	120	78	46	472.2	安	Ib	S-8	43813
21	*	*	114	55	57	493.0	*	*	S-10	43815
22	*	*	170	72	47	864.7	流	*	S-6	43810
23	*	*	117	84	52	650.0	安	Ic	S-9	43814

255图 第415号住居跡出土遺物 (2)

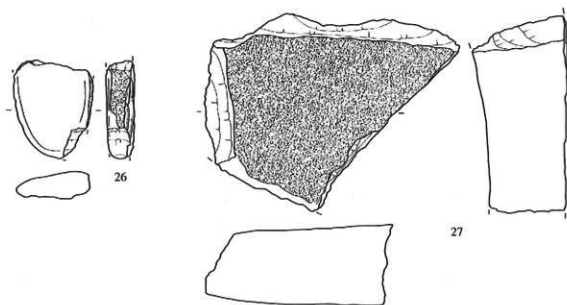




24



25



26

27



图版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
24	415住	埋積土	105	(107)	33	(519.1)	安	lc		43818
25	*	*	91	(99)	25	(383.9)	*	*	平河原中平野区第7、5-1	43811
26	*	*	(77)	(62)	(22)	(113.9)	*	*		43812
27	*	*	(136)	(201)	(74)	(2277.5)	*	L S-1		43806

256图 第415号住居跡出土遺物 (3)

第416号住居跡 (257図)

〔位置と確認〕 VO-115に位置する。第415号住居跡の堆積土を精査中に、硬化した貼り床と焼土を確認した。炉の位置から別住居としたが、第415号住居跡の貼り床の一部である可能性がある。

〔重複〕 第415号住居跡より新しい。

〔平面形・規模〕 壁が消失しているため、平面形は不明である。貼り床の残存最大長は1m70cmである。

〔壁・床面〕 壁は残存しない。床は第VI層土を主に用いた貼り床がなされていた。硬化面は確認できなかった。

〔柱穴〕 確認されなかった。ただし、第415号住居跡に伴うと判断したものの中に含まれている可能性がある。

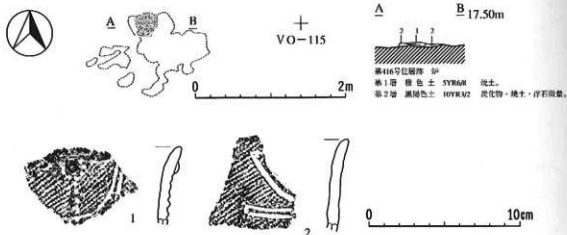
〔炉〕 貼り床の上に焼土が形成されていた。地床炉になるものと思われる。

〔堆積土〕 確認できなかった。

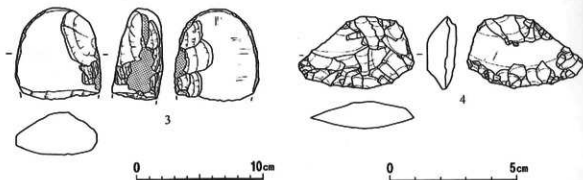
〔出土遺物〕 炉から第Ⅲ群10類土器、磨石類が、堆積土からスクレイパー類などが出土した。

〔時期〕 炉の出土遺物及び重複関係から、縄文時代中期後葉から末葉と思われる。

(秦 光次郎)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	416住	炉	円形貼付、肩隅に刺突	LR、沈線		ミガキ		Ⅲ-10	
2	*	*	RL、沈線、頸部に刺突			*		*	



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
3	416住炉		(72)	(66)	(39)	(237.1)	安	Ib		43831
4	416住	堆積土	29	45	11	12.1	珉質	Ga		52140

257図 第416号住居跡・出土遺物

第417号住居跡 (258図～259図)

〔位置と確認〕 VJ-118に位置する。第VI層まで下げたところで確認した。

〔重複〕 第339号住居跡と重複し、本住居跡が古い。

〔壁・床面〕 攪乱によって壁・床ともに残存状態が悪い。

〔平面形・規模〕 第339号住居跡と重複しているため、平面形は不明である。残存長 2 m 8 cmである。

〔柱穴〕 確認されなかった。第339号住居跡に伴うと判断したものの中に含まれている可能性もある。

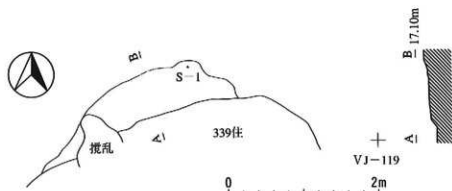
〔炉〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 暗褐色土主体の堆積である。

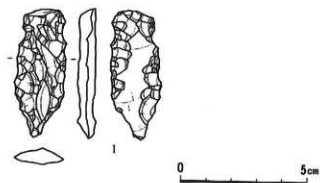
〔出土遺物〕 堆積土から石匙などが出土した。

〔時期〕 遺構の重複関係から、縄文時代前期と思われる。

(秦 光次郎)



258図 第417号住居跡



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	考	整理番号
1	417住	堆積土	51	20	7	7.3	珪質	Ca			52139

259図 第417号住居跡出土遺物

第420号住居跡 (260図～262図)

〔位置と確認〕 VQ・R-117、VR-118に位置する。第V層において確認した。

〔重複〕 第130号溝跡と重複し、木住居跡が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は洋梨形に近い楕円形である。規模は長軸 3 m84cm、短軸 3 m30cm、床面積は10.43m<sup>2</sup>である。長軸方向は北東-南西である。

〔壁・床面〕 壁は床面から比較的直に立ち上がり、最高で18cm残存する。床面は、炉を中心とした半径1mの範囲が、平坦で堅緻である。他の部分では凹凸が目立ち、軟弱である。

〔柱穴〕 12個確認された。それぞれの深さはP<sub>1</sub>…22cm、P<sub>2</sub>…49cm、P<sub>3</sub>…17cm、P<sub>4</sub>…53cm、P<sub>5</sub>…63cm、P<sub>6</sub>…32cm、P<sub>7</sub>…39cm、P<sub>8</sub>…25cm、P<sub>9</sub>…33cm、P<sub>10</sub>…30cm、P<sub>11</sub>…69cm、P<sub>12</sub>…16cmである。P<sub>2</sub>からは柱痕跡が確認されている。

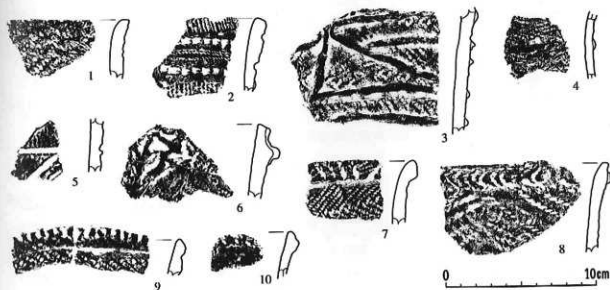
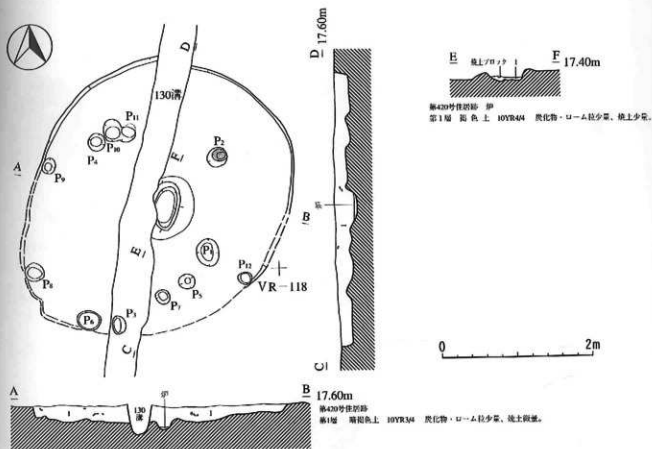
〔炉〕 中央から周堤炉が確認された。規模は径88cm、深さ約8cmで、第VI層を削り出して周堤を構築しており、床面との比高差は約9cmである。周堤内には焼土が見られた。

〔堆積土〕 暗褐色土主体の堆積である。比較的多くの土器片を含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕 第1層から第Ⅲ群4・5類を主体とする土器が、その他の堆積土から石匙などが出土した。

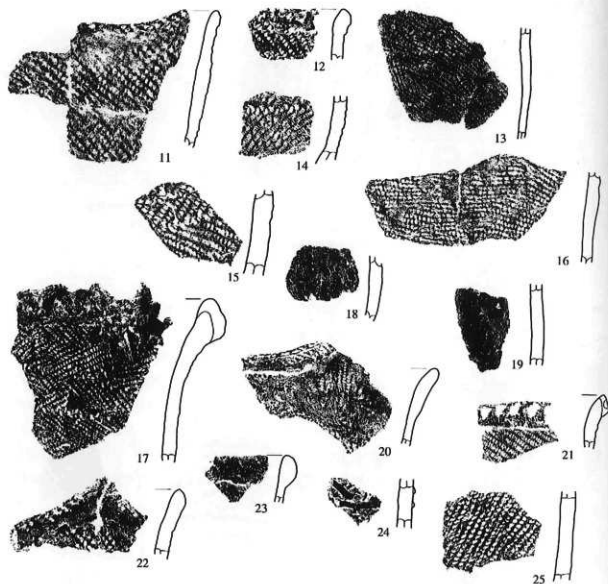
〔時期〕 第1層出土遺物から、縄文時代中期中葉（円筒上層e式期）と思われる。

(秦 光次郎)



番号	出土地点	出土層位	外面文様			底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半			
1	420住	1	LR粘附、LR			ミナキ	II-2	
2	*	*	LR粘附、貼付(L押)			*	II-5-2	
3	*	*		結束第一種、貼付		*		
4	*	*		RL、貼付		*	III-4	
5	*	*		沈線		*	III-5	
6	*	*	貼付(R押)、RL			*	III-6	
7	*	*	LR押、結束第一種			*		
8	*	*	貼付(縄押)、RL押			*		
9	*	*	口唇割み、RL?			*		
10	*	*	RL押、RL			*		

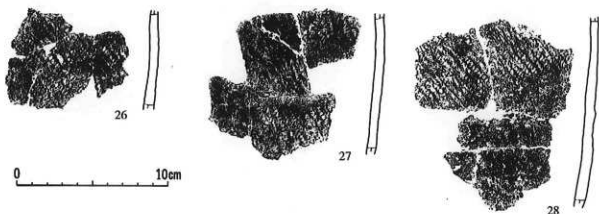
260図 第420号住居跡・出土遺物(1)



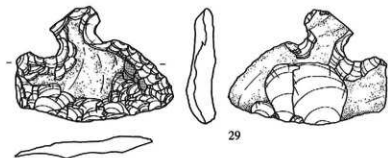
0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面磨擦	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
11	420住	I	RL押、RL			ミガキ		Ⅲ-6	
12	*	*	LR押、*			*	*	*	
13	*	*		RL		*	*	*	
14	*	*				*	*	*	
15	*	*		結束第一種		*	*	*	
16	*	*				*	*	*	
17	*	*		無文		*	*	Ⅲ	
18	*	*				*	*	*	
19	*	雑器面	貼付、結束第一種			*	*	Ⅲ-4・5	
20	*	*	*	(RL)、*		*	*	*	
21	*	*	*	(刺突)、RL		*	*	*	
22	*	*	LR押、RL			*	*	*	
23	*	堆積土	無文			*	*	*	
24	*	*		LR、貼付		*	*	Ⅲ-4	
25	*	*		I.單貼I		*	*	Ⅱ-6	

261图 第420号住居跡出土遺物(2)



番号	出土地点	出土部位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			11線部	胴部上半	胴部下半				
26	420住	堆積土		RL		ミガキ	III-6		
27	*	*		*		*	*		
28	*	*		*		*	*		



図版番号	出土地点	部位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	材質	分類	備 考	整理番号
29	420住	堆積土	46	62	12	24.3	辻貫	Cb		40261

262図 第420号住居跡出土遺物 (3)

第421号住居跡 (263図~265図)

〔位置と確認〕 VQ-116・117に位置する。第V層上面で、暗褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第156号溝跡と重複し、本住居跡が古い。

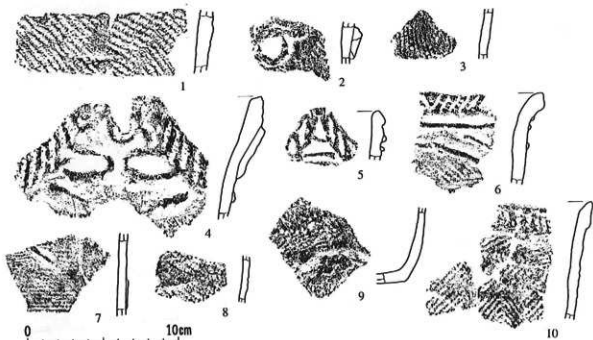
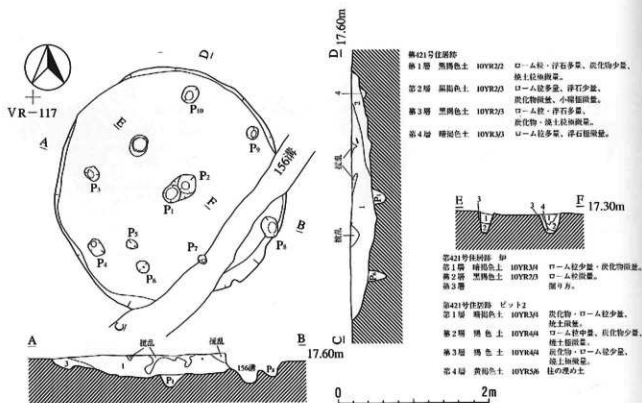
〔平面形・規模〕 平面形はほぼ円形で、規模は長軸3m28cm、短軸3m、床面積が7.53㎡である。長軸方向はほぼ南北である。

〔壁・床面〕 第V・VI層を掘り込んで、壁・床がつくられる。残存する壁高は4~19cmで、床面から、緩やかに立ち上がる。床面は平坦で、堅緻である。

〔柱穴〕 10個検出された。深さはそれぞれP<sub>1</sub>…19cm、P<sub>2</sub>…27cm、P<sub>3</sub>…26cm、P<sub>4</sub>…58cm、P<sub>5</sub>…28cm、P<sub>6</sub>…31cm、P<sub>7</sub>…23cm、P<sub>8</sub>…25cm、P<sub>9</sub>…47cm、P<sub>10</sub>…22cmである。

〔炉〕 中央から北西よりに、土器埋設炉が1基確認された。完形の深鉢形土器を、正立させて埋設している。内部に焼土面は確認されなかった。

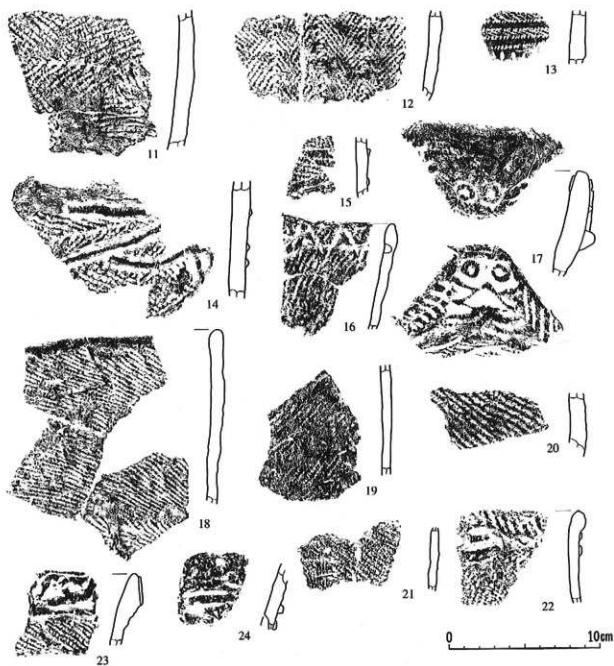
〔堆積土〕 黒褐色土主体の堆積土である。斑状に暗褐色土のブロックが入り込んでおり、人為堆積



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	421住	床底		RL		ミガキ		Ⅱ-6	
2	421住2/1	埋積土	貼付			*		Ⅱ-4	
3	*	*		RL		*		Ⅱ-6	
4	421住	3	貼付 (R? LR押)			*		Ⅱ-4	
5	*	*	貼付			*			
6	*	*	口唇刻み	RL、貼付		*		*	
7	*	*		結束部一種、貼付		*		*	
8	*	*	LR押	結束部一種、貼付		*		Ⅱ-4・5	
9	*	*		RL		*		Ⅱ-6	
10	*	*			LR?	*	無文	*	

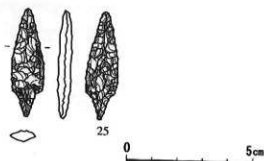
263図 第421号住居跡・出土遺物 (1)





番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
11	421住	2		斜部上半	斜部下半	ミガキ	Ⅲ-6		
12	*	*		斜部第一様 (LR, RL)	*	*	*	破片	
13	*	1	単純I・LR押			*	Ⅱ-5-1		
14	*	*		斜部第一様、貼付		*	Ⅲ-4		
15	*	*		縄文、貼付		*	*		
16	*	*	貼付			*	*	内面に6貼付	
17	*	*	LR押、LR			*	Ⅲ-4・5		
18	*	*	RL			*	*		
19	*	*		RL		*	Ⅲ-6		
20	*	*		LR		*	*		
21	*	*		RL		*	*		
22	*	厚積土	R押	RL、貼付		*	Ⅲ-4		
23	*	*	貼付	RL		*	*		
24	*	*		縄文、貼付		*	*		

264图 第421号住居跡出土遺物(2)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	材質	分類	備 考	整理番号
25	421住	埋積土	43	13	6	2.6	埴頁	Ab		52305

265図 第421号住居跡出土遺物 (3)

と思われる。

〔出土遺物〕 床面直上から第Ⅲ群 6類、3層から第Ⅲ群 4・5類を主体とする土器が出土した。また、その他の堆積土から石鏃などが出土した。

〔時期〕 炉の土器より、縄文時代中期中葉（円筒上層d式期）と思われる。

（秦 光次郎）

#### 第422号住居跡 (266図～304図)

〔位置と確認〕 VT~VD-113・114、VB・C-112、VT~VIC-115に位置する。第Ⅲ層精査中に、遺物包含層の落ち込みとして確認した。2回の拡張の痕跡が確認された。古い時期から第1期、第2期、第3期として記述する。ただし、第2期の貼り床より下は、遺跡保存のため精査を行っていないので、第1期の状況については不明な部分が多い。

〔重複〕 第426・428号住居跡より新しく、第427・555号住居跡より古い。

#### 第1期

〔平面形・規模〕 平面形は各時期を通して小判形に近い楕円形で、長軸方向は北西～南東である。規模は長軸約13m、短軸約7m30cmである。

〔壁・床面〕 壁は不明である。床面は第V・VI層土中につくられ、第VI層土と暗褐色土を用いて貼り床がなされていた。第1期～3期を通じて、面的に確認できたのは主に第VI層土によるもので、4回以上貼り床が施された部分もある。それぞれ厚さ1cmほどで、硬化の度合いもまちまちである。面的には大きく2枚に識別できる。第1期～2期の主柱穴を覆う貼り床を貼り床A、その下から確認された貼り床を貼り床Bとした。貼り床Aは第3期に、貼り床Bは第1期または第2期に伴うものと考えられる。

〔柱穴〕 主柱穴は、P<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>・P<sub>3</sub>・P<sub>4</sub>・P<sub>12</sub>・P<sub>13</sub>の6本で、径50～74cm、深さ70～117cmである。

P<sub>138</sub>は上面のみの精査のため、深さ等は不明である。P<sub>7</sub>を除いて、何れも第3期に伴う貼り床Aに覆われており、拡張の新旧を決定する根拠となった。P<sub>130</sub>・P<sub>136</sub>は、上面に第VI層を用いた貼り床が貼られ、床面から若干沈み込んでいた。平面配置は2本×3本の長方形で、桁行き7m40~48cm、梁行き3m28~42cmである。壁柱穴と思われるものはP<sub>61</sub>・P<sub>22</sub>・P<sub>36</sub>~P<sub>37</sub>・P<sub>62</sub>・P<sub>66</sub>~P<sub>100</sub>・P<sub>101</sub>・P<sub>114</sub>・P<sub>115</sub>・P<sub>117</sub>・P<sub>118</sub>・P<sub>121</sub>・P<sub>122</sub>・P<sub>127</sub>・P<sub>130</sub>・P<sub>131</sub>の24個である。

〔炉〕 貼り床Bの下にあると思われ、不明である。

〔その他の施設〕 第1期~第2期では、並列する溝状の付属施設が伴う。長さ約60cm、幅約20cm、深さ約4cmの浅く短い溝が、11本並列している。P<sub>30</sub>の北から、南東に長さ約3m確認された。硬化面は形成されていなかった。第1期には、南側の貼り床下に2本の溝も伴う様である。

### 第2期

〔平面形・規模〕 規模は長軸約14m10cm、短軸約9m50cmである。

〔壁・床面〕 第2期の壁は第3期への拡張時にほぼ消失し、東側の壁が僅かに残存する。貼り床Bは第1期または第2期に伴うものと考えられる。

〔柱穴〕 主柱穴は第1期と同じと考えられる。壁柱穴はP<sub>27</sub>・P<sub>28</sub>・P<sub>31</sub>・P<sub>34</sub>・P<sub>38</sub>・P<sub>39</sub>~P<sub>46</sub>・P<sub>48</sub>・P<sub>49</sub>・P<sub>58</sub>~P<sub>61</sub>・P<sub>63</sub>・P<sub>71</sub>・P<sub>72</sub>・P<sub>78</sub>・P<sub>83</sub>・P<sub>88</sub>・P<sub>90</sub>・P<sub>92</sub>・P<sub>95</sub>~P<sub>98</sub>・P<sub>100</sub>・P<sub>103</sub>・P<sub>106</sub>・P<sub>128</sub>・P<sub>129</sub>・P<sub>131</sub>・P<sub>134</sub>の40個が確認された。

〔炉〕 床面中央部から炉1が確認された。平面形は1m×65cmの楕円形で、深さ約30cmである。少なくとも第2期から住居廃絶まで存続していたと思われる。

〔その他の施設〕 第1期に確認されるもの他、第2期には北側の床面に2本の溝が伴っていた。

### 第3期

〔平面形・規模〕 規模は長軸15m12cm、短軸10m40cm、床面積136.41m<sup>2</sup>である。

〔壁・床面〕 新期の壁は、第V・VI層を掘り込んでつくられる。北壁は確認できなかった。貼り床Aは主に第3期に伴うものと思われる。

〔柱穴〕 主柱穴はP<sub>1</sub>~P<sub>6</sub>の6本である。深さは65~87cmで、斜面上方にあたる南東側が深くなる。何れも貼り床A・Bを切るか、覆われていないもののみである。平面配置形は2本×3本の長方形で、桁行き9m40cm、梁行き4m20cmから4m40cmの規模である。壁柱穴は、P<sub>10</sub>・P<sub>11</sub>・P<sub>19</sub>・P<sub>29</sub>・P<sub>30</sub>・P<sub>32</sub>・P<sub>33</sub>・P<sub>35</sub>・P<sub>37</sub>・P<sub>40</sub>・P<sub>49</sub>・P<sub>63</sub>・P<sub>64</sub>・P<sub>70</sub>・P<sub>71</sub>~P<sub>77</sub>・P<sub>79</sub>・P<sub>81</sub>~P<sub>84</sub>・P<sub>86</sub>・P<sub>87</sub>・P<sub>90</sub>~P<sub>94</sub>・P<sub>96</sub>・P<sub>98</sub>・P<sub>100</sub>・P<sub>106</sub>・P<sub>107</sub>・P<sub>108</sub>の37個が検出された。

〔炉〕 住居長軸上の炉1、炉2が該当すると思われる。いずれも焼上は確認できなかった。

〔その他の施設〕 第3期では、炉1の東側に溝を伴う。幅、深さともに約20cmで、V字状の平面形である。

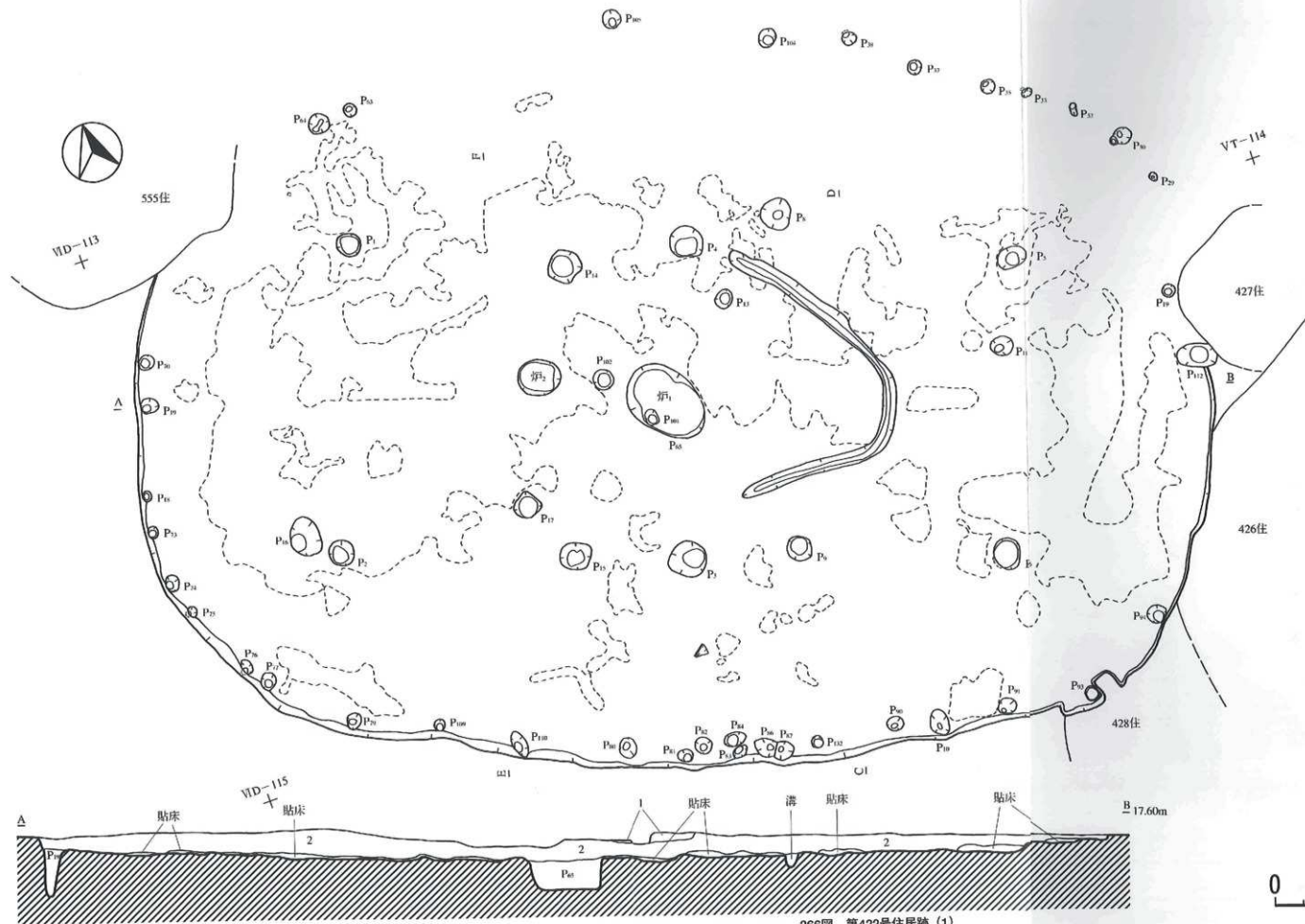
〔堆積土〕 黒褐色を基調とする。2層に分層した。遺物の出土状態より、第1層は住居廃絶後から榎木林式期まで連続して廃棄層が形成されたものと考えられる。

〔出土遺物〕 床面から第II群2、3、5、6類、第2層から第III群4、5、6、8類、その他の堆積土から第II群5類、第III群2、4、5、8、11類土器が出土した。石器は床面から敲磨器類、石皿・台石類などが、貼り床から石織、石匙、石錐、敲磨器類、挟入扁平磨製石器などが、床面直上から石織、スクレイパー類、玉髄原石、敲磨器類、半円状扁平打製石器、角柱状の礫石などが、

第3層から石鏃、石匙、石錐、スクレイパー類、石核、敲磨器類などが、第2層から石鏃、石槍、石匙、石錐、石筥、スクレイパー類、R. フレイク、異形石器、磨製石斧、敲磨器類、半円状扁平打製石器、石皿・台石類、砥石などが、第1層から石核、半円状扁平打製石器、石皿・台石類などが、その他の堆積土から石鏃、石匙、石錐、スクレイパー類、R. フレイク、石核、敲磨器類、半円状扁平打製石器、石棒、角柱状の礫・礫石器などが、確認面から石棒類などが出土、ビット7の柱痕跡から石錐、堆積土から石鏃などが出土した。なお238は欠損部分が大きく、器種認定を保留したが、半円状扁平打製石器やその素材である可能性がある。また、堆積土からミニチュア土器、石製品、土偶が出土した。

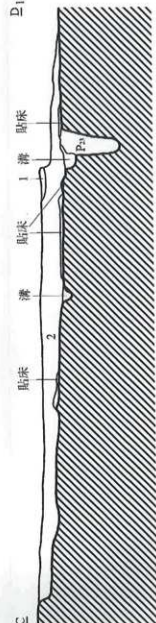
〔時期〕 床面、貼り床中、ビット堆積土出土遺物から、縄文時代前期末葉（円筒下層d<sub>1</sub>式期）と思われる。

（秦 光次郎）

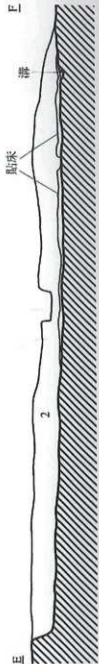


266图 第422号住后跡 (1)

D 17.60m

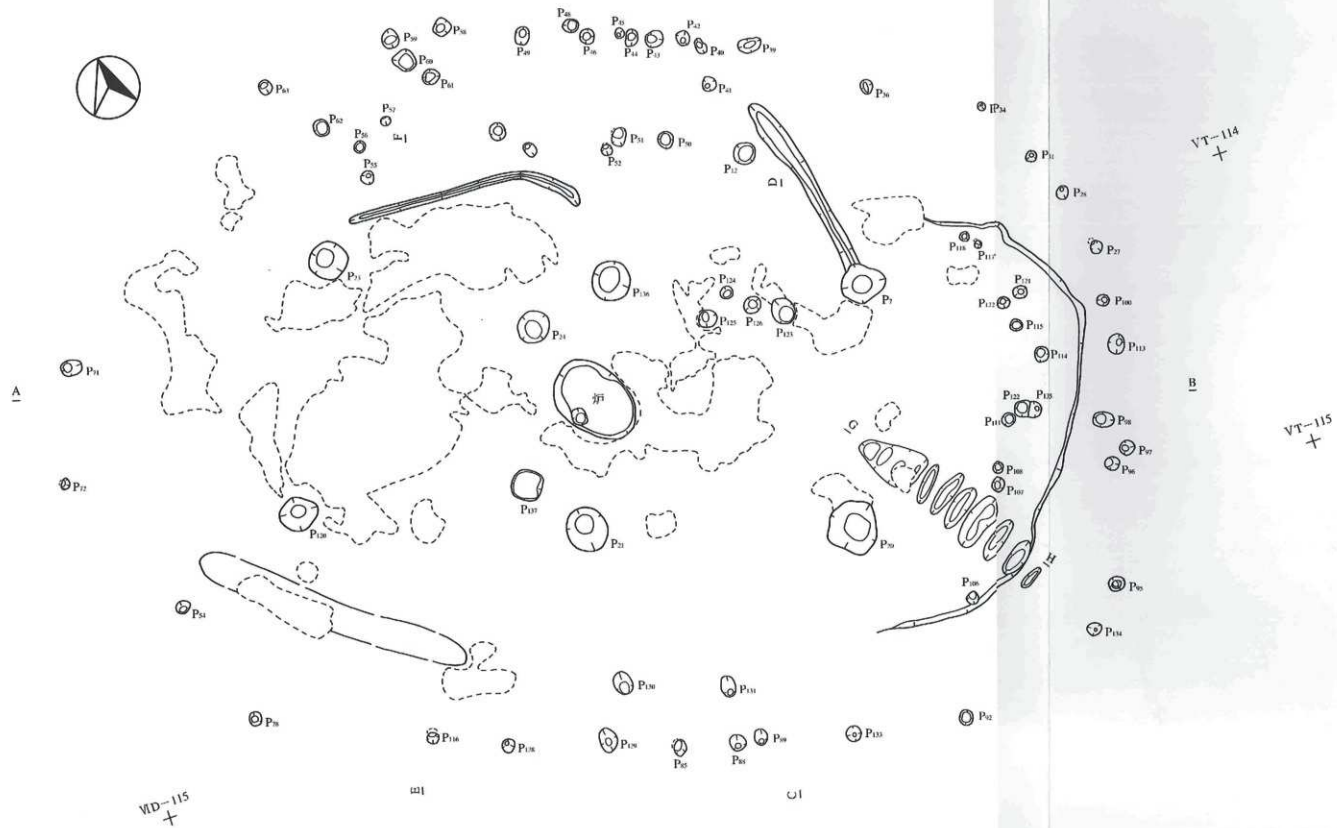


E 17.60m



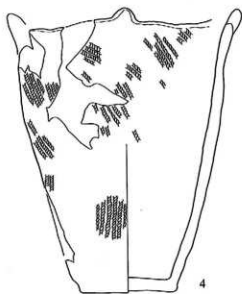
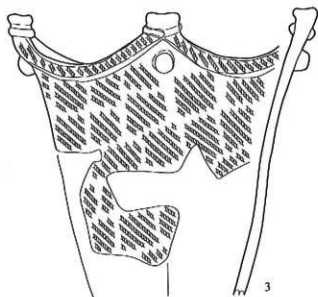
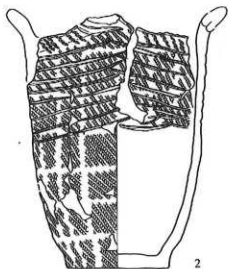
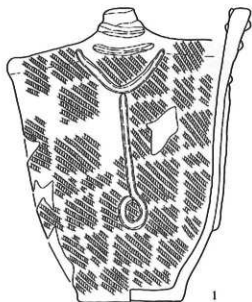
第422号住后跡  
 第1層 灰白色土 10YR3/2 灰白色、褐色土少量、地土相違。  
 第2層 黑褐色土 10YR3/2 灰白色少量、粘土、褐色土、明灰褐色土少量。

0 4m



第422号遗址 剖面图  
 第1层 黄褐色土，0.9-0.75 以—土较多，黄褐色土，有石砾层。

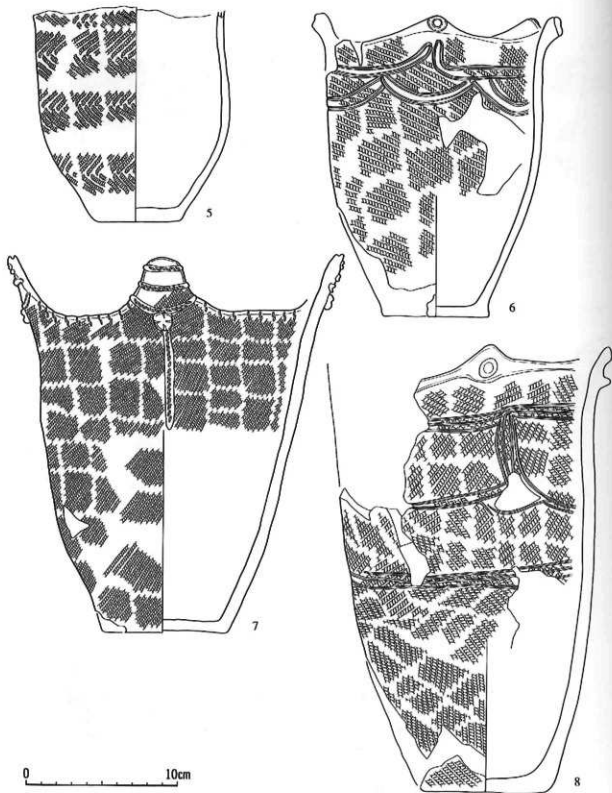
267图 第422号住居跡 (2)



0 10cm

番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調査	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	422住	2	貼付	RL, 貼付 *, 沈線	RL	ナデ	無文	Ⅲ-4	穴総は2箇所のみ
2	○	○	尖形部に貼付, RI, 押	*, 沈線	*	ミガキ	*	Ⅲ-5	
3	○	○	RL, 貼付	RL	*	*	*	Ⅲ-6	
4	○	○	RI,	*	RI,	ナデ	無文	*	

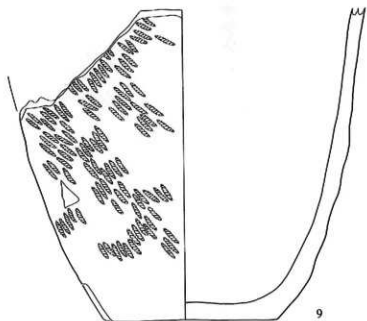
268図 第422号住居跡出土遺物 (1)



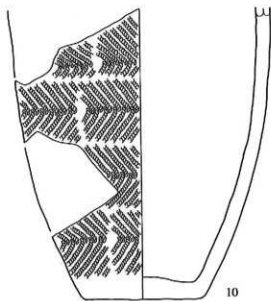
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面文様	底刺	分類	備考
			口襟部	胴部上半	胴部下半				
5	422住	2			斜刺第一直 (L.R, RL)	ミガキ	無文	Ⅱ-6	
6	*	*	斜付、RL	RL、沈織	RL	*	*	Ⅱ-8	3単位の流状口襟
7	*	1	* (LR押)、LR押	LR	LR	*	*	Ⅱ-6	
8	*	確認面	円形の凹み	*、沈織	*	*	*	Ⅱ-8	3単位の流状口襟

269図 第422号住居跡出土遺物 (2)





9

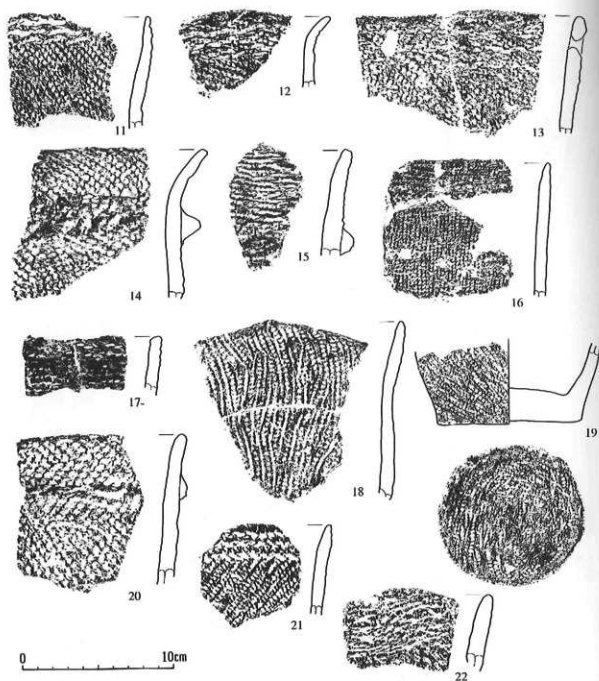


10

0 10cm

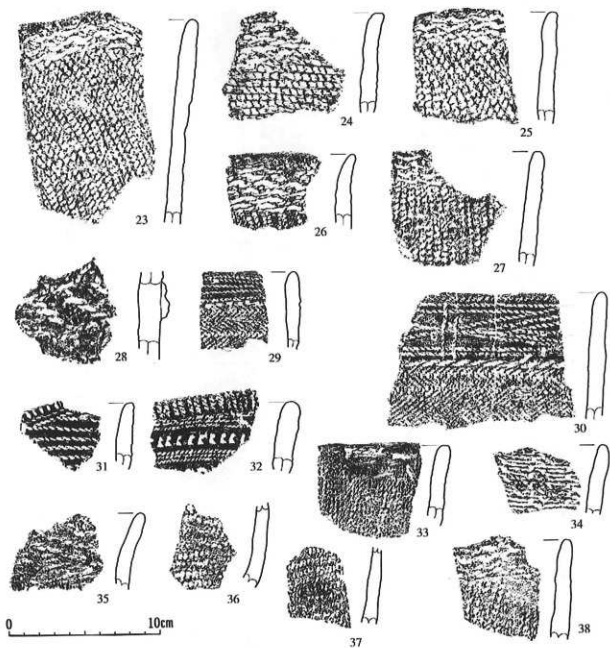
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
9	422住	破認面		IR		ミ方子	黒文	Ⅲ	
10	*	堀横土			粘電帯一種 (LR, RL)		*	Ⅲ-6	

270図 第422号住居跡出土遺物 (3)



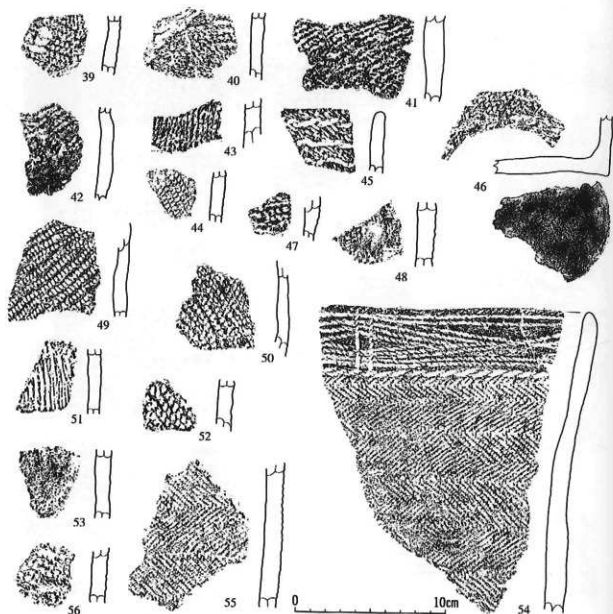
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
11	422住	床面	R結回	RLR		ミガキ		Ⅱ-2	
12	○	○	○	○		○			口縁部くびれ
13	○	○	LR結回			○			補修孔
14	○	○	RLR	投帯(RLR押)、RLR		○			Ⅲ-3
15	○	○	R単輪I			○			
16	○	○	R押	結束第一織、RL		○			Ⅱ-5-1
17	○	○	LR押			○			○
18	○	○	LR+RLR			○			○
19	○	○			RRL	○	RRL		Ⅱ-6
20	○	床直	RLR	投帯、RLR		○			Ⅱ-2
21	○	○	LR、LR押			○			
22	○	○	R結回			○			○

271図 第422号住居跡出土遺物(4)



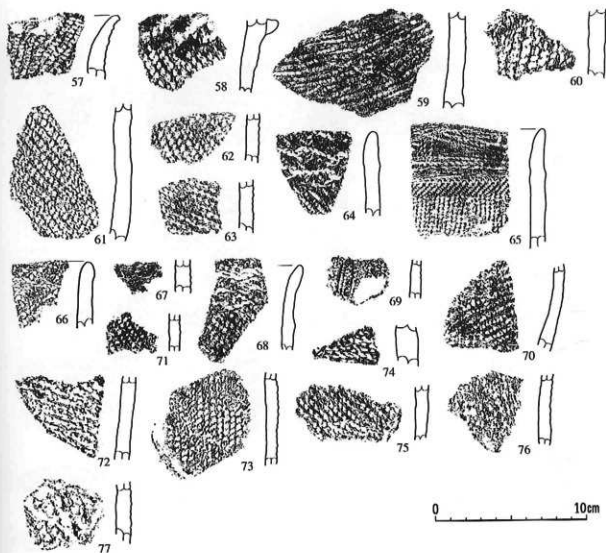
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
23	422住	床面	RLR、R結目			ミ方キ		II-2	
24	*	*	*			*	*		
25	*	*	R結目	RLR		*	*		
26	*	*	*	L単結1		*	*	II-3	
27	*	*	*	RLR		*	*		
28	*	*		咬帯 (RI押)		*	*		
29	*	*	LR押、刺突	結束第一種		*	*	II-5-1	
30	*	*	L押	*		*	*		
31	*	*	LR押			*	*		口唇部上面割み
32	*	*	R押、刺突			*	*	II-5-2	* R押
33	*	*	L単結1			*	*	II-5	
34	422住' 11	床下土	R単結6A			*	*	II-3	P-5
35	*	*	單結17			*	*		P-1
36	*	*			LR	*	*	II-6	P-2
37	*	*			LR?	*	*		P-3
38	422住' 12	*	R結目	RLR		*	*	II-3	P-1

272图 第422号住居跡出土遺物 (5)



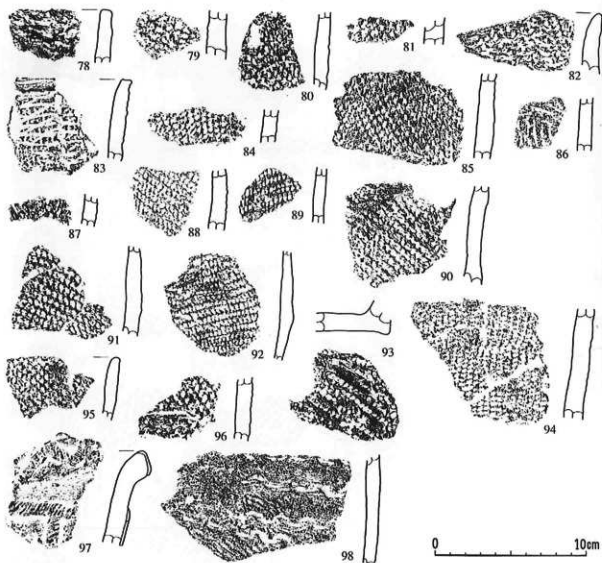
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
39	422住c>12	単積土	R捺回	RLR		ミ方キ		II-6	
40	*	*		単捺17		*	*	*	
41	422住c>13	*		LR		*	*	*	P-14
42	*	*		L.R?		*	*	*	
43	*	*		LR平捺1		*	*	*	P-15
44	*	*		*		*	*	*	P-10
45	422住c>14	*	撫灰織文? R捺回			*	*	II-2	P-1
46	422住c>16	塵の上			単捺1	*	無文	II-6	P-1
47	*	*		L.単捺1		*	*	*	P-2
48	*	単積土		単捺1		*	*	*	P-10
49	422住c>17	住家跡		LR		*	*	*	P-4
50	*	*		RLR		*	*	*	P-3
51	422住c>18	塵の上		R平捺1		*	*	*	P-14
52	*	住家跡		RLR		*	*	*	P-12
53	*	*		不明		*	*	*	P-13
54	*	地積土	I.押、胴部RL押	胡安帯 1隻 (L.R, RL)		*	*	II-5-1	55と同一個体
55	*	*		* ( * )		*	*	*	P-4
56	*	*		RLR		*	*	II-6	P-11

273図 第422号住居跡出土遺物 (6)



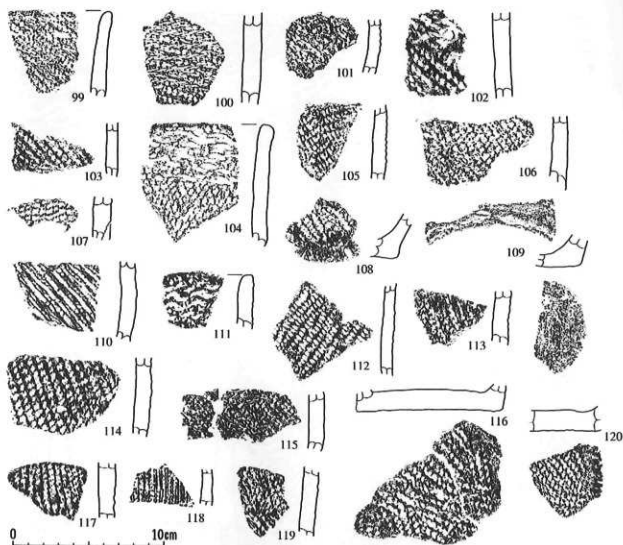
番号	出土地点	出土层位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口部	胴部上半	胴部下半				
57	422住' 111	堆積土	LR			四方弁		II-3	
58	422住' 114	*		菱着 (RLR押), RLR		*		II-6	
59	*	*		LR		*		*	
60	*	*		RLR		*		*	
61	*	*		*		*		*	
62	422住' 117	*		*		*		*	
63	*	*		*		*		*	
64	422住' 118	*	RRR、L筋面			*		II-2	
65	*	*	LR押	結束部一様、RLR		*		II-5-1	P-3
66	*	*	LR?			*		II-6	P-1
67	*	*		縄文		*		*	P-2
68	422住' 120	*	RLR、R筋面			*		II-3	P-15
69	*	*		LR		*		II-6	P-11
70	*	*			LR	*		*	P-16
71	*	*		RLR		*		*	P-12
72	*	*		*		*		*	P-9
73	*	*		*		*		*	P-6
74	*	*		*		*		*	P-7
75	*	*		*		*		*	P-1
76	*	*		平結1?		*		*	P-14
77	*	*		*		*		*	P-10

274图 第422号住居跡出土遺物 (7)



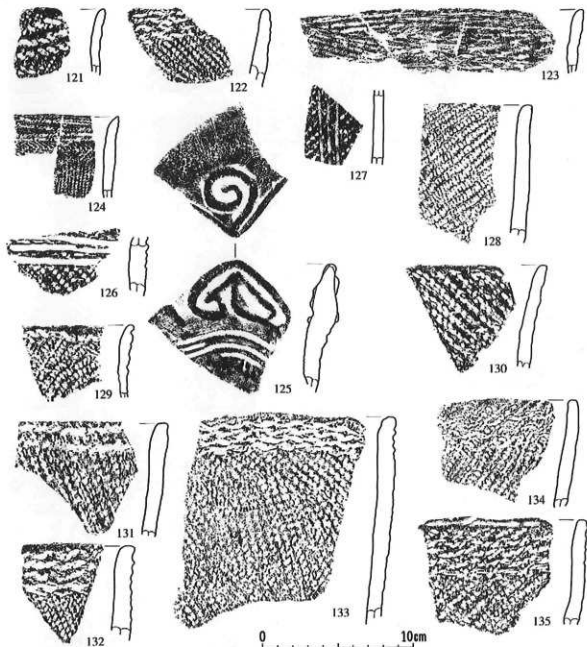
番号	出土地点	出土層位	外 面 支 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
78	422Ⅱc' r121	柱痕跡	結圓			ニ方弁		Ⅱ-2 P-1	
79	*	*		RLR		*		Ⅱ-6 P-2	
80	*	*		*		*		P-5	
81	*	堆積土		RLR?		*		P-4	
82	422Ⅱc' r123	*	RLR、17結圓			*		Ⅱ-2 P-5	
83	*	*	R單縁S? R1押			*		Ⅱ-3 P-7	
84	*	*		RLR		*		Ⅱ-6 P-2	
85	*	*		*		*		P-3	
86	*	*		厚縁1		*		P-4	
87	*	*		*		*		*	
88	422Ⅱc' r127	*		RLR		*		*	
89	422Ⅱc' r141	*		LR		*		*	
90	422Ⅱc' r149	*		RLR		*		*	
91	*	*		*		*		*	
92	422Ⅱc' r150	*		LR		*		*	
93	422Ⅱc' r152	*					LR	*	
94	422Ⅱc' r153	*		RLR		ニ方弁		*	
95	422Ⅱc' r156	*	RLR			*		*	
96	422Ⅱc' r162	*			RLR	*		*	
97	422Ⅱc' r164	*	貼付 (L單縁1)			*		Ⅱ-4	
98	*	*		RL、L結圓		*		Ⅱ-6	

275図 第422号住居跡出土遺物 (8)



番号	出土地点	出土單位	外 面 文 様			内面調整	底面	分級	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
99	422住跡102	埴谷土	RRL, LR押			ミガキ	II-2		
100	422住跡104	埴谷土		RLR, R単筋5		*	II-6	P-2	
101	*	*		RLR		*	*	P-4	
102	*	*		*		*	*	P-1	
103	*	*		*		*	*	P-1	
104	422住跡120	*	RLR, R結圓			*	II-2	P-1	
105	*	*		LR		*	II-6	P-3	
106	*	*		RRLR		*	*	P-2	
107	*	*		*		*	*	P-4	
108	*	*			RLR	*	*		
109	422住跡129	*			無文?	*	無文	P-1	
110	422住跡136	埴谷土		単筋1		*	*	P-1	
111	422住跡	粘土	RLR, R結圓			*	II-2	P-30	
112	*	*		LR		*	II-6	P-34	
113	*	*		L単筋1		*	*	P-53	
114	*	*		RRLR		*	*	P-45	
115	*	*			LR単筋1	*	*	P-36	
116	*	*					RLR	P-7	
117	*	I		RLR		ミガキ	*	P-40	
118	*	*		R単筋1		*	*	P-140	
119	*	*		LR単筋1		*	*	P-40	
120	*	*					RLR	*	

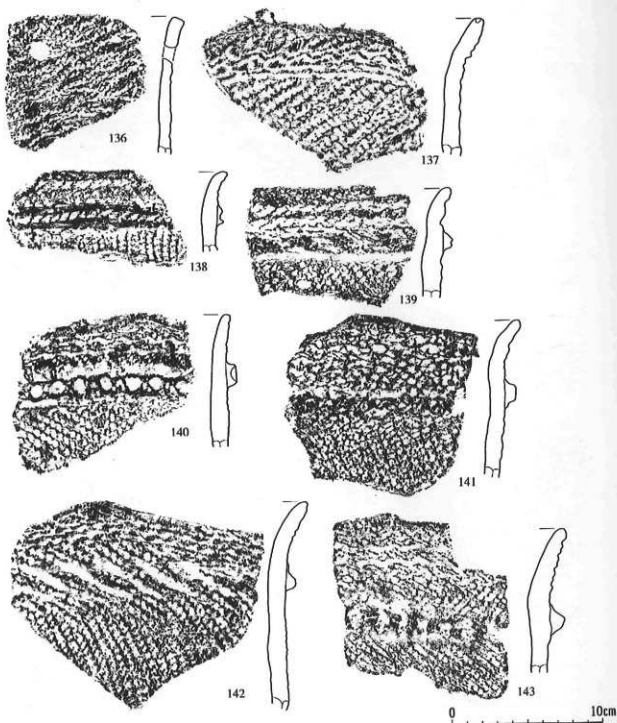
276图 第422号住居跡出土遺物(9)



序号	出土地点	出土层位	外 面 文 饰			内面调整	底面	分期	备 考
			口缘部	肩部上半	肩部下半				
121	422住	梁床内	LR押			ミ方斗		Ⅱ-2	
122	*	*	RLR, R结回			*	*		
123	*	*	单捺1押			*	*	Ⅱ-5-1	
124	*	*	R押	结束第一種、RL		*	*		
125	*	*	贴付、沈線			*	*	Ⅲ-5	内附: 6通巻状贴付
126	*	*		RL、沈線		*	*		
127	*	*		*		*	*	Ⅲ-9	
128	*	2	LR			*	*	Ⅱ-2	
129	*	*	RLR、LR押			*	*		
130	*	*	LR、*			*	*		
131	*	*	RLR、RLR押			*	*		
132	*	*	*、R结回			*	*		
133	*	*	*			*	*		
134	*	*	LR、R结回			*	*		
135	*	*	*			*	*		

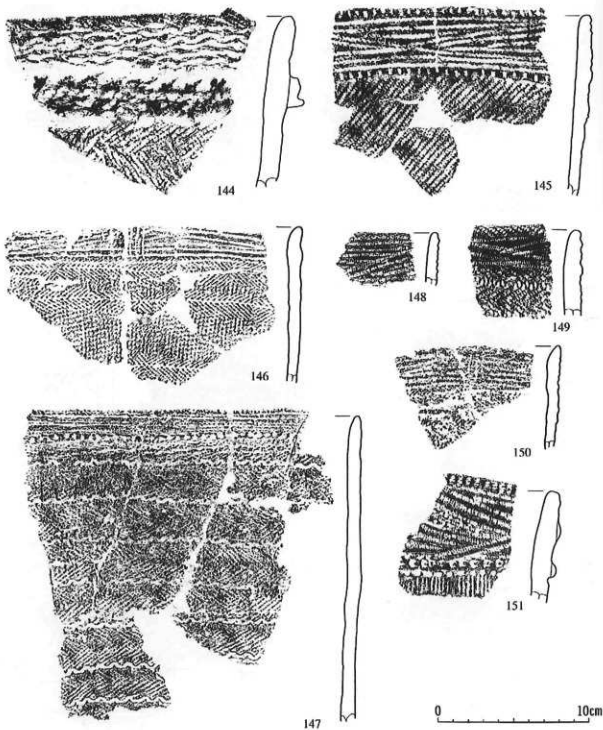
277图 第422号住居跡出土遺物 (10)





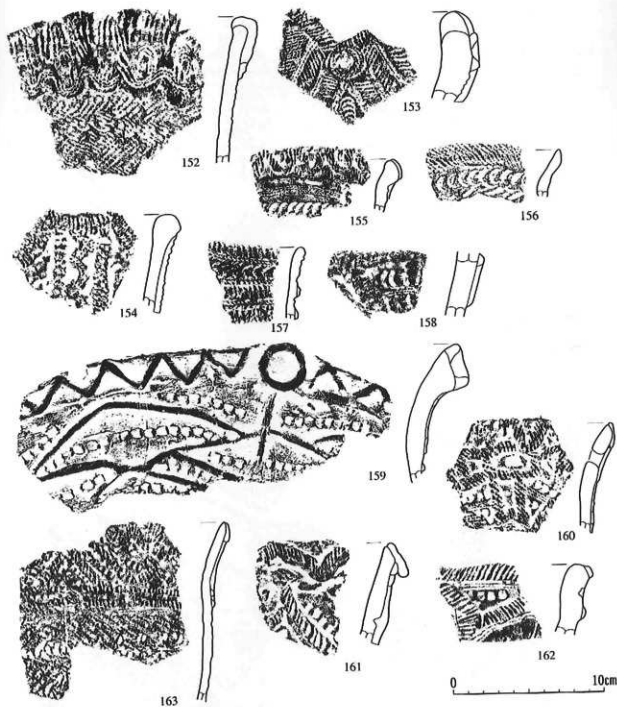
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴上半	胴下半				
136	422住	2	R結圓、襷形孔			ミ方キ		II-2	
137	*	*	LR、R結圓、LR押			*	*	*	波重部に円孔
138	*	*	LR半結圓、RLR押	鳥形 (RLR押)、LR半結圓		*	*	*	
139	*	*	RLR、RLR押	* (*), RLR		*	*	*	
140	*	*	LR結圓	* (斜交)	*	*	*	*	割裂は拍摺、水跡有
141	*	*	LR結圓	*		*	*	*	
142	*	*	RLR、結圓	* (RLR押)、*		*	*	*	
143	*	*	L結圓	* (RLR押)、*		*	*	*	波重上部に扉形拍摺

278図 第422号住居跡出土遺物 (11)



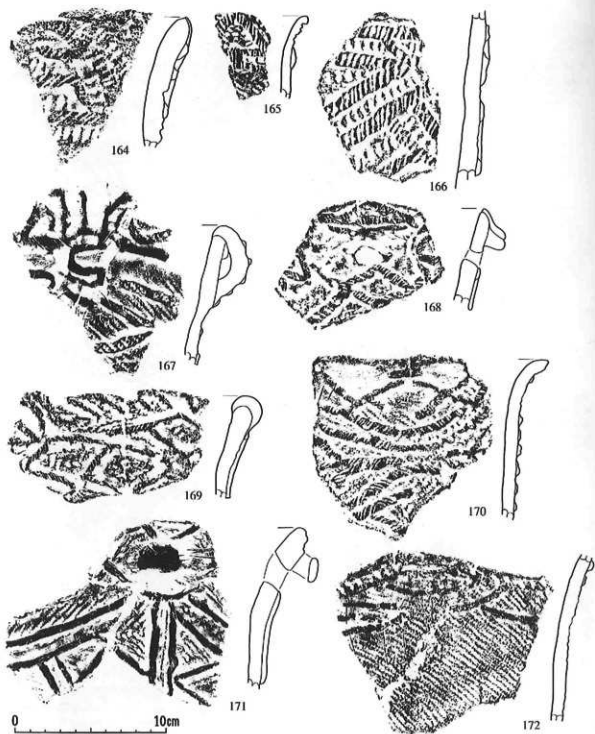
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面修整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
144	422住	2	R乱回	残帯 (RLR押), RI		ミガキ	II-3	地文は同一産物の羽次	
145	○	○	LR押、須部仁刺突	LR		○	II-5-1		
146	○	○	反押	葉草目一種, LR草目		○	○		
147	○	○	L押、刺突	○, L乱回		○	○		
148	○	○	R草目押			○	○		
149	○	○	○	結束第一種		○	○		
150	○	○	R押	○		○	○		
151	○	○	R草目押、馬村(刺突)	須段寄(刺突), L草目		○	II-5-2		

279図 第422号住居跡出土遺物 (12)



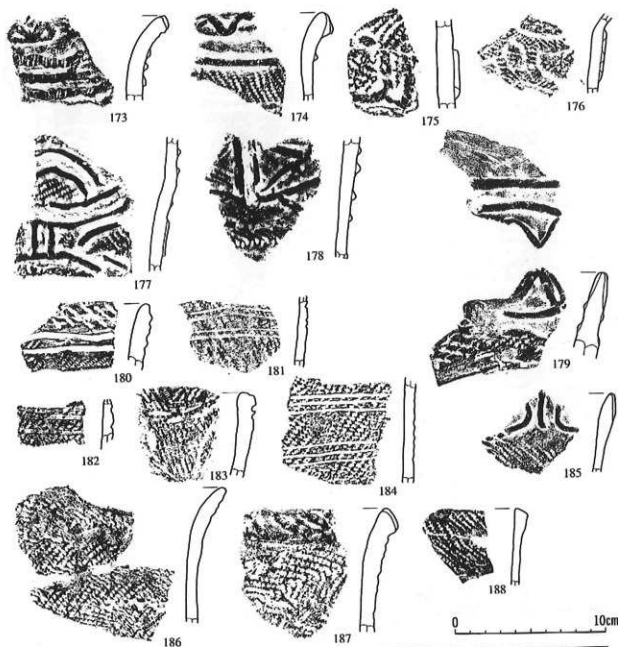
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
152	422住	2	面付 (深押、L押)	結葉第一横		ミ方キ		Ⅲ-1	
153	*	*	* (深押) (L、R押)			*	*	Ⅲ-2	
154	*	*	* (L押)、L押			*	*	*	
155	*	*	* (L押) (L、R押)			*	*	*	
156	*	*	L押 (L、R押)			*	*	*	
157	*	*	面付 (深押) (L、R押)			*	*	*	
158	*	*	面付、L押			*	*	*	
159	*	*	*、刺突			*	*	Ⅲ-3	
160	*	*	面付 (L押) (L、R押)、刺突			*	*	*	貫通孔
161	*	*	* (L、R押)、刺突	結葉第一横		*	*	*	
162	*	*	* (割頭)			*	*	*	
163	*	*	* (L押)、L、R押			*	*	*	

280图 第422号住居跡出土遺物 (13)



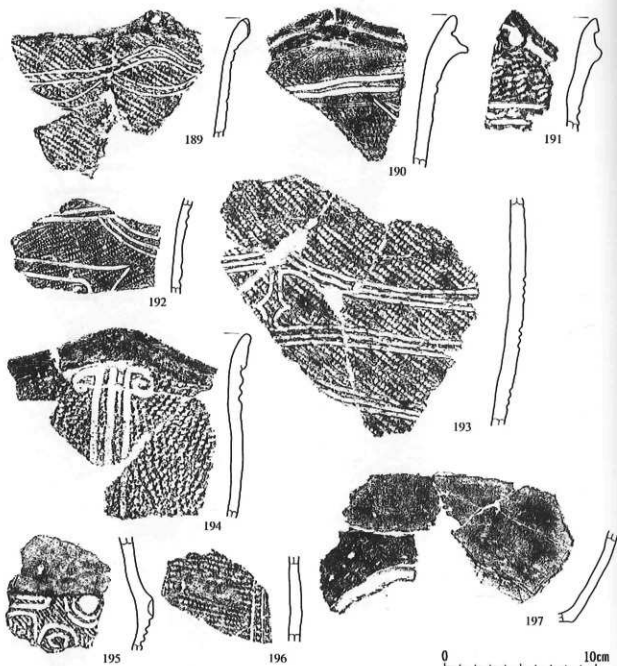
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面割罫	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
164	422住	2	貼付(刻み)、刺突			ミガキ	Ⅲ-3		
165	〃	〃	〃(L.半縁1)、〃	RL.7		〃	〃	〃	
166	〃	〃	〃(刻み)、〃			〃	〃	〃	
167	〃	〃	〃(RL)、RL	RL、貼付		〃	Ⅲ-4	〃	
168	〃	〃	〃(L.押)、貫通孔			〃	〃	〃	
169	〃	〃	〃(刻み)			〃	〃	〃	
170	〃	〃	〃(RL.2)	結束第一條、貼付		〃	〃	〃	
171	〃	〃	結束第一條、貼付			〃	〃	貫通孔	
172	〃	〃	RL.押、RL、貼付	RL		〃	〃	〃	

281图 第422号住居跡出土遺物(14)



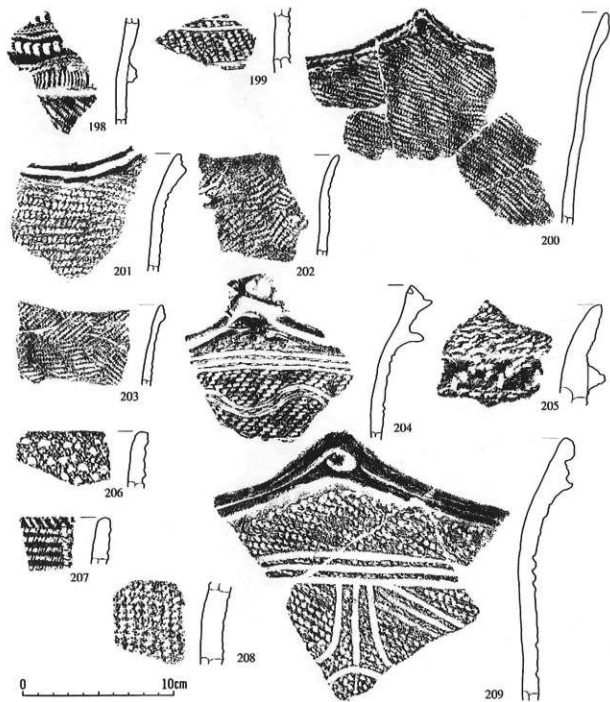
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
173	422住	2	貼付(L押)			ミ方半		Ⅲ-4	
174	*	*	貼付	RL、貼付		*	*	*	
175	*	*		筋束第一種、貼付(筋束)		*	*	*	
176	*	*		LR? 貼付(R半筋1)		*	*	*	
177	*	*		筋束第一種、貼付		*	*	*	
178	*	*		*		*	*	*	
179	*	*	貼付、R押、LR、沈線			*	*	Ⅲ-5	内面に6貼付
180	*	*	LR押、LR、沈線			*	*	*	
181	*	*		RL、沈線		*	*	*	
182	*	*		*		*	*	*	
183	*	*	縄押、RL、沈線			*	*	*	
184	*	*		RL、沈線		*	*	*	
185	*	*	貼付、RL			*	*	Ⅲ-6	
186	*	*	筋束第一種(LR、RL)			*	*	*	
187	*	*	*			*	*	*	
188	*	*	RL			*	*	*	

282図 第422号住居跡出土遺物 (15)



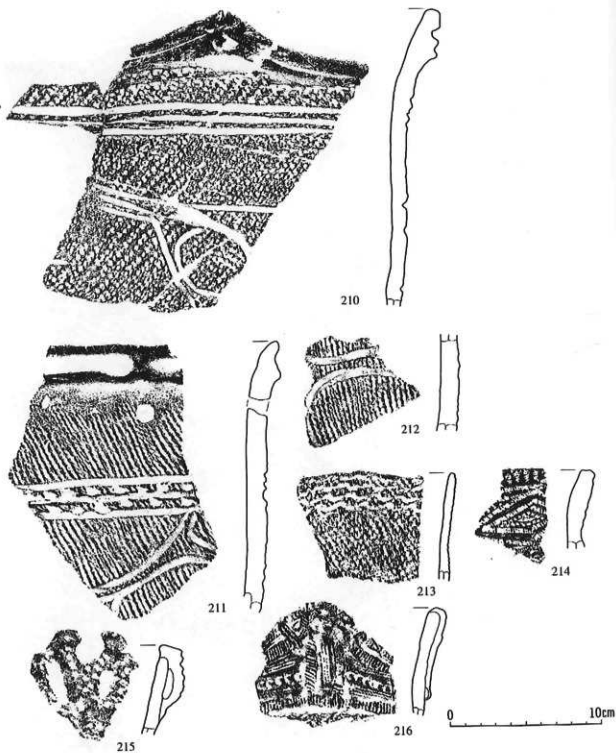
番号	出土地点	出土部位	外面文様			内面調査	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
189	422住	2	貼付、RL、沈線	RL、沈線		ミ方弁		Ⅲ-5	
190	*	*	凹状沈線	横文?沈線		*		Ⅲ-8	
191	*	*	*	RL、沈線、刺突		*		*	
192	*	*		*, 沈線		*		*	
193	*	*		LR、*		*		*	
194	*	*	基文帯	RL、*		*		Ⅲ-9	
195	*	*	*	LR、沈線、凹形刺突		*		*	
196	*	*		縄文、沈線		*		*	
197	*	*			無文	*		Ⅲ-11	

283图 第422号住居跡出土遺物 (16)



番号	出土地点	出土部位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
198	422住	I	当目(乱草状), L・R押	RL, 沈線		ミガキ	Ⅲ-2		
199	〃	〃		RL, 沈線		〃	Ⅲ-5		
200	〃	〃	RL押, RL	RL		〃	Ⅲ-6		
201	〃	〃	沈線, LR	LR		〃	〃		
202	〃	〃	〃	〃		〃	〃		
203	〃	〃	LR			〃	〃		
204	〃	〃	凹状沈線	RL, 沈線		〃	Ⅲ-8	波崩れ内面に割突	
205	〃	確認面	乱草目	陰帯 (RLR押)		〃	Ⅱ-3		
206	〃	〃	和R, 厚唇末縁割突			〃	〃		
207	〃	〃	R縁粘り押			〃	Ⅱ-5-1		
208	〃	〃		RLR		〃	Ⅱ-6		
209	〃	〃	凹状沈線	〃, 沈線		〃	Ⅲ-8		

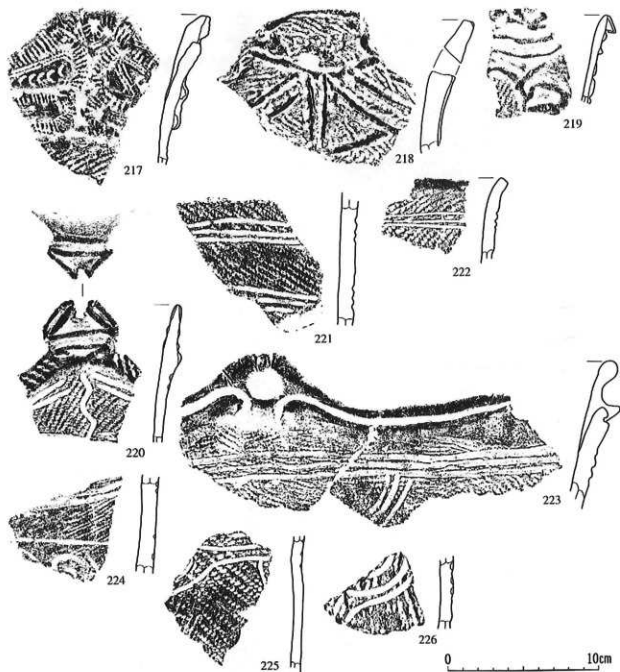
284图 第422号住居跡出土遺物 (17)



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面陶装	底面	分積	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
210	422住	確認面	円状沈線	RLR、沈線		ミガキ	Ⅲ-8		
211	○	○	○	R半筋1、沈線、刺突		○	○	踏跡孔	
212	○	○	○	○、沈線		○	○		
213	○	埋積土	RL、R結回			○	Ⅱ-2		
214	○	○	R半筋1押、刺突			○	Ⅱ-5-1		
215	○	○	楕状把手、○			○	Ⅱ-5-2		
216	○	○	星形(L半筋1)、L押			○	Ⅲ-2		

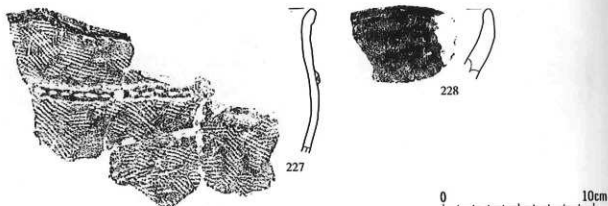
285図 第422号住居跡出土遺物(18)



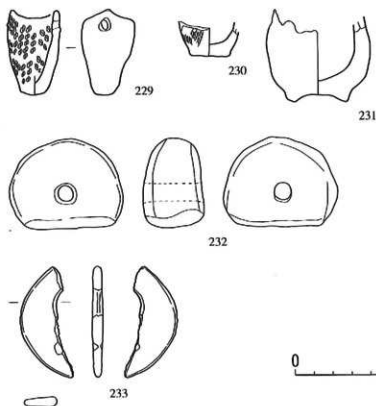


序号	出土地点	出土部位	外 面 文 様			内面纹饰	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
217	422住	堆積土	口縁部			ミ方平		Ⅲ-2	
218	〃	〃	肩付(丸卓縁?), L・R押			〃		Ⅲ-4	
219	〃	〃	底面第一條、肩付、直線孔			〃		〃	
220	〃	〃	肩付、RL押	RLR、沈線		〃		Ⅲ-5	
221	〃	〃		RL、〃		〃		〃	
222	〃	〃	LR、沈線			〃		〃	
223	〃	〃	凹状沈線	LR、沈線		〃		Ⅲ-8	
224	〃	〃				〃		〃	
225	〃	〃				〃		〃	
226	〃	〃		LR卓縁1、沈線		〃		〃	

286图 第422号住居跡出土遺物(19)



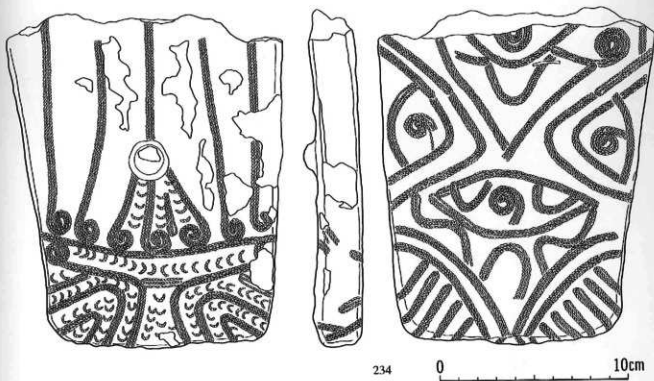
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
227	422住	堆積土	LR、貼付(刺突)	LR		ミガキ		Ⅲ-11	波状口縁
228	*	*	黒文			*		Ⅲ	碗形



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調査	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
229	422住	堆積土	RLR、黄滷孔		RLR		丸底状	Ⅱ-14-A	横断面内凹形
230	*	*			LR		無文	*	
231	*	*			黒文	*	*	*	台付状

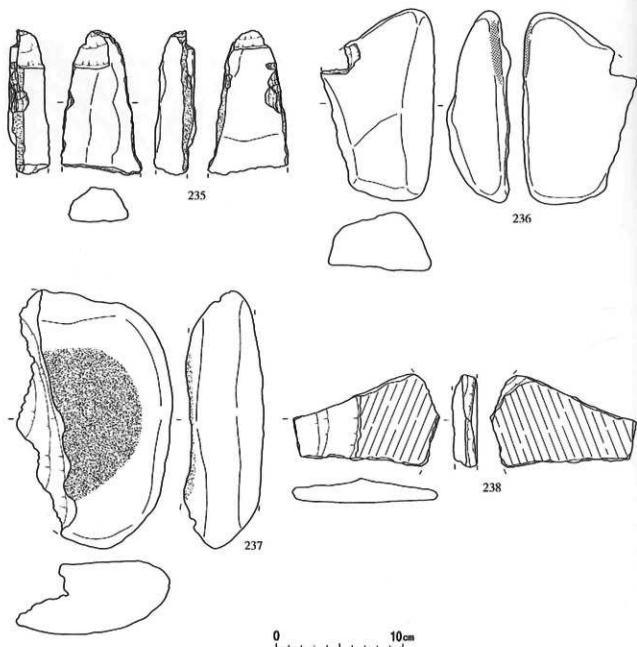
番号	出土地点	出土層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	材質	備 考	整理番号
232	422住	堆積土	49	61	32	24	埴	有孔石製品	2828
233	*	*	60	26	6	11	凝	垂筒?	3697

287図 第422号住居跡出土遺物(20)



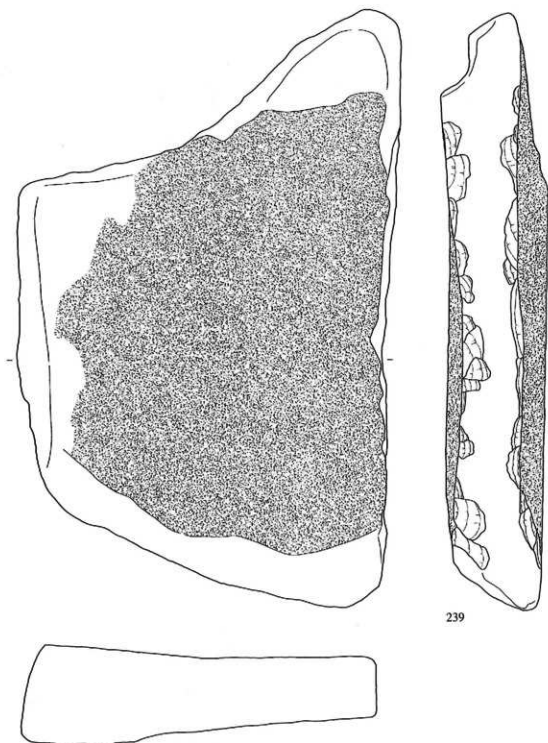
番号	出土地点	層位	計測値 (cm)			文様		時期	備考
			長さ	幅	厚さ	表面	裏面		
234	405住	地積土	(4.0)	(3.4)	1.2	L押	L押	土偶臀部	

288図 第422号住居跡出土遺物 (21)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
235	422住	床面	(114)	(68)	(33)	(202.8)	凝	lc	ⅤB-114, S-246	43967
236	*	*	152	(90)	49	(709.4)	安	lb	ⅤA-114, S-233	44029
237	*	*	(203)	(123)	(63)	(1000.0)	*	L	ⅤB-114, S-219	44028
238	*	*	(72)	(115)	(20)	(175.9)	*	Q	ⅤC-113, S-204	43932

289図 第422号住居跡出土遺物 (22)

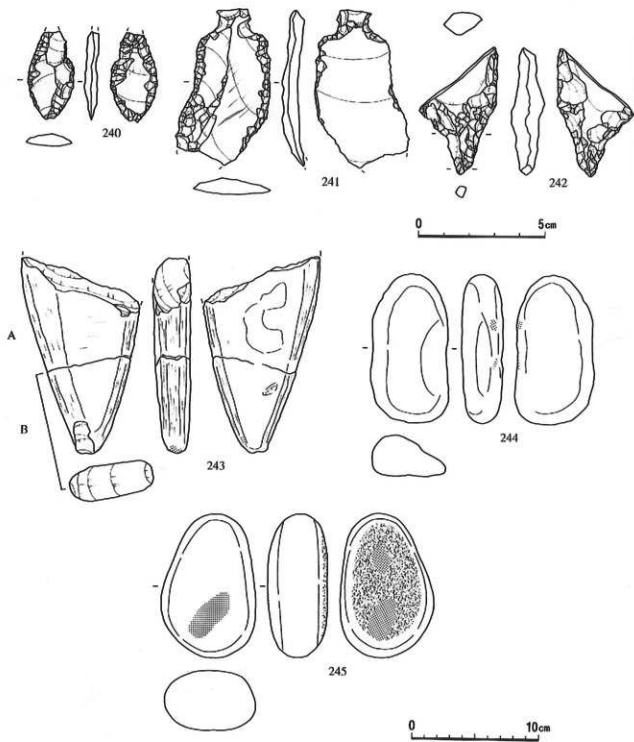


239

0 10cm

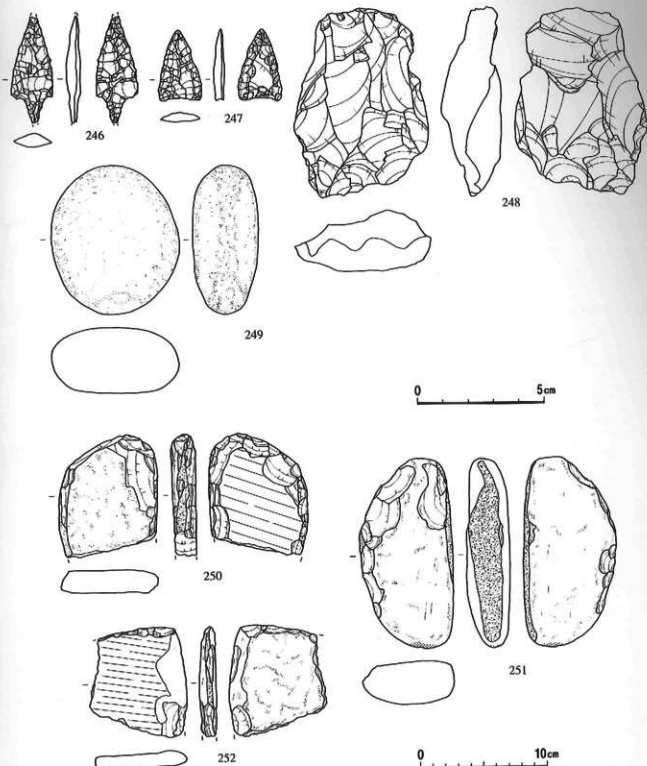
图版番号	出土地点	层位	长 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
239	422住	床面	467	300	87	14200	安	L		41979

290图 第422号住居跡出土遺物 (23)



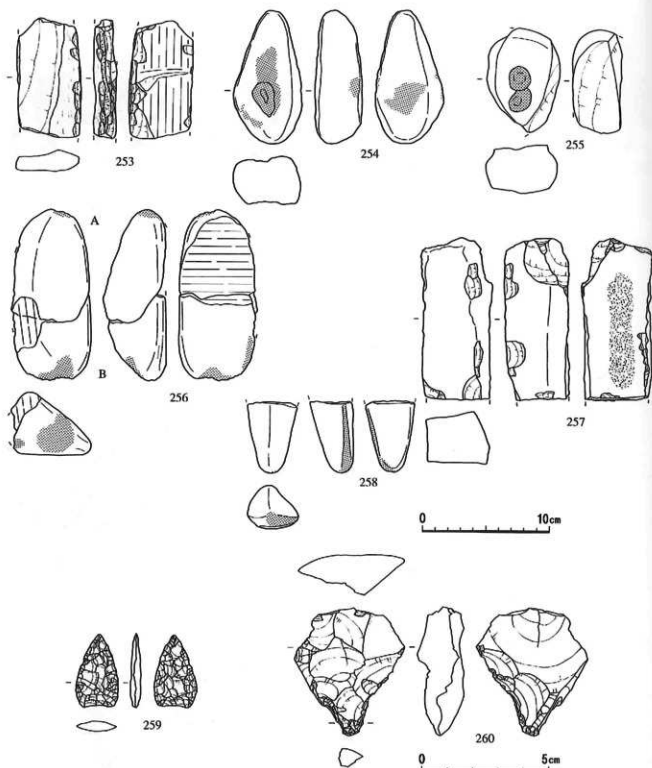
图版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	標	考	修理番号
240	422住	貼床下	(35)	18	5	(2.4)	玢頁	Ac	ⅧC-114, S-15		52164
241	*	*	(62)	37	(9)	(13.3)	*	Cc	ⅧA-114, S-6		52165
242	*	*	50	31	13	12.7	*	Db	ⅧB-113		52990
243A	*	堆積土	(156)	(93)	(29)	(338.0)	安	K	ⅧB-113, S-7		43742
243B	*	貼床下				169.5					43934
244	*	*	117	62	32	321.0	流	lb	ⅧB-114, S-16		43905
245	*	*	114	75	47	609.5	安	*	ⅧA-114, S-17		43972

291图 第422号住居跡出土遺物 (24)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	整理番号
246	422住	床面	(42)	16	6	(2.6)	珪頁	Aa	ⅤB-113, S-114	52152
247	*	*	28	17	4	1.5	*	Af	ⅤA-115	52167
248	*	*	76	54	24	88.3	*	Ga	石炭?ⅤC-114, S-184	49004
249	*	*	59	51	26	114.4	土	Pb	ⅤB-115, S-210	43925
250	*	*	(93)	81	19	(231.3)	瓷	J	ⅤA-113, S-161	44027
251	*	*	150	74	34	576.4	*	lc	ⅤT-115, S-83	43900
252	*	*	(88)	(77)	(13)	(126.6)	*	Q	ⅤB-113, S-184	43963

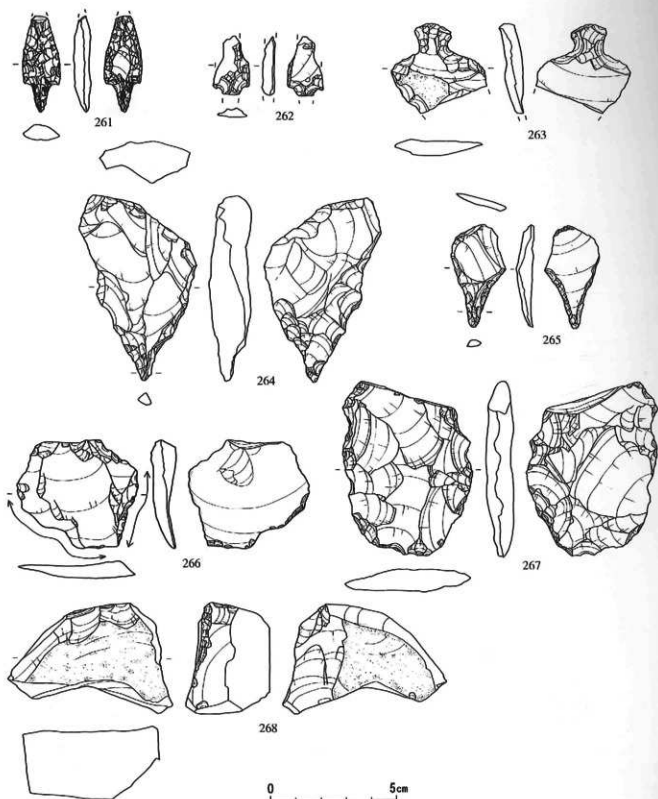
292図 第422号住居跡出土遺物 (25)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備考	登録番号
253	422住	床直	(94)	(51)	(18)	(122.7)	安	J	VIH-115, S-211	43931
254	*	*	105	53	38	236.3	*	Ib	VIA-114, S-96	49022
255	*	*	(82)	(57)	(39)	(157.4)	凝	Ia	VIB-114, S-245	43906
256A	*	2		62		(184.8)		*	S-290	43897
256B	*	床直	135		(49)	(216.1)	安	Ib	*、S-228	43930
257	*	*	(128)	(56)	(50)	(517.9)	凝	Ub	VIA-114, S-53	43899
258	*	*	(56)	(39)	(34)	(73.1)	安	Ib	VIC-114, S-296	43917
259	422住ピット7	地機上	29	16	4	1.8	珉頁	Af	VIA-114, S-1	52166
260	*	柱直	51	44	18	27.0	*	Ib	*	49007

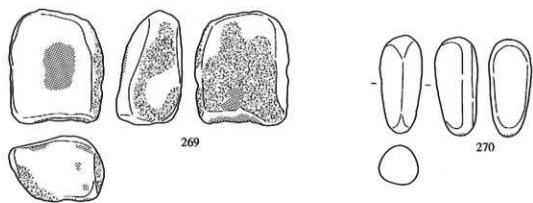
293図 第422号住居跡出土遺物 (26)



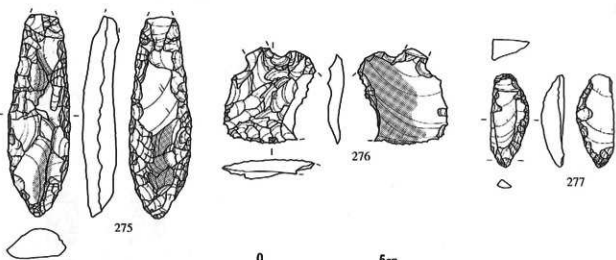
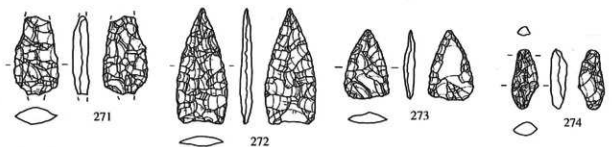


图版序号	出土地点	层位	长 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石质	分期	备注	考	整理序号
261	422住	3	(38)	15	7	(3.3)	绿帘	Aa	VI B-113	*	52156
262	*	*	(23)	(14)	(5)	(1.4)	*	*	*	、横切	40317
263	*	*	(36)	(38)	(9)	(7.5)	*	Cc	*	*	52155
264	*	*	73	46	16	38.1	*	Db	*	*	40336
265	*	*	41	22	7	2.9	*	*	*	*	40361
266	*	*	43	48	10	14.7	*	Ga	*	*	40230
267	*	*	69	52	11	44.2	*	*	*	砾-砾、砾? 上砾-砾	40339
268	*	*	44	65	33	92.5	*	Pa	*	*	40282

294图 第422号住居跡出土遺物 (27)



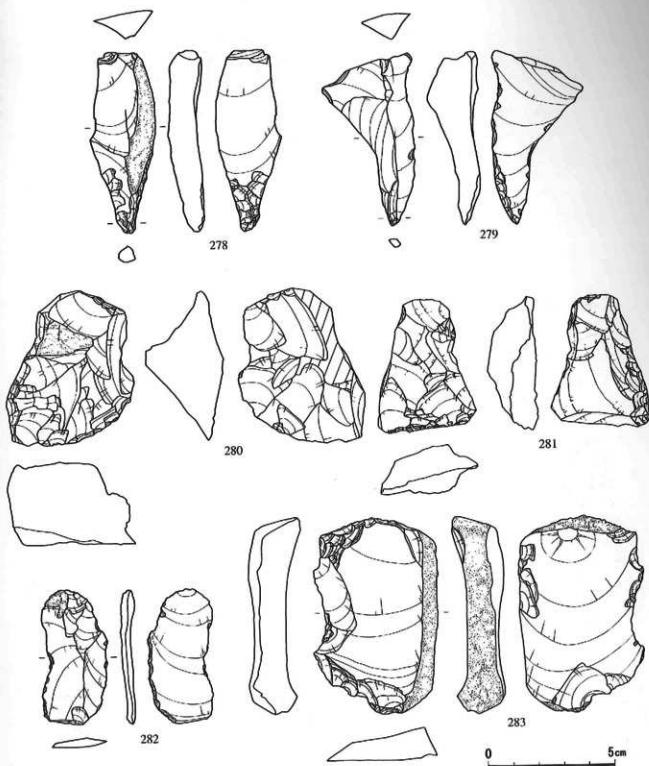
0 10cm



0 5cm

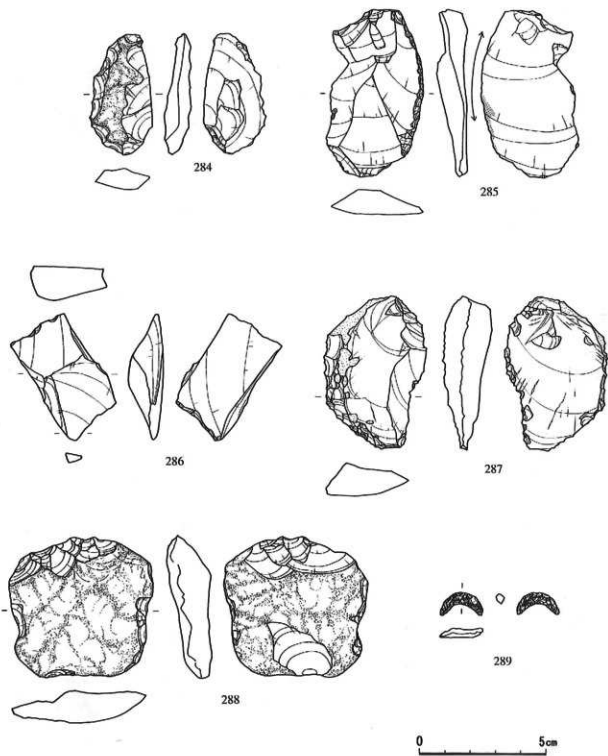
図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	編	考	整理番号
269	422住	3	90	74	51	512.9	安	lb			44021
270	*	*	77	33	33	109.7	*	*	VIB-113		44020
271	*	2	(31)	17	6	(3.9)	珪質	Ab	VIB-114, S-218		52163
272	*	*	46	20	5	3.8	*	Al	VIC-113, S-207		52154
273	*	*	27	18	5	1.7	*	Ac	*		52151
274	*	*	23	10	7	1.4	*	Du	VIB-113, S-133		52149
275	*	*	(80)	24	(13)	(27.6)	*	Ba	VIB-114, S-66		52160
276	*	*	(38)	(36)	8	(8.7)	*	Ch	*	S-11	52292
277	*	*	37	15	9	4.5	*	Ga	*	石皿?	40296

295図 第422号住居跡出土遺物 (28)



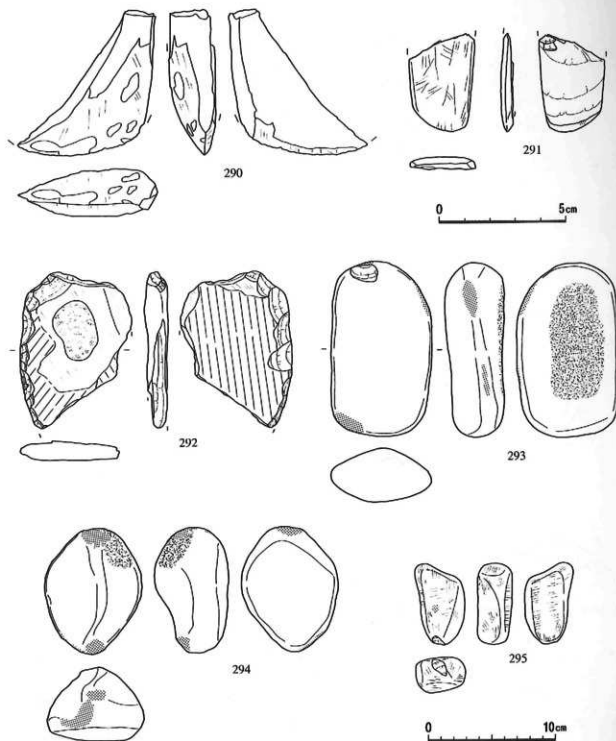
圖版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	材質	分類	備考	整理番号
278	422住	2	72	26	14	19.0	石英	Dh	VI B-113, S-253	52153
279	〃	〃	69	36	20	19.0	〃	Dc	VI C-113, S-206	49006
280	〃	〃	61	50	34	80.6	〃	Eb	VI B-114	40351
281	〃	〃	53	39	19	30.0	〃	Ga	石匙 7, 〃, S-2	40335
282	〃	〃	53	26	6	6.9	〃	〃	VI C-114	40233
283	〃	〃	78	50	21	76.9	〃	〃	VI A-114, S-86	40341

296圖 第422号住居跡出土遺物 (29)



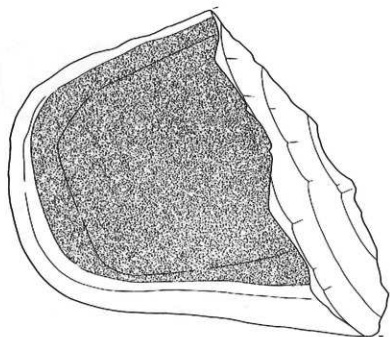
图版番号	出土地点	层位	长 (mm)	宽 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
284	422住	2	48	25	10	10.8	珉頁	Ga	ⅥC-114	40272
285	○	○	66	39	12	22.8	○	○	ⅥA-113	40340
286	○	○	50	42	13	18.3	○	Gb	石Ⅱ?、ⅡA-113、S-303	49005
287	○	○	60	41	19	40.4	○	Ga	ⅥB-113、S-108	52329
288	○	○	56	57	18	56.1	○	Gb	石Ⅱ?、ⅡC-114、S-191	40358
289	○	○	9	17	4	0.3	黒	R	ⅥC-114	52452

297图 第422号住居跡出土遺物 (30)

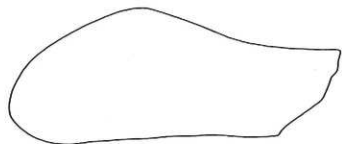


図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備	号	整理番号
290	422住	2	(58)	(55)	(18)	(43.2)	緑凝	11a	VIB-115		40221
291	*	*	(39)	(36)	(5)	(7.0)	結	*	VIB-114, S-289		43903
292	*	*	(124)	(88)	18	(221.4)	安	J	VIA-114, S-235		44009
293	*	*	138	80	47	790.8	*	1b	VIC-114, S-187		44011
294	*	*	100	76	56	458.8	*	*	VIB-114, S-242		43957
295	*	*	64	39	28	91.5	流	Sa	VIB-113, S-303		49026

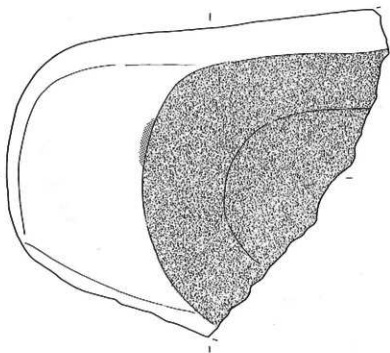
298図 第422号住居跡出土遺物 (31)



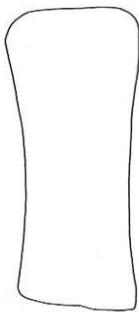
0 10 cm



296

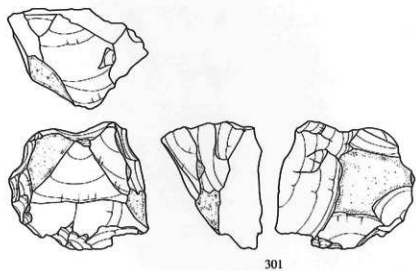
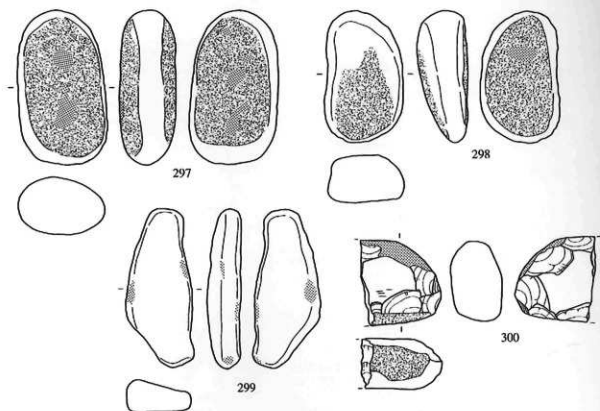


296



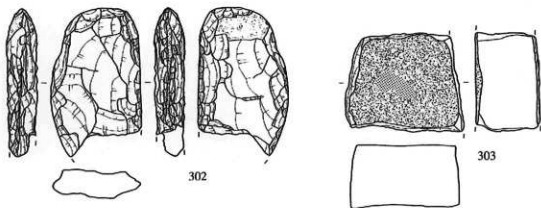
图版番号	出土地点	层位	长 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	附	番	写真番号
296	422住	2	316	172	116	10863	安	L	ⅡB-115, C-3		46193

299图 第422号住居跡出土遺物 (32)

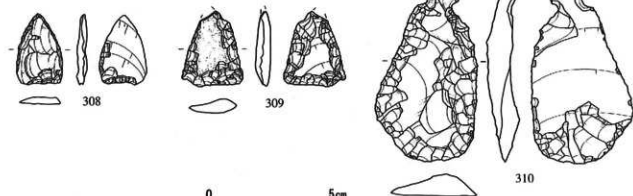
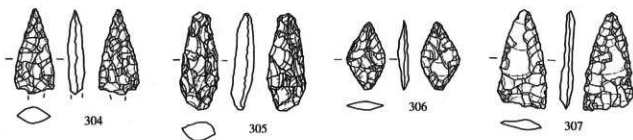


图版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
297	422住	2	122	71	44	559.5	流	lc	ⅧB-114, S-35	49025
298	*	*	104	62	40	394.7	安	*	ⅧB-113, S-98	49024
299	*	*	126	54	27	235.7	*	fb	ⅧB-115, S-40	49027
300	*	*	(68)	(65)	(41)	(267.5)	*	lc	ⅧB-113, S-302	43942
301	*	1	51	55	40	89.4	珪頁	Pa	ⅧC-114, S-117	40352

300图 第422号住居跡出土遺物 (33)



0 10cm

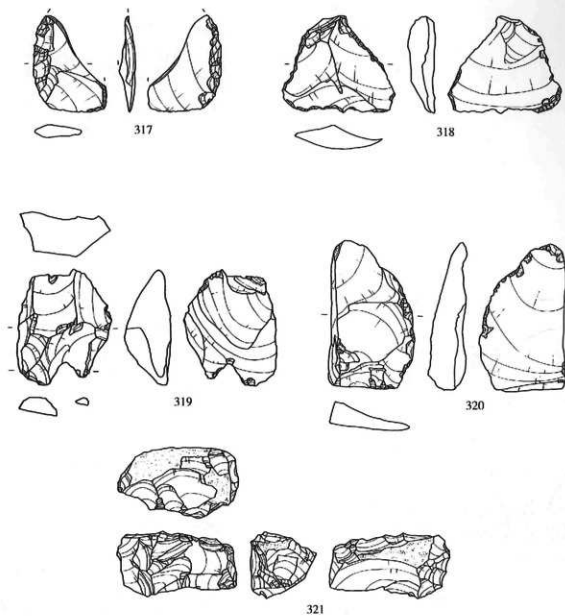


0 5cm

图版番号	出土地点	层位	长 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
302	422住	I	(118)	71	24	(247.0)	安	J	ⅥA-114, S-282	43960
303	*	*	(78)	(93)	(50)	(580.9)	*	L	*、S-87	49023
304	*	堆積土	(34)	15	6	(2.8)	珉質	Aa		52146
305	*	*	38	15	9	4.9	主	A	未製品? ⅥA-114	52158
306	*	*	26	15	4	1.1	珉質	Ac	ⅥB-113	52150
307	*	*	39	19	5	2.5	*	Ad	未製品?	52143
308	*	*	28	19	4	1.9	*	Al	ⅥB-113	40284
309	*	*	(30)	24	6	(3.7)	*	Ad	ⅥC-114	40133
310	*	*	70	40	13	24.4	*	Ca	S-70	52148

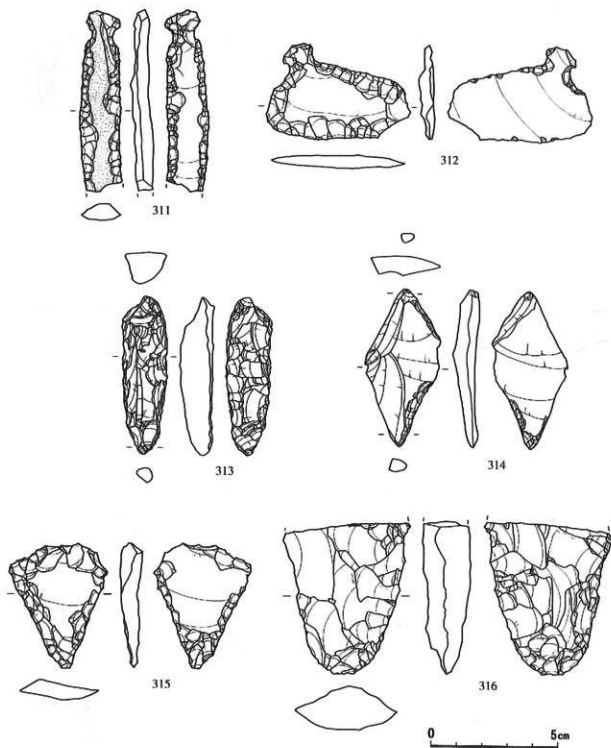
301图 第422号住居跡出土遺物 (34)





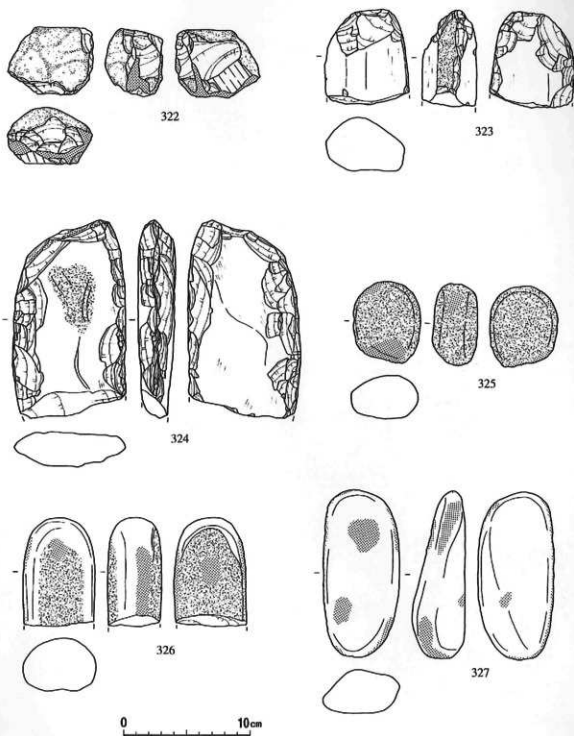
图版番号	出土地点	层位	长 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
317	422住	堆積上	38	29	6	4.7	珪頁	Ga		40326
318	*	*	45	11	11.7	*	*	VIC-114		40295
319	*	*	46	37	18	24.2	*	Gb	VIA-110	43344
320	*	*	59	35	15	18.9	*	*		40344
321	*	*	21	48	21	35.6	*	Pa	VIC-114	40309

303图 第422号住居跡出土遺物 (36)



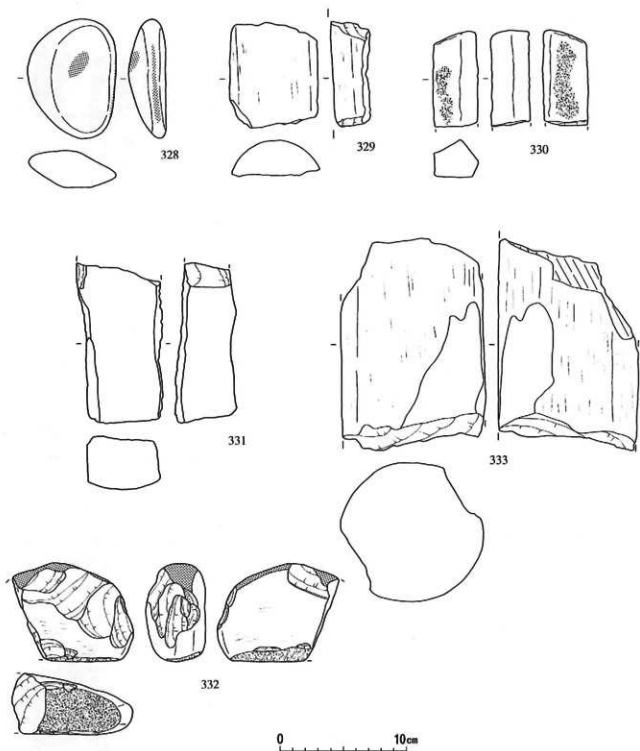
图版番号	出土地点	层位	长 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分属	物	考	整理番号
311	422住	堆積上	(72)	(16)	9	(8.6)	珩頁	Ca	ⅤB-115		52168
312	*	*	38	57	6	9.5	*	Ch			52145
313	*	*	63	18	13	17.0	*	Du			52159
314	*	*	63	30	10	13.2	*	Du	尖頭扁形, WC-114		40279
315	*	*	49	39	9	9.1	*	Ga	石錐?		52147
316	*	*	(60)	(51)	(19)	(52.3)	*	*			52144

302图 第422号住居跡出土遺物 (35)



图版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
322	422住	堆積土	53	67	45	186.8	珪質	lb	石核断用?	43335
323	○	○	(76)	(67)	(43)	(252.8)	安	lc	VI B-113, S-1	48608
324	○	○	(158)	(99)	30	(539.9)	○	J	VI B-114	43924
325	○	○	63	53	35	174.7	○	lc	VI A-113	43996
326	○	○	(86)	(57)	(42)	(281.8)	流	lb	VI C-114	43919
327	○	○	133	61	51	437.1	安	○		43978

304图 第422号住居跡出土遺物 (37)



図版番号	出土地点	層位	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	石質	分類	備 考	整理番号
328	422住	地層上	94	71	29	244.0	安	lb		43979
329	*	*	(83)	(70)	(31)	(216.4)	*	Ma	ⅤC-114	44031
330	*	*	(75)	(36)	(31)	(118.0)	流	Ub		43977
331	*	*	(126)	(67)	(48)	(584.3)	安	Ua		43883
332	*	*	77	(96)	(47)	(463.9)	*	Ic	石冠?	43879
333	*	確認州	(167)	(114)	(111)	(2698.3)	流	Ma	ⅤB-114, S-19	43951

305図 第422号住居跡出土遺物 (38)

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	さんないまるやまいせき
書名	三内丸山遺跡XV
副書名	旧野球場建設予定地発掘調査報告書3
巻字	
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第283集
編著者名	岡田康博・木村真明・中村美杉・斎藤岳・小笠原雅行・中村哲也・齋光次郎
編集機関	青森県教育庁文化課
所在地	青森市新町2丁目3番1号 TEL 017-734-9924
発行年月日	西暦2000年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
さんないまるやまいせき 三内丸山遺跡	あおりけんあおりし おおあざさんないあざまるやま 青森県青森市大字三内字丸山			40°	140°	1992.4.20~11.30		県営運動公園 拡張事業に基 る事前調査
		02201	01021	48' 42"		1993.4.12~12.17	38,000m <sup>2</sup>	
				40°	20°	1994.4~11.18		

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
三内丸山遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡 107棟 (今回報告分)	縄文土器(前・中期) 石器(前・中期) 土・石製品(前・中期)	縄文時代前期中葉から中期 末葉にわたる大規模拠点集 落跡

---

青森県埋蔵文化財調査報告書第283集

## 三内丸山遺跡Ⅳ

—旧野球場建設予定地発掘調査報告書 3—

発行日 平成12年3月31日

発行 青森県教育委員会

編集 青森県教育庁文化課  
〒030-0801 青森市新町2丁目3-1

印刷所 東北印刷工業株式会社  
〒030-0902 青森市合浦1丁目2-12

---

